

仮面ライダー×スーパー戦隊 真・スーパーヒーロー大戦

opa

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

地球を守ってきたヒーロー 仮面ライダー、スーパー戦隊

ある日、仮面ライダーフォーゼこと如月弦太郎が通う高校 天ノ川学園に謎の集団が現れる！なんとその集団は、かつて35番目のスーパー戦隊 海賊戦隊ゴーカイジャーが戦った宇宙帝国ザンギヤックだった！そして弦太郎の前に一人の男が現れる。なんと、ザンギヤックを率いてたのはゴーカイレッドのキャプテン・マーベラスだった！
マーベラスは弦太郎にこう告げた・・・目的は全ての仮面ライダーの命だ・・・

そして東京タワーの前にも謎の集団が現れた。なんとその集団は仮面ライダーが戦ったショッカーだった！

特命戦隊ゴースタースは東京タワーに向かう・・・

そしてゴースタースの前に一人の男が現れる。

なんと、ショッカーを率いてたのは仮面ライダーディケイドの門矢士だった！そして士はゴースタースにこう告げた・・・目的は全てのスーパー戦隊を破壊することだ・・・

仮面ライダーとスーパー戦隊の全面戦争が今、始まる！

目次

1話	仮面ライダーディケイドvs秘密戦隊ゴレンジャー	1
2話	宇宙	6
3話	天ノ川学園、襲撃！	8
4話	大帝王の目的	11
5話	ゴカイレッドvs仮面ライダーフォーゼ	14
6話	宇宙海賊達の再会、宇宙ライダーの消滅・・・	19
7話	東京タワー、襲撃！	24
8話	大首領の目的	28
9話	仮面ライダーディケイドvs特命戦隊ゴバスターズ	31
10話	世界の破壊者vs宇宙海賊 前編	37
11話	世界の破壊者vs宇宙海賊 後編	40
12話	破壊者と侍の再会、特命戦隊の消滅・・・	46
13話	海賊と侍	49
14話	大帝王マーベラス 次の標的のライダー	52
15話	ゴカイレッドvs仮面ライダーディエンド	55
16話	大首領 門矢 士 次の標的の戦隊	59
17話	海賊と怪盗 前編	64
18話	海賊と怪盗 中編	68
19話	海賊と怪盗 後編	71
20話	大ショッカーと大ザンギヤック	76
21話	天使の消滅・・・	79
22話	大首領vs大帝王 前編	83
23話	大首領vs大帝王 後編	87
24話	時を走る列車	91

25話	生き残った仮面ライダーとスーパー戦隊	95
26話	生き残った者たちの戦い	98
27話	真実	102
28話	スーパーヒーロー	106
29話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
1		112
30話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
2		120
31話	スーパーヒーローvsショッカー・ザンギヤック連合	その
3		125
32話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
4		129
33話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
5		133
34話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
6		139
35話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
7		143
36話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
8		147
37話	スーパーヒーローVSショッカー・ザンギヤック連合	その
9		156
38話	やっかいな奴	166
39話	仮面戦隊ゴライダーVS邪電戦隊ネジレンジャー	170
40話	仮面ライダーディエンドvsバスコ	175

41話	因縁の対決	前編	180
42話	因縁の対決	中編	183
43話	因縁の対決	後編	190
44話	ゴースターオーVSキングダーク		195
45話	最強の敵		198
46話	最強の力		202
47話	究極の対決		207
48話	ビッグマシン		216
49話	カンゼンゴーカイオー&デイケイド・ジャンボフォーメーションVSビッグマシン		222
最終話	旅立ち		229

1話 仮面ライダーデイケイド VS 秘密戦隊ゴレンジャー

かつて、黒十字軍を倒し、地球を守った戦隊がいた・・・その戦隊の名は秘密戦隊ゴレンジャー!

そして、ゴレンジャーの前に一人の男が現れる・・・

彼の名は門矢士・・・

またの名を仮面ライダーデイケイド!

ブオン!

士はライドブツカーからカードを一枚取り出す。

士「変身!」

ガシヤンツ!

『カメンライド ・ デイケイド!』

士は仮面ライダーデイケイドに変身する。

アカ「いくぞ!みんな!」

アオ・キ・ミド・モモ「おう!」

ゴレンジャーはデイケイドに次々とデイケイドに攻撃を

するがデイケイドは全て回避する。

ミドレンジャーはミドメランでデイケイドに斬りつけるがデイケ

イドはライドブツカーをソードモードにして攻撃を防ぐ。

ギイン!

デイケイド「この程度か・・・」

デイケイドはミドレンジャーをライドブツカーSで攻撃する。

ジャキイン!

ミド「ぐわっ!」

キ「どすこおい!」

ドガアアアンツ!!

キレンジャーはキーステッカーで攻撃するがデイケイドはジャン

プしてかわす!

するとアオレンジャーとモモレンジャーが空中にいるデイケイド

に攻撃をしようとする。

アオ「終わりだ！」

ビュンツ！

アオレンジャーはウルトラブルーチェリーの矢をモモレンジャーはイヤリング爆弾をデイケイドに放つ。

デイケイド「お前達がな・・・」ガシャン！

デイケイドはライドブツカーをガンモードにして一枚のカードをデイケイドライバーにセットする。

『ファイナルアタックライド　　デイ、デイ、デイ、　デイケイド！』ズゴオオオ！

デイケイドはデイメンションブラストをアオレンジャーとモモレンジャーに放つ！

デイメンションブラストは矢と爆弾を消滅させ、そして・・・

アオ「ぐああああ！」

モモ「きやあああ！」

ドガアアアンツ！！

デイメンションブラストはアオレンジャーとモモレンジャーに直撃して二人を消滅させた・・・

アオ「アオレンジャー！モモレンジャー！」

キ「そんな・・・アオとモモが・・・」

ミド「デイケイド・・・っ！」

デイケイド「どうした？かかって来い」

デイケイドは三人に指をクイツと動かし挑発する。

アカ・キ・ミド「うおおおっ！」

三人はデイケイドに向かって走り出しデイケイドを囲む。

デイケイド「面白いのを見せてやる」

デイケイドは一枚のカードをデイケイドライバーにセットする。

『カメンライド・ダブル！』

デイケイドは仮面ライダーWに変身した！

アカ「別のライダーに変身しただと!？」

アレンジャー達はデイケイドWに攻撃をするが、デイケイドWは

攻撃を全て防ぐ。

ミドレンジャーは後ろからデイケイドWに攻撃する。

ミド「とおっ！」 ブンッ！

デイケイドWはジャンプして攻撃をかわし、そして・・・

『ファイナルアタックライド・ダ・ダ・ダ・ダブル！』

デイケイドWはミドレンジャーにジョーカーエクストリームを放ち・・・

ミド『ぐああああ！』

ドガアアアンツ！！

ジョーカーエクストリームの直撃を受けたミドレンジャーは爆発し、辺りは煙に包まれていた・・・

キ「そんな・・・ミドリまで・・・」

アカ「キレンジャー！まだ来るぞ！」

『カメンライド・アギト！』

キレンジャー「なっ・・・!?」

煙から仮面ライダーアギトに変身したデイケイドが高くジャンプし・・・

『ファイナルアタックライド、ア、ア、ア、ア、アギト！』

！
デイケイドアギトはキレンジャーにライダーキックを直撃させる

ドガアアアンツ！！

キ「うわあああ！」

アカ「キレンジャー！」

とうとうキレンジャーも消滅し残ってるのはアカレンジャーだけになってしまった。デイケイドアギトはデイケイドの姿に戻る。

アカ「おのれ・・・っ！デイケイド・・・貴様だけは絶対に許さん！！」

アカレンジャーはヤリビュートを握りかまえる。

デイケイド「来な・・・」

『アタックライド、インビジブル！』

「デイケイドは姿を消し、アカレンジャーの後ろに姿を出し、ライドブツカーGをかまえる。」

「アカレンジャーはそれに気づきヤリビュートを鞭のレッドビュートに変形させる。」

『アタックライド・ブラスト!』

ドドドンツ!

アカ「レッドビュート!」

チギイツ!キイン!ガキイン!

アカレンジャーは弾丸を全て防ぐ。

デイケイド「やるな、初代レッド!」

アカレンジャーはレッドビュートでデイケイドに何度も攻撃するが、デイケイドはライドブツカーSで全て防ぐ。そしてアカレンジャーは高くジャンプする!

アカ「みんなの仇、討たせてもらう!」

デイケイド「それはこっちの台詞だ・・・っ!」

デイケイドは一枚カードをデイケイドライダーにセットする!

アカ「レッドキック!」

『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・デイケイド!』

トゴオオオン!

アカレンジャーのレッドキックとデイケイドのデイメンションキックが空中で激突する。

ドサツ

アカ「ぐはっ・・・」

アカレンジャーは地面に倒れる。

アカ「すまない、みんな・・・」

アカレンジャーは、そう言い残し消滅する。とうとう、ゴレンジャーが消滅した・・・

デイケイド「全ての戦隊は・・・俺が破壊する。」

するとデイケイドの後ろにゴーカイレッドが現れる。

ゴーカイ赤「ならば、全てのライダーは俺が倒す・・・」

デイケイドとゴーカイレッド・・・破壊者と海賊・・・

二人は対面する

〜次回へ続く〜

2話 宇宙

仮面ライダーフォーゼこと如月弦太郎は仮面ライダー部の城島ユウキと卒業した風城美羽の3人で月で宇宙を眺めていた。

フォーゼ「宇宙って広いよなあ!」

美羽「ホントねえ・・・」

ユウキ「見て、二人とも!流れ星!」

『キラッ』

ユウキが指差した方向には一つの流れ星が流れていた。

フォーゼ「よし!願い事、願い事!」

3人は手を合わせて願い事をする。

ユウキ「あ、あっちにも!」

ユウキは別の方向に流れていた流れ星に向かって指を差す。

フォーゼ「よっしゃ!」

3人はその方向に向かってもう一度願い事をする。

ユウキ「あ、あっちにも!そっちにも!こっちにも!」

フォーゼ「・・・って待てい!キリがねえよ!」

美羽「うわあ・・・」

ユウキ「これって・・・」

3人は宇宙に見とれている・・・それもそのはず、宇宙には数えきれない程の流れ星が流れていたのだ。

フォーゼ「スゲー!流星群だ!!」

すると1つの光が3人の方へ向かってくる。そして、ユウキはそれに気付く。

ユウキ「弦ちゃん、あれ!」

フォーゼ「・・・っ!二人とも、捕まれ!」

ユウキと美羽はフォーゼに捕まり、フォーゼは背中の

噴射機を噴射させ、こっちに向かって来た光をギリギリで回避する。

ドゴオオオン!!!

月にある月面基地ラビットハッチはその衝撃で揺れ、ハッチにいた

歌星堅吾はそれに驚き、フォーゼに急いで通信する。

堅吾『如月！何だ、今の衝撃は!?』

フォーゼ「わ．．．わからねえ．．．多分、何者かが俺達に攻撃しやがった．．．!」

堅吾『何だと．．．っ!?』

ユウキ「弦ちゃん！あれ、見て!!」

フォーゼ「あ．．．あれはっ!!」

3人は驚愕した．．．その理由は．．．

美羽「あの流星群．．．地球に向かってる．．．!」

3人が見た流星群は何と地球に向かっていたのだ。流星群の正体は宇宙戦艦の大群だった。

〈旗艦〉

???「大帝王さま　こちらが次のターゲットのフォーゼとメテオです。」

全身銀色の人物が大帝王という人物に4枚の写真を渡す。1組の写真は仮面ライダーフォーゼ、フォーゼに変身する前の如月弦太郎の写真。もう1組は仮面ライダーメテオ、メテオに変身する前の朔田流星の写真だ。

大帝王「こいつらが宇宙ライダーってやつらか．．．宇宙海賊の俺とどっちが強いか試してみるのも悪くねえな。」

???「そいつらは天ノ川学園という学園に通っています。いかなさいますか?」

大帝王「ゴーミン共に襲撃させる。フォーゼとメテオを誘きだす。」

???「かしこまりました。」

大帝王「任せませ。シルバ」

シルバ「お任せを．．．大帝王マーベラス様」

マーベラス「仮面ライダーを全滅させてやる．．．」

〈次回へ続く〉

3話 天ノ川学園、襲撃!

弦太郎達を通ってる天ノ川学園は生徒が和気あいあいと平和な日常を過ごしているように思えたが学園上空に宇宙船が飛行しており、その宇宙船からゴーミン、スゴーミンが学園へ向かって降下した。

ドゴオオオン!!

ゴーミン、スゴーミン達は学園の天井を突き破り着地した。学園内だけではなく、校庭、中庭にも大人数のゴーミン、スゴーミンが着地した。

ゴーミン達「ゴォ!」

スゴーミン達「スゴォ!」

ゴーミン、スゴーミン達は学園の生徒達に襲い懸かってきた!

女子生徒達「きゃあああ!」

男子生徒達「うわあああ!」

生徒達は悲鳴をあげながら逃げ惑う!

仮面ライダー部部室へ

大杉「如月と朔田はいるか!」

ラビットハッチに慌てた様子の仮面ライダー部顧問の大杉忠太と

部員の野座間友子と神宮海蔵(JK)が駆けつける。

堅吾「先生、どうしたんですか?!」

J・K「妙な集団が学園で暴れまくってるんス!!」

友子「世界の破滅・・・」

堅吾「何だと・・・っ!」

大杉「このままだと生徒達がどんな目に合うかわからない!すぐ二人に連絡してくれ!!」

堅吾「わかりました!!」

天ノ川学園 中庭へ

中庭は卒業した大文字隼が来ていた。

隼「何だコイツら!」

すると一人の女子生徒が転び、ゴーミン達はその女子生徒を襲おうとした!

女子生徒「きゃあああ!」

隼「俺の後輩に手を出すな!!」

隼は背負っていたリュックを振り回し女子生徒を助ける。

隼「逃げる!」

女子生徒「はい!」

隼は女子生徒を逃がし一人のゴーミンにタックルする!

そして連絡を受けた弦太郎と仮面ライダー部が駆けつけた!

弦太郎「何だ、アイツら? ゾディアーツじゃないよな?」

美羽「どう見ても違うでしょ・・・あつ!もしかして、さっきの流星群と何か関係が?!」

ユウキ「それって・・・宇宙人!」

するとゴーミンに抵抗していた隼がゴーミンにマウントポジションを取られている。

美羽「隼!」

弦太郎「隼! 今、行くぜ!!」

弦太郎は隼の所へ走りだし、ゴーミンに跳び蹴りをする。

弦太郎「おりゃあ!!」

ドガツ!

ゴーミン「ゴオ!」

弦太郎「大丈夫か!? 隼!」

弦太郎は隼の手を取り、立たせる。

隼「ああ・・・助かった」

すると近くにいたスゴーミンが弦太郎に向かって砲撃する。
ドゴオオオン!

砲撃された弦太郎は吹っ飛ばされてしまう。

弦太郎「うわあああ!」

堅吾「如月!」

ユウキ「弦ちゃん!」

弦太郎は校庭まで吹っ飛び地面に転がる。

弦太郎「いてて・・・」

弦太郎は学ランに付いた土を振り払いながら立ち上がる。

コツ コツ コツ

弦太郎はコツコツと歩く音が聞こえる方向に振り向くと

赤い海賊の服を着た一人の男が現れた。

弦太郎「誰だ・・・？」

マーベラス「お前が仮面ライダーフォーゼ・・・如月弦太郎だな？」

次回へ続く

4話 大帝王の目的

く天ノ川学園 校庭く

??? 「お前が仮面ライダーフォーゼ・・・如月弦太郎だな？」

堅吾 「如月！」

ユウキ 「弦ちゃん！」

堅吾とユウキは弦太郎の所へ走る。弦太郎は赤い海賊の服を着た男の質問に答える。

弦太郎 「ああ！俺は仮面ライダーフォーゼの如月弦太郎だ！あんたは？」

マーベラス 「俺はキャプテン・マーベラス・・・宇宙海賊だ。」

弦太郎 「宇宙海賊？」

堅吾 「その宇宙海賊が如月に何の用だ？」

マーベラスはその質問に答える。

マーベラス 「大いなる力をもらいに来た。」

弦太郎 「・・・大いなる力と言えば、ダチだ！ダチになりたいってならなってやるぜ！俺はこの学園の全ての生徒と友達になる男だからな！」

弦太郎は拳で胸を2回叩き前に突き出す。

ユウキ 「弦ちゃん・・・(汗)」

堅吾 「いや、どう見てもウチの生徒じゃないだろ・・・(汗)」

弦太郎 「一風変わった転校生！かも、しれないだろ？」

堅吾 「絶対に違うだろ！宇宙海賊って事はさっきの宇宙人達と関係がある者なんだろ？」

堅吾はマーベラスに訪ねる。

マーベラス 「ああ、アイツらは俺の部下共だ。そして俺は奴等の大帝王だ・・・」

堅吾 「やはりな・・・」

マーベラスの答えに堅吾は納得した。

弦太郎 「どうして学園を襲った!?お前の目的は何だ!？」

マーベラスは答える。

マーベラス「俺の目的・・・それは、全ての仮面ライダーの命だ！」
弦太郎達は驚く。

弦太郎「何だと!？」

ユウキ「全ての仮面ライダーって事は弦ちゃんだけじゃなくて流星君の命も狙ってるの!？」

マーベラス「ああ、如月弦太郎・・・フォーゼを始末した後、メテオも始末してやる。」

マーベラスは右手にゴーカイレッドのレンジャーキー、左手にモバイレーツを持ち出した。

マーベラス「覚悟してもらうぜ・・・ゴーカイチェンジ！」

マーベラスはレンジャーキーをモバイレーツに刺し、回した!

MR『ゴオオオオカイジャアア!!』

マーベラスはゴーカイレッドに変身した。弦太郎達は驚く。

弦太郎「変身した!? アイツもライダーなのか?」

ユウキ「何か・・・違う気がする・・・」

堅吾「如月！」

堅吾は「相手してやれ」と言うように弦太郎の肩を叩く。

弦太郎「売られた喧嘩は買わせてもらうぜ!俺の命や流星の命・・・お前に奪われてたまるか!!」

弦太郎はフォーゼドライバーを取り出し腰に装着し起動させ、構える。

ギューイン

FD『3・2・1』

弦太郎「変身!!」

弦太郎は仮面ライダーフォーゼに変身した!

フォーゼ「宇宙、キタアーーーーーッ!!!」

フォーゼはそう言いながら体を大きく広げる。

フォーゼ「仮面ライダーフォーゼ! タイマン張らせてもらうぜ!!」

フォーゼはゴーカイレッドに拳を突き出す!

ゴーカイ赤「鎧みたいに五月蠅い奴だな・・・」

ゴーカイレッドはフォーゼのテンションにあきれる。

フォーゼ「行くぜえ！」

フォーゼはゴークイレッドに向かって走りだす！

ゴークイ赤「今日がお前の命日だ！」

ジャキイ！

ゴークイレッドもゴークイサーベルを取り出しフォーゼに向かって走りだす！

ゴークイ赤・フォーゼ「うおおお!!」

ゴークイレッドと仮面ライダーフォーゼの対決が今、始まる！

次回へ続く

5話 ゴーカイレッド vs 仮面ライダーフォーゼ

ゴーカイ赤・フォーゼ 「うおおおー!」

ゴーカイレッドとフォーゼは互いに相手に向かって走る!

フォーゼ 「まずはコイツだ!」

FD 『ロケット』

フォーゼはフォーゼドライバーにセットしてるロケットスイッチを押し、右腕にロケットモジュールを装備する!

フォーゼ 「くらえ! ライダーロケットパアンチ!!」

フォーゼはロケットモジュールを噴射させ飛行し、ゴーカイレッドに突進する!

ゴオオオ!

ゴーカイ赤 「うおっ!」

ゴーカイレッドはギリギリで回避し、別のレンジャーキーを手に持つ。

ゴーカイ赤 「空中戦ならコイツだ! ゴーカイチェンジ!」

MR 『ジエエツトマン!!』

ゴーカイレッドはジェットマンのレッドホークにゴーカイチェンジした!

堅吾 「なっ・・・!?!」

フォーゼ 「何っ!?!」

ユウキ 「え・・・また変身した!?!」

フォーゼ達はゴーカイレッドが別の姿に変身したことに驚く!

レッドホーク (マーベラス) はジェットウイングを広げて飛行し、

フォーゼに向かう!

キイイイン!

レッドホーク (マ) 「こっちのパンチを受けしろ! ウイングガントレット!」

ドゴオオオン!

フォーゼはレッドホーク (マーベラス) が右腕に装備したウイングガントレットのパンチを受けてしまう!

フォーゼ「ぐわっ！」

まともな攻撃を受けたフォーゼは地面に落下し、転がるが、すぐに立ち上がる。レッドホーク（マーベラス）はフォーゼを追いかけ地面に着地する。

フォーゼ「くそ！ だったら次はコイツだ！」

FD『ドリル』

フォーゼはドリルスイッチを押し、左足にドリルモジュールを装備する！

レッドホーク（マ）「ゴーカイチェンジ！」

MR『メエエガレンジャーアア！』

レッドホーク（マーベラス）はメガレンジャーのメガレットにゴーカイチェンジした!!

メガレット（マ）「ドリルにはドリルだ！ ドリルセイバー！」

メガレット（マーベラス）はドリルセイバーを装備し、

ドリルを回転させる！

フォーゼもドリルモジュールのドリルを回転させる！

ギユイイン!!

フォーゼ「ライダードリルキイイック!!」

メガレット（マ）「スクリユードリルセイバー!!」

互いのドリルが衝突し爆発する!!

バゴオオオン!!

爆風で両者共吹っ飛ばされる！ 吹っ飛ばされたフォーゼは立ち上がり、エレキスイッチを手取る。

フォーゼ「痺れさせるぜ!!」

FD『エレキ オン』

フォーゼは白のベースステイツから金色のエレキステイツに姿を変えた。

メガレット（マ）「電気のかか・・・ならばコイツだ！ ゴーカイチェンジ！」

MR『デエエエンジマン！』

マーベラスはデンジマンのデンジレットにゴーカイチェンジした

!

堅吾「アイツ・・・いくつ姿を変えられるんだ!？」

デンジレット(マ)「デンジステイック!」

デンジレット(マーベラス)はデンジステイックを取り出し刀身をスパークさせる。フォーゼ エレキステイツもビリーザロッドをスパークさせる。

バチバチツ!ガキイン!ギイン!

デンジレット(マーベラス)とフォーゼ エレキステイツは攻防を繰り返す!そして二人は互いの攻撃が当たり、電撃を受ける!

ビリビリビリッ!

フォーゼ「いででで!」

デンジレット(マ)「くっ!」

二人は一旦離れ距離を取る。フォーゼ エレキステイツはエレキスイッチをビリーザロッドにセットする!

BL『リミットブレイク』

フォーゼ「ライダー100億ボルトブレエイク!」

バチバチバチバチッ!

フォーゼ エレキステイツは必殺技のライダー100億ボルトブレイクを発動させ、デンジレット(マーベラス)に斬りかかるが、ギリギリで回避される!そしてデンジレット(マーベラス)は両手にデングパンチを装備する!

デンジレット(マ)「カウンターだ!デングパンチ!」

ドゴドゴドゴオ!

デンジレット(マーベラス)はフォーゼにデングパンチのラッシュを浴びせ吹っ飛ばす!

フォーゼ「うわあああ!」

吹っ飛ばされたフォーゼは壁に激突する!

フォーゼ「まだだ!熱くなるぜ!」

フォーゼはファイヤースイッチを手に取り、フォーゼドライバーにセットする!

FD『ファイヤー オン』

フォーゼは金色のエレキステイツから赤色のファイヤーステイツに姿を変えた！

デンジレッド（マ）「ゴーカイチェンジ！」

MR『ギイインガマン！』

デンジレッド（マーベラス）はギンガマンのギンガレットにゴーカイチェンジした！

ギンガレット（マ）「燃え尽きろ！炎のたてがみ！」

ゴオオオ！

ギンガレット（マーベラス）は手から炎を発射した！

フォーゼ「火事には消火器だ！」

ブシユウウウ！

フォーゼ ファイヤーステイツはヒーハックガンを消火モードにして消火剤を発射した！

ギンガレット（マ）「ゴーカイチェンジ！」

MR『ゴーゴーフアアイブ！』

ギンガレット（マーベラス）は隙を見てゴーゴーフアアイブのゴレットにゴーカイチェンジし、右手にVランサーを握り、フォーゼに向かって走りだす！

ゴレット（マ）「吹っ飛べ！Vスラッシュュ！！」

ザシユウウ！ザシユウウ！

ゴレット（マーベラス）はV字の斬撃をフォーゼに喰らわせ吹っ飛ばす！

フォーゼ「だあああ！」

吹っ飛ばされたフォーゼはベースステイツに戻り階段前に転がる。

堅吾「如月！」

ユウキ「弦ちゃん！」

堅吾とユウキはフォーゼの下へ駆けつける。何度もまともに喰らったフォーゼはヘトヘトだ。そして階段上のゴレット（マーベラス）はゴーカイレットの姿に戻る。

フォーゼ「コイツ・・・強え！」

ゴーカイレットの下に数人のゴーマン、スゴーマンが駆けつける。

ゴーカイ赤「やれ！」

ゴーカイレッドの合図でゴーミン、スゴーミンが襲いかかる！

フォーゼ「くっ！」

フォーゼはもう駄目だと思ったその時・・・

ズドドドドオン！

ゴーミン「ゴゴオ!？」

ゴーミン達は何者かの攻撃を受ける！

???「そこまでだ！」

次回へ続く

6話 宇宙海賊達の再会、宇宙ライダーの消滅・・・

ズドドドオン!!

ゴーマン達「ゴゴオ!」

フォーゼ達を襲おうとしたゴーマン達が何者かに狙撃された!

???「そこまでだ!」

上から声が聞こえ、フォーゼ達は上を見上げる。そして狙撃した者達が上から跳び降りた!

ゴークイ青「ハッ!」

ゴークイ緑「おりや!」

ゴークイ銀「とりやあ!」

ゴークイ黄「たあっ!」

ゴークイ桃「やあっ!」

フォーゼ達を助けてくれたのはマーベラスを除くゴークイジャーだった!着地したゴークイブルー達はゴーマン達に攻撃する!

ドカツ!ザシュツ!ズドンツ!

ゴーマン達「ゴゴオ!」

フォーゼ「カラフルな奴等キター!」

堅吾「あの大帝王の変身した姿に似てる・・・奴の仲間か?」

ユウキ「でも、その手下と戦ってるよ!私達を助けてくれたし:」

ゴーマン達を片付けたマーベラスを除くゴークイジャーは変身を解除する。

ゴークイ赤「久しぶりだな・・・お前ら」

ルカ「マーベラス!今まで何処で何してたの!?!突然いなくなって探してやっと見つけたと思ったたらザンギヤツクのボスになって地球で大暴れして!」

フォーゼ「どうやら、ダチみたいだぜ?」

堅吾「らしいな・・・そして大帝王も元々あの青とグレーの宇宙人とは敵同士だったみたいだ・・・」

ジョー「マーベラス!なぜ、仮面ライダーと戦うんだ?」

ゴークイ赤「答えは簡単だ・・・仮面ライダーはスーパー戦隊の敵

だからだ。」

鎧「ちよつと待つてください！おかしいですよ！仮面ライダーも俺達、スーパー戦隊と同じ悪と戦うヒーローのハズ！ヒーローがヒーローの敵だなんて・・・」

ゴークイ赤「ゴチャゴチャ言うな・・・！全ての仮面ライダーは俺が倒す・・・！それだけだ。」

ジョー・ルカ・ハカセ・アーム・鎧「・・・っ！」

ゴオオオツ

地面に大きな影が写り、ジョー達とフォーゼ達は空を見上げる。

ゴークイ赤「あれが俺の新たな海賊船だ！」

ハカセ「ザンギヤツクのギガントホース!？」

アーム「あれはアクロス・ギルとの戦いで破壊したはずでは・・・っ!？」

なんと空に浮かんでいたのはザンギヤツクの旗艦ギガントホースだった！

フォーゼ・ユウキ「宇宙船、キター!!」

ゴークイ赤「そしてコイツらが俺の部下共だっ！」

ギガントホースから光が階段に照射され、光から大ザンギヤツクの幹部達が現れた！

ジョー達は驚いた！

ジョー「アイツらは・・・っ！」

ルカ「黒十字王に、ワルズ・ギルとアクロス・ギル!?アイツらは私達が倒したハズじゃ・・・!？」

鎧「それだけじゃありません！歴代スーパー戦隊が倒したハズの悪のボス達まで！」

ジョー達が驚くのは当然だ。目の前に現れたのはゴークイジャー達が倒したハズのアクロス・ギルとワルズ・ギルの親子に黒十字王：歴代スーパー戦隊が倒した悪のボス達まで復活していたのだ！

ワルズ「我らは大ザンギヤツク!!大帝王マーベラス様の忠実なる下僕だ!!」

ジョー「マーベラス・・・っ！」

その時、仮面ライダーメテオこと、朔田流星が来た！

流星「大ザンギヤツクだと？学園をメチャクチャにしやがって！」

流星はメテオドライブを腰に装着し、起動させる！

MD『METEO・LEADY?』

流星「変身！」

流星は宇宙にあるM―BUSから発射された光を浴び、仮面ライダーメテオに変身し、メテオは自身を光で包み、

飛行し、大ザンギヤツク幹部達の前に着地する！

フォーゼ「流星！」

メテオ「弦太郎！遅れてすまない!!」

大ザンギヤツク幹部達はメテオに驚い懸かる！

メテオ「ホくくワツチャア！」

ブンツ！ドカツ！バキツ！

メテオは幹部達の攻撃を回避し、幹部達を次々と吹っ飛ばし階段を登り、ゴーカイレッドの前に立つ。

ゴーカイ赤「お前が朔田流星・・・仮面ライダーメテオだな？」

メテオ「弦太郎だけじゃなくて俺の事も調べたのか・・・そうだ、俺は仮面ライダーメテオ・・・お前の運命（さだめ）は俺が決める・・・っ！」

ゴーカイ赤「いや・・・俺の運命（さだめ）は俺自身が決める・・・そして お前の運命（さだめ）を決めるのは・・・コイツだ。」

ギガントホースからゴーカイレッドの前に光が照射され、その光から現れたのは全身銀色の人物だ。

鎧はその人物を見て驚く！

鎧「アイツはバイオマンさん達が倒したハズのバイオハンター・シルバ!?」

シルバ「違う、俺はライダーハンター・シルバ！全ての仮面ライダーを破壊する！」

メテオ「何がライダーハンターだ!!」

メテオはシルバに向かって走りだし攻撃しようとする。

シルバ「ライダー粒子反応 確認！」

シルバはバイバスターを手に取り、銃口をメテオに向ける。
シルバ「破壊する！」

ズドンッ！ズドンッ！ズドドドオンッ！！

シルバはバイバスターを連射し、弾丸を浴びせる！

メテオ「ぐわああ！」

フォーゼ「流星！危ねえ！」

撃たれたメテオは吹っ飛ばされ、フォーゼは背中中の噴射機を噴射させ、ジャンプしてメテオを受け止める！

フォーゼ「大丈夫か!?流星！」

メテオ「ああ・・・あのシルバって奴・・・強いぞ！」

ゴーカイ赤「フォーゼ！メテオ！終わりだ!!」

ゴーカイレッドはゴーカイサーベルにレンジャーキーをセットする。

GS『フアアアインルウエエブ!!』

ゴーカイレッドのゴーカイサーベルの刀身が赤い光を発光させ、

ゴーカイレッドはフォーゼとメテオに向かってジャンプする！

ゴーカイ赤「ゴーカイスラッシュ!!」

ザシユウウ！

ゴーカイレッドの必殺剣ゴーカイスラッシュはフォーゼとメテオの二人をまとめて斬る!!

フォーゼ「うわあああ！」

メテオ「があああ！」

ゴーカイスラッシュをまともに受けたフォーゼとメテオは消滅してしまった・・・

堅吾「如月いいいい！朔田ああああ！」

ユウキ「弦ちやああん！流星くううん！」

フォーゼとメテオを失った堅吾とユウキは膝をついてしまう・・・

ゴーカイ赤「・・・フツ」

アイム「マーベラスさん！もう止めてください!!」

ゴーカイ赤「止めるわけにはいかねえ・・・！既にゴレンジャーを始め、多くのスーパージョー戦隊達が仮面ライダー達に倒されたからな・・・

！ライダー達に指揮してんのは ある仮面ライダーだ！」

ハカセ「その、ある仮面ライダーって誰なのさ!?!」

ゴークアイ赤「世界の破壊者……仮面ライダーディケイド……!」

鎧「仮面ライダーディケイド……」

ルカ「世界の破壊者って……っ!」

ゴークアイ赤「嘘だと思うなら自分達の目で確かめろ!」

ゴークアイレッドと大ザンギヤック幹部達はギガントホースが照射した光を浴びギガントホースに吸収される。

ジョー「マーベラス!」

ルカ「マーベラス!」

ハカセ「マーベラス!」

アイム「マーベラスさん!」

鎧「マーベラスさん!」

空に浮かんでいたギガントホースは飛び去っていった。

次回へ続く

7話 東京タワー、襲撃!

フォーゼとメテオがゴークイレッドに消滅させられ、数時間経ちゴークイガレオンは夜の空に浮かんでいた。

「ゴークイガレオン 居住区」

「ジョー」あの学生達はとうした？」

ハカセ「なんとか皆家に送ってあげたよ……」

鎧「やはり、彼等はシヨック受けてましたよ……特に堅吾とユウキって子は放心状態でした……あの先生がなんとか励まそうとしましたけど……」

アイム「無理もありません……友人が目の前で消滅されてしまったのですから……」

ルカ「マーベラス……どうしちゃったのよ……!」

ジョー「……マーベラスが言ってたな……仮面ライダーを倒すのはライダー達がスーパー戦隊を倒すからだ……」

ルカ「だからって、復活したザンギヤックの大帝王になるなんて!」

ナビィ「マーベラス……」

ハカセ「ライダー達を指揮してるのはデイクイド……っていう仮面ライダーだって言ってたよね?」

ジョー「世界の破壊者か……」

ハカセ「宇宙海賊の僕達が言うのもなんだけど、すごい別名の仮面ライダーだね……」

ジョー「そのデイクイドに会ってみるか……」

ナビィ「『会ってみるか……』って当てはあるの?」

ジョー「それは……」

鎧「まかせてください!実は地球に戻ってすぐに調べたんですが、仮面ライダーフォーゼと仮面ライダーメテオは最近、誕生した仮面ライダー!つまり最新の仮面ライダーなんです!」

ルカ「あんたスーパー戦隊のファンじゃなかったけ……?」

鎧「……も、もちろんですよ!(汗)」

アイム「まあまあ……それでは鎧さん続きを」

鎧「あ、ハイ！実はスーパー戦隊も最近、新しいスーパー戦隊：36番目のスーパー戦隊が誕生したんです！」

ハカセ「そうか！マーベラスは最新の仮面ライダーの前に現れたから仮面ライダーディケイドも最新のスーパー戦隊の前に現れるって事か！」

鎧「正解です！ドンさん！」

ジョー「鎧、その36番目のスーパー戦隊の名前は？」

鎧「特命戦隊ゴースターズです！」

ジョー「：よし、夜が明けたらゴースターズの所へ行くぞ。ディケイドの目的がスーパー戦隊を倒すことなら間違いなくゴースターズも標的にしてるハズだ。」

ハカセ「そうだね、色々ありすぎて僕達は精神的にも体力的にも疲れてるし・・・今夜はゆっくり休もう。」

ぎゅるるる・・・

ジョー達のお腹の音がなる・・・

ジョー・ルカ・ハカセ・アイム・鎧「あ・・・」

ルカ「そういや今日は何も食べてなかったわね・・・(汗)」

アイム「マーベラスさんの件で食べる事をすっかり忘れてましたね・・・(汗)」

ハカセ「フフツ寝る前に腹ごしらえだ！鎧、手伝って！」

鎧「はい！たくさん作りましょう！」

ルカ「こうなったらイライラした分、メチャクチャ食ってやる！」

ジョー「ああ！」

アイム「お二人共、美味しいのをお願いします！」

そして夜が明け・・・

くゴーカーイガレオン 操舵室く

ジョーは舵を握る。

ジョー「用意はいいか？お前ら・・・」

ルカ「世界の破壊者が何だか知らないけど、私達が破壊してやろうじゃない。」

ハカセ「いや、僕達はディケイドにスーパー戦隊を倒す理由を聞き

に行くだけだから・・・ライダー達に戦いを挑みに行くんじゃないんだよ？」

アイム「ルカさん・・・まだイライラしてるんですね・・・(汗)」

鎧「待ってる！仮面ライダーデイケイド！」

ハカセ「分かってないのがもう1人いた！」

ジョー「行くぞ！」

ゴオオオツ！

ジョーはゴーカイガレオンを発進させた！デイケイドの目的を知るために・・・

アイム「ところで鎧さん、ゴースターズの居場所は？」

鎧「・・・(汗)」

ルカは鎧が何も知らないと察し、鎧に詰め寄る。

ルカ「鎧いっくく!!(怒)」

鎧「いや、ザンギヤツクの本星から地球に戻って間もないんですよ!?ゴースターズの事もまだ詳しくくないですよ！」(汗)」

ハカセ「た・・・確かにゴースターズが誕生したのは僕達が地球から去った後だろうし・・・敵に知られない為にも拠点を公にするわけにはいかないもんね・・・(汗)」

ジョー「ナビィに占ってもらおうか・・・先が思いやられる・・・はあ(汗)」

く東京タワー 前 く

市民「わあああ！」「きゃあああ！」

???「「イー！」」

東京タワー前に謎の集団が出現し、市民達は逃げ惑う。

くエネルギー管理局特命部く

トオル「東京タワー前に謎の集団が出現！モニターに映します！」
ピッ！

トオルは東京タワー前の映像をモニターに映す。

マサト「なんだコイツら？」

リュウジ「メタロイドですかね？」

ミホ「いえ、ヴァグラス反応はありません！別の勢力だと考えられます！」

ヨーコ「メタロイド以外にも人類の敵が!？」

ヒロム「行こう。行って奴等に何者か吐かせよう。」

黒木「ゴースターズ！東京タワーへ出動！」

ヒロム・ヨーコ・リュウジ「了解!」「」

マサト「よし！J、俺達も行くぞ！」

ビートJ「ああ！」

ゴースターズは東京タワーへ出動した！

次回へ続く

8話 大首領の目的

く東京タワー 前 く

ゴースターズはエネルギー管理局から出動し、目的地の東京タワー前に着いた！

リュウジ「モニターを覗いてから思ってたけど・・・時代錯誤な奴等だな・・・」

ヨーコ「特にあの黒い覆面に黒いタイトの奴等はいかにも雑魚っぽいし・・・(汗)」

マサト「怪物の方も古臭いな・・・(汗)」

ビートJ「俺にはよくわからない・・・」

ヒロム「皆、相手は誰であろうと人類の敵はシャットダウンする。行こう！」

ゴースターズは謎の集団に向かって走り出す！すると、謎の集団もヒロム達に気づきゴースターズに向かって走り出す！

???「「イー！」」

ゴースターズは謎の集団の攻撃をかわし、次々と片付ける。

ヒロム「ハッ！」 ドガッ！

リュウジ「だあッ！」 ブンッ！

ヨーコ「やあッ！」 ビシッ！

マサト「オラッ！」 ドゴッ！

J「フン！」 バキッ！

ゴースターズがある程度の数の敵を片付けると鎧を着た男が現れた。

???「現れたな・・・！特命戦隊ゴースターズ!!」

リュウジ「何者だ!？」

ドクトルG「我が名はドクトルG(ゲー)！偉大なる大ショッカーの偉大なる大幹部だ!!」

ビートJ「大ショッカー・・・?」

マサト「聞いた事が無えな！」

ヨーコ「それに自分の事を偉大って言っちゃやう奴って大した事ない

んだよね！」

ヒロム「大体、何なんだ!?!その・・・大シヨツカーって!?!」

ドクトルG「大シヨツカーとは世界を支配する秘密結社である!?!そして、この御方こそが偉大なる大シヨツカーの偉大なる大首領!?!世界の破壊者・・・仮面ライダーディケイド!!!」

ヒロム「・・・仮面ライダー!?!」

ズオオオ!

すると横に黒いオーロラが出現した!

ヨーコ「何あれっ!?!」

リュウジ「黒いオーロラ!?!」

マサト「J・・・分析できるか?」

J「駄目だ・・・解析できない」

ヒロム「人影だ・・・誰か出てくるぞ!」

出現した黒いオーロラから黒とマゼンタの服を着た男が出てきて歩き大シヨツカーの集団の前に立った。

士「門矢士だ・・・覚えておけ。」

ヒロム「要するにお前が大シヨツカーのボスって訳か!」

士「ああ、お前達が特命戦隊ゴースターズだな?」

ヨーコ「そうよ!」

士「お前達を誘き出すために俺の手下共に暴れてもらった。」

リュウジ「目的は俺達か!」

マサト「その大首領様が俺達に何の用だ?」

士「お前達・・・と言うより全ての戦隊に用があるんだがな・・・」

J「全ての戦隊・・・?」

ヒロム「それって歴代スーパー戦隊のことを言ってるのか!?!」

士「そうだ・・・俺の目的・・・それは、全てのスーパー戦隊を破壊することだ!」

ヨーコ「・・・なっ!?!」

リュウジ「何だと・・・!?!」

士はディケイドライバーを取り出す。

士「だからお前達を・・・潰す・・・!」

士はデイクライドライバーを腰に装着し、ライドブツカーからカード1枚取り出す。

士「変身！」

ガシヤツ!!

DD『カメンライド ！』

ギユイン・ギユイン・ガシヤンツ!!

DD『デイクライド!』

士は仮面ライダーデイクライドに変身した!

ヒロム「皆、行くぞ！」

ヒロム・ヨロコ・リュウジはモーフィンブレスをマサトとJはモーフィンプラスターを起動させる!

MB『レッツ! モーフィン・タイム!』

ゴーバスターズ「[[[レッツ! モーフィン!]]]]」

ヒロム達はゴーバスターズに変身した!

レッドB「レッドバスター！」

ブルーB「ブルーバスター！」

イエローB「イエローバスター！」

ビートB「ビートバスター！」

スタッグB「スタッグバスター！」

ゴーバスターズ「特命戦隊ゴーバスターズ！」

デイクライド「ほう・・・」

TP『トランスポット!』

レッド・ブルー・イエローはソウガンブレード、ビートとスタッグはドライブブレードを装備する! 対するデイクライドもライドブツカー・ソードモードを手取る!

レッドB「バスターズ! レディー・・・」

ゴーバスターズ「GO！」

デイクライドとゴーバスターズは相手に向かって走り出す!

次回へ続く

9話 仮面ライダー・デイクイド VS 特命戦隊ゴーバスターズ

レッドB 「バスターズ！レディー……」

ゴーバスターズ 「GO！」

デイクイドとゴーバスターズは走り出し、そして剣の攻防が始まる

！

キーン！ギーン！ガギーン！

ゴーバスターズは5人なのに対して1人のデイクイドはゴーバスターズの攻撃を全て防いでる！

ビートB 「コイツ……俺達の攻撃を全て防いでやる！」

イエローB 「つ……強い！」

デイクイド 「どうした！これじゃ他の戦隊の方がマシだぞ！」

デイクイドはゴーバスターズに挑発する！

レッドB 「くっ……馬鹿にするな！」

レッドバスターは一瞬の隙を突き、デイクイドを蹴っ飛ばす！

ドゴッ！

デイクイド 「うおっ！」

蹴っ飛ばされたデイクイドは地面に転がるがすぐに立ち上がる。

デイクイド 「やるな……コイツを使うか！」

デイクイドはカードを取り出し、デイクイドライバーにセットする

！

DD 「カメンライド！オーズ！」

デイクイドは仮面ライダーオーズに変身した！

レッドB 「更に変身した!？」

デイクイド・オーズはメダジャリバーを装備し、ゴーバスターズに攻撃する！

ギーン！ガギーン！

ビートB 「囲んで同時攻撃するぞ！」

ビートバスターの指示でデイクイド・オーズの周りを囲み、5人同

時に斬りかかる！

D オーズ「悪くない連携だ・・・だが！」

ギュルン！ザシユウウウ！

ゴーバスターズ「二二うわあああ！」「二二」

デイケイド・オーズは体を捻り回転させ、メダジャリバーの回転斬りをしてゴーバスターズを一掃した！

D オーズ「俺の強さには及ばない。」

ブルーB「くそ！俺のパワーで！」

ブルーバスターは自慢の怪力でデイケイドにパンチをしようとした！

DD『フォームライド・オーズ！ サゴーズ！』

デイケイド・オーズはタトバコンボからサゴーズコンボへフォームチェンジした！

ブルーB「うおおお！」

D オーズ「フンツ！」

ドゴオオオツ！！

ブルーバスターとデイケイド・オーズ サゴーズ・コンボのパンチが激突した！

D オーズ「ハアアアツ！！」

ブルーB「ぐあああつ！」

ドオオオオン！

ブルーバスターは吹っ飛ばされ壁に激突した！

ビートB「リュウジがパワー負けしただど!？」

イエローB「やああ！」 ビョオオン！

イエローバスターは高くジャンプして上からイチガンバスターでデイケイドに狙撃しようとした。

DD『フォームライド・オーズ！ガタキリバ！』

D オーズ「ハッ！」 バビョオオン！

デイケイド・オーズはサゴーズ・コンボからガタキリバ・コンボへフォームチェンジし、イエローバスターより高くジャンプした！

イエローB「そんな！私より高く!?!」

D オーズ「俺を見下ろそうだななんて考えないことだ。ガキ！」
ジャキイン！

デイケイド・オーズ ガタキリバ・コンボはカマキリソードでイエローバスターに斬りかかる！

ガギイイイ！

イエローバスターは咄嗟にイチガンバスターで防御するが、デイケイド・オーズに押され負け、勢いよく地面に降下し、叩きつけられる！

ズダアアアン！

レッドB「ヨーコ！」

レッドバスターはイエローバスターに駆けつける。

イエロー「うう・・・」

デイケイド・オーズ ガタキリバコンボは地面に着地し、スタッグバスターはその隙にドライブブレードで斬りかかる！

スタッグB「ハアアアッ！」

ガギイイイ！ドゴツ！

スタッグバスター「くっ・・・」

デイケイド・オーズ ガタキリバコンボはカマキリソードで防ぎ、スタッグバスターを蹴っ飛ばし、ドライブブレードを奪う！

D オーズ「クワガタか・・・別のクワガタを見せてやる。」

DD 『カメンライド・クウガ！』

デイケイド・オーズは仮面ライダークウガに変身した！

レッドB「また変身した!?!」

ビートB「いくつ姿を変えられるんだよ!?!」

DD 『フォームライド・クウガ！タイタン！』

デイケイド・クウガはマイティフォームからタイタンフォームにフォームチェンジし、奪ったドライブブレードをタイタンソードに変える！

スタッグB「それは俺のだ！」

スタッグバスターはモーフインブラスターでデイケイド・クウガに何度も狙撃する！

ズギュン！ズギュン！

Dクウガ「ハアアアッ！」

ガギイン！ガギイン！

だが、デイケイド・クウガはタイタンソードでエネルギー弾を弾きながらスタッグバスターに向かって走る！

Dクウガ「フンッ！」

ジャギイイ！

デイケイド・クウガはスタッグバスターに、タイタンソードの斬撃を浴びせ、吹っ飛ばす！

スタッグ B「ぐうっ！」

ビートB「J！野郎！」

デイケイド・クウガはタイタンソードを放り投げ、一枚のカードを取り出す。

Dクウガ「カブトムシにはカブトムシだ。」

DD『カメンライド・カブト！』ギイン！

デイケイド・クウガは仮面ライダーカブトに変身し、クナイガンでビートバスターの斬撃を防ぐ！

ビートB「またかよ！」

DD『アタックライド・クロックアップ！』ギュン！

ビートB「消えた!？」

ギイン！

ビートB「うあっ!？」

ブルーB「先輩！」ジャキイ！「ぐっ！」

Dカブト「他人のことより自分の心配をしたらどうだ？」ドゴッ！

イエローB「きやあ！」

ズバア！

スタッグB「ガアッ！」

レッドB「フッ！」チギイッ！

レッドバスターはデイケイド・カブトの斬撃を防ぐ。

イエローB「ど・・・何処にいるの？」

ビートB「落ち着け！高速で移動してるだけだ！」

レッドB「ああ！俺には見える・・・行くぞ！」ギューン！

レッドバスターも姿を消し、高速移動でクロックアップに対抗する

！

キーン！ギーン！ガギイ！チギイツ！

二人は見えない速さで攻防を繰り返す！

Dカブト「ほう！クロックアップと互角のスピードか！」

レッドB「言ったハズだ！馬鹿にするなと！」

攻防を繰り返すうちにデイケイド・カブトはレッドバスターに背中を見せてしまう。レッドバスターはチャンス逃がさまいとソウガンブレードのスイッチを押しした！

キィイーン！

SB『イツツ フォア タイム バスター！』

ソウガンブレードの刀身が緑色に発光し、レッドバスターは後ろ向きのデイケイド・カブトに向かって走る！

レッドB「油断したな！バスタースラッシュ！」

レッドバスターは必殺剣バスタースラッシュでデイケイド・カブトに斬りかかる！

Dカブト「お前がな。」

DD「ファイナルアタックライド・カ・カ・カ・カ・カブト！」

デイケイド・カブトの右足が発光し、必殺の回し蹴りライダーキックを発動させる！

ブーン！

Dカブト「たあああつ!!」

ドガアアアンツ!!

バスタースラッシュとライダーキックが激突し、爆発!!レッドバスターが吹っ飛ばされ、デイケイド・カブトは平然と立ったままでデイケイドの姿に戻る。

レッドB「ぐあっ！」

吹っ飛ばされたレッドバスターは地面に転がり、4人はレッドバスターの下に駆けつける。

ブルーB「ヒロム！」

イエローB「大丈夫!？」

レッドB「なんとか・・・間一髪だった・・・」

レッドバスターは体を起こし、ソウガンブレードを見て驚く。

レッドB「ソウガンブレードが・・・！」

今の攻撃でソウガンブレードが大破されてしまったのだ。

スタッグB「強い・・・っ！」

ビートB「当たったのはヒロムの蹴り一発だけかよ・・・！」

デイケイドの所に大ショツカーの集団が集まる。

戦闘員「イー!!」

デイケイド「最新の戦隊はこんなもんか・・・やれ!!」

デイケイドの合図で大ショツカーの集団はゴースターズに襲い

かかるとうとする。

レッドB「絶体絶命か・・・」

ゴースターズはもう駄目だと思ったその時!

???「させるか!!」

ズドドドン!!

戦闘員「イーッ!？」

何者かが大ショツカーの集団に狙撃した。

次回へ続く

10話 世界の破壊者 VS 宇宙海賊 前編

??? 「させるか!!」

ズドドドオン!

戦闘員「イイーツ!?!」

何者かが大ショツカーの集団に狙撃する!そして空に浮かぶ赤い船から5人がワイヤーを使って地上に降りて着地し、大ショツカーの集団に攻撃する!

ドガツ!ジャキイ!ズドオン!

ゴーバスターズ(レッド、ブルー、イエロー)は、その5人を見て驚く!

イエローB「嘘・・・あれって!!」

レッドB「海賊戦隊ゴーカイジャー!?!」

ブルーB「なぜ、彼等が地球に!?!」

ビートB「なんだ?アイツらも俺らと同じ戦隊なのか?」

スタッグB「説明を頼む。」

ブルーB「あ!そうか・・・先輩とJは知らないんですね・・・」

レッドB「ゴーカイジャーは宇宙から地球を襲ってきた宇宙帝国ザンギヤツクと戦った35番目のスーパージョウ戦隊・・・俺達が36番目のスーパージョウ戦隊だから俺達の先輩ってことになりますね。」

イエローB「でも、あの人達ってザンギヤツクの帝王であるアクロス・ギルを倒した後、宇宙へ旅立ったハズじゃ・・・」

レッドB「リーダーであるゴーカイレッドがいないな・・・」

ブルーB「別行動をしてるのかも・・・」

ドガツ!ザシユウウ!

ゴーカイレッドを除くゴーカイジャーは大ショツカーの集団を片付けた。

デイケイド「海賊戦隊ゴーカイジャーか・・・お前達の方から来てくれるとはな・・・」

ゴーカイ青「お前がデイケイドか・・・!」

ゴーカイ黄「マーベラスが言ってた事は本当だったみたいね。」

ゴーカイ銀「仮面ライダー・デイクライド！同じヒーローであるスーパー戦隊をなぜ、倒すんだ!? お前も悪と戦う戦士のハズだろ!?!」

イエローB「ええっ!?!」

ビートB「どういう事だよ……」

デイクライド「……それはコッチの台詞だ。なぜ、スーパー戦隊は仮面ライダーを倒す?」

ゴーカイ桃「ちよつと待っててください！スーパー戦隊が仮面ライダーを!?!」

デイクライド「そうだ……ゴーカイレッド……マーベラスや他の戦隊は仮面ライダー1号を始め、多くのライダーを倒してきた。」

ゴーカイ緑「マーベラスだけじゃなくて、他の戦隊も!?!」

デイクライド「俺が出来ることは、これ以上、仮面ライダーが倒されないように全てのスーパー戦隊を破壊することだ……!」

そしてデイクライドの所に大ショッカーの集団が再び集まってきた!

デイクライド「お前達はゴーバスターズの相手をしろ。ゴーカイジャーの相手は俺がする。」

戦闘員「イー!!」

戦闘員や怪人達はゴーバスターズに攻撃を仕掛ける!

ビートB「デイクライドの相手はゴーカイジャーに任せるぞ!!」

レッドB「ゴーカイジャー! 気をつけろ、デイクライドは別の仮面ライダーにも変身できる!」

レッドバスターはゴーカイジャーにそう伝え、4人と大ショッカーの集団と共にその場を離れた……

ゴーカイ緑「ええっ!?!」

デイクライド「お前達は楽しませてくれるんだろうな?」

ゴーカイ黄「舐めんじやないわよ!」

ゴーカイ桃「馬鹿にしないでください!」

ゴーカイ銀「そっちが世界の破壊者ならコッチは宇宙海賊だ!!」

ゴーカイ青「その自信……打ち砕く!」

デイクライド「できるかな?」

デイケイドとゴーカイジャーは武器を持ち、構えて様子を伺う……
ジリ……

ゴーカイ青「行くぞっ!!」 ダツ!

デイケイドとゴーカイジャーは互いに相手に向かって走り出す!
世界の破壊者と宇宙海賊の対決が始まる!!

〜次回へ続く〜

11話 世界の破壊者 VS 宇宙海賊 後編

ゴーカイジャー「オオオオツ！」「」
デイクイド「ハアアアツ！」

デイクイドとゴーカイジャーは互いに向かって走り、そして激しい攻防が始まる！！

キーン！ギーン！ガギイイイ！

数分の攻防をした後ゴーカイジャーはデイクイドから一旦離れる。

ゴーカイ緑「はあはあ・・・こ・・・こつちは5人なのに!？」

ゴーカイ黄「口だけじゃないわね・・・」

ゴーカイ銀「ゴースターズと戦った後なのに息が全く乱れてないです！」

ゴーカイ桃「世界の破壊者の名は伊達ではありませんね・・・」

ゴーカイ青「こいつ・・・相当戦い馴れてるな・・・!？」

デイクイド「宇宙海賊つてのはこんなもんか？」

ゴーカイ黄「ハカセ！」 ガシヤツ

ゴーカイ緑「うん！」 ガシヤツ

ゴーカイイエローとゴーカイグリーンはモバイレーツとレンジャーキーを取り出す！

ゴーカイ黄・緑「ゴーカイチェンジ！」

MR『サアアアンバルカン!』

MR『バアアアトルファイバア!』

ゴーカイイエローはサンバルカンのバルパンサーに、ゴーカイグリーンはバトルファイバーJのバトルケニアにゴーカイチェンジした！

デイクイド「確かお前らも歴代の戦隊に変身できるんだったな。」
バルパンサー（ル）「その余裕の口を塞いでやる！」
バトルケニア（ハ）「いくぞー!」

身軽の戦士に変身した二人はアクロバットでデイクイドを翻弄する！

デイクイド「フンツ！」

ビュンツ！ヒョイツ！

デイクイドはライドブツカー・ソードモードで攻撃するが二人はかわしながらデイクイドに攻撃する。

バルパンサー（ル）「はあっ！」

バトルケニア（ハ）「たあっ！」

ドガツ！

二人の同時の蹴りがデイクイドに命中する。

デイクイド「チョコマカと・・・それならコレだ！」

D・D『カメンライド・アマゾン！』

デイクイドは仮面ライダーアマゾンに変身した！

ゴーカイ銀「レットバスターが言った通り、別のライダーになった！！」

ゴーカイ桃「私達が歴代の戦隊に変身できるように、デイクイドも歴代のライダーに変身できるんですね・・・！」

Dアマゾン「獣には獣っ・・・てね。行くぞ！」

デイクイドも身軽のアマゾンに変身し、二人のアクロバット攻撃をかわし、自身もアクロバットで対抗する！

ダンツ！クルツ！ブンツ！

デイクイド・アマゾンは二人の頭を掴み地面に叩きつける！

Dアマゾン「大人しくしてろ！」

ズダンツ！

バルパンサー（ル）「うわっ！」

バトルケニア（ハ）「いでっ！」

ゴーカイ桃「お二人とも！ゴーカイチェンジ！」

MR『ゴオオオセイジャアア！』

ゴーカイピンクはゴセイジャーのゴセイピンクにゴーカイチェンジし、テンソウダーを取り出しゴセイカードをセットする！

ゴセイピンク（ア）「コンプレックスサンダー・カード！天装！」

テンソウダー『ガチャツ！』

ピシヤアアア！！

コンプレックスサンダーの電撃がデイクイド・アマゾンに向かう！

DD 「カメンライド・ストロンガー！」

デイクライド・アマゾン は仮面ライダー・ストロンガーに変身して右手を前に突きだし、コンプレックスサンダーの電撃を吸収する。

バチバチッ！

ゴセイピンク (ア) 「そんなっ!?!」

D ストロンガー 「お返しだ！」

D・D 『アタックライド・エレクトロファイヤー！』

D ストロンガー 「フンッ！」

バリバリバリッ!!

デイクライド・ストロンガーのエレクトロファイヤーがゴセイピンク (ア) に命中する！

ゴセイピンク (ア) 「きやあ！」

ゴークイ青 「アーム！」

ゴークイ銀 「俺が行きます!!」

ゴークイシルバーはレンジャーキーをゴークイセルラーにセットする！

ゴークイ銀 「ゴークイチェンジ！」

GS 『マアアジレンジャアア！』

ゴークイシルバーはマジシャインにゴークイチェンジし、マジランバスターを取り、デイクライド・ストロンガーに狙いを定める！

D ストロンガー 「お前が太陽なら俺は黒い太陽だ。」

DD 『カメンライド・Black・RX！』

デイクライド・ストロンガーは仮面ライダーBlack・RXに変身し、光の剣リボルケインを手取る。

マジシャイン (鎧) 「マジランバスター！」

ズギユン！ズギユン！ズギユン！

ガギイ！ガギイ！ガギイ！

マジシャイン (鎧) はデイクライド・RXにマジランバスターの連射攻撃をするが、デイクライド・RXはエネルギー弾をリボルケインで全て弾きながらマジシャイン (鎧) に向かって走る！

D・RX 「おおりやあ！」

ジャキイン！

マジシャイン（鎧）「があああつ！」

マジシャイン（鎧）はリボルケインの斬撃を受けて吹っ飛ぶ！

ゴーカイ青「ゴーカイチェンジ！」

D・RX「コイツだ！」

MR『カアアクレンジャア！』

DD『カメンライド・ZX！』

ゴーカイブルーはカクレンジャーのニンジャブルー、デイケイド・

RXは仮面ライダーZXに変身する！

ニンジャ青（ジョ）「カクレマル！」

D・ZX「忍者対決か！」

ニンジャブルー（ジョー）のカクレマルとデイケイド・ZXの電磁

ナイフの攻防が始まる！

ギイン！キイン！ガギイ！

D・ZX「どうやら、お前は剣術が得意なようだな！」

ニンジャ青（ジョ）「くっ・・・！」

バトルケニア（ハ）「剣術でジョーが押されてる!？」

D・ZX「だが、お前達に付き合うのもここまでだ！」

D・D『アタックライド・マイクロチェーン！』

ジャラララ！

デイケイド・ZXの手の甲から鎖が飛び出し、ニンジャブルー

（ジョー）の右手に絡み付く！

ニンジャ青（ジョ）「何ッ!？」グンツ！

ドゴオオ！

ニンジャ青（ジョ）「がっ・・・！」

デイケイド・ZXはマイクロチェーンを引っ張り、ニンジャブルー

（ジョー）を引き寄せ、蹴り飛ばす！

ニンジャブルー（ジョー）は階段前に吹っ飛ばされ、ゴーカイブルー

の姿に戻る。

ゴーカイ緑「ジョー！」

ゴーカイ黄「ジョー！」

ゴーカイ桃「ジョーさん！」

ゴーカイ銀「ジョーさん！」

他の4人もゴーカイジヤールの姿に戻り、ゴーカイブルーの所に駆け寄る。

ゴーカイ青「くっ……くそ！」

ゴーカイ黄「デイケイドの奴、他のライダーの力を上手く使ってる……！」

デイケイド・ZXはデイケイドの姿に戻り、ゴーカイジヤールの所までゆっくり歩く。

デイケイド「最期にお前達にいいものを見せてやろう。ドクトルG！」

階段上にいたドクトルGが頷く。

ドクトルG「来い！我ら大ショツカーの要塞よ!!」

ゴオオオ！

ゴーカイジヤールは空を見上げる。

ゴーカイ青「なんだ!？」

ゴーカイ黄「で……でかい！」

空に現れたのは機械の昆虫のような姿をした宇宙船だった！

ドクトルG「大ショツカーのクライシス要塞だ!!」

クライシス要塞が階段に光を照射する！

ドクトルG「出でよおお！大ショツカー幹部達!!」

照射された光から、シャドームーン、ジャーク將軍、アポロガイスト、ジェネラルシャドウ……他にも歴代ライダー達が倒した怪人が出てきた!!

ゴーカイ銀「あれって……歴代の仮面ライダー達が倒した悪の組織のボス達ですよ!!」

ドクトルG「ゴーカイジヤールを始末するのだ!!」

ドクトルGの合図で大ショツカー幹部達はゴーカイジヤール達に攻撃を仕掛ける！

ゴーカイ緑「これじゃあ、仮面ライダーとスーパー戦隊の全面戦争じゃないか!!」

ゴーカイ桃「どうして、こんなことに・・・!?!」

ゴーカイ青「来るぞ!」

ガギイ!ガギイ!ギイン!

ゴーカイジャーは幹部達の攻撃をただ、ただ、防御する!

ジエネラルシャドウ「シャドウサーベル!!」

ジャキイ!ジャキイン!

ゴーカイジャー達はジエネラルシャドウの攻撃を受け、倒れる!

ゴーカイ青「くっ・・・!」

ゴーカイ黄「数が多い・・・!」

ジエネラルシャドウ「終わりだ。ゴーカイジャー!」

ジエネラルシャドウはゴーカイジャーに止めを刺そうとしたその

時!!

???「火炎の舞!!」

シュゴオオオツ!

ジエネラルシャドウに炎の斬撃が襲った!

ジエネラルシャドウ「ヌウ・・・何者だ!?!」

デイケイド「お前は・・・」

ゴーカイ銀「あ・・・あなたは!!」

シンケン赤「シンケンレッド・・・支葉 丈瑠」

次回へ続く

12話 破壊者と侍の再会、特命戦隊の消滅・・・

ゴーカイ銀「あ・・・あなたは！」

シンケン赤「シンケンレッド・・・支葉 丈瑠・・・」

ゴーカイジャーを助けたのはシンケンジャーのシンケンレッド
支葉 丈瑠だった！

ゴーカイ銀「シンケンレッドの支葉 丈瑠さんだああああ!!」

ゴーカイ青「シンケンレッド・・・前、地球にいた時に会ったシンケンレッドは女だったハズだが・・・」

ゴーカイ桃「いえ、地球にいた時、私たちが使っていたシンケンレッドのレンジャーキーは2つありましたからシンケンレッドは2人いるって事です。」

シンケン赤「ああ、その通りだ。」

デイケイド「久しぶりだな・・・殿様！」

シンケン赤「土・・・！」

ゴーカイ緑「えっ・・・知り合い!?!」

ゴーカイ黄「みたいね」

シンケン赤「土・・・本当にお前がスーパー戦隊を・・・」

デイケイド「ある程度、事情は知ってるんだろ？」

シンケン赤「スーパー戦隊が仮面ライダーを倒すからか・・・そんな馬鹿な・・・」

デイケイド「事実だ・・・じゃなきゃ俺だって理由も無しにやりたくないさ。」

シンケン赤「待て！何かの間違いのハズだ!!」

デイケイド「おっと、向こうもそろそろ終わりみたいだ・・・」

ゴーカイジャーとシンケンレッドはデイケイドの視線の先の方
を見る。

ドカツ!

レッドB「ぐわっ!」

ブルーB「ぐっ!」

イエローB「きやっ!」

ビートB「うおっ！」

スタツグB「ヌウツ！」

その光景はゴースターズが大シヨツカーの集団にやられている姿だった！

ゴークイ緑「ゴースターズが!!」

ゴークイ黄「アイツらもう、ヘトヘトじゃない!!」

ゴークイ銀「多分、ディケイドにやられたダメージがまだ残ってるんですよ!!」

ディケイドはゴースターズに向かって歩く。

ディケイド「俺が終わらせてやる。」

ゴークイ青「止めを刺す気だ!!」

シンケン赤「止めるぞ!!」

ジエネラルシャドウ「させん！」

ガギイン！ギイン！

ゴークイジャーとシンケンレッドはディケイドを阻止しようとするが、大シヨツカー幹部達が邪魔をする！そして、ディケイドは倒れるゴースターズの前に立つ。

ディケイド「じゃあな。」

ディケイドはカードをディケイドライバーにセットし、ライドブツカー・ソードモードの刀身がマゼンタ色の光が発光する！

D・D『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・ディケイド!!』

シンケン赤「止める！士ああああ!!」

ディケイド「消えろおお!!」

ザシユウウウ!!

ゴースターズ「!!」「うわああああ!!」「!!」

ディケイドは必殺剣ディメンションスラツシユでゴースターズ5人をまとめて斬り、消滅させた・・・

くエネルギー管理局特命部く

トオル「ゴ・・・ゴースターズの生体反応・・・ありません・・・!!」

ミホ「ゴーバスターズ・・・消滅・・・」

黒木「そんな・・・」

く東京タワー 付近 階段く

ゴーカイ銀「ゴ・・・ゴバスターズまで・・・！」

ゴーカイ青「デイケイドおお!!」

ゴーカイブルーはデイケイドに向かおうとするが、シンケンレッドに止められる。

シンケン赤「ゴーカイジャー！ここは退却するぞ!!」

ゴーカイ青「しかし!!」

シンケン赤「俺たちが圧倒的に不利だ!!グリーン！シルバー！ブルーを無理矢理にでも引っ張って行け!!」

ゴーカイ銀「は・・・はい!!」

ゴーカイ緑「ジョー、行くよ!!」

ゴーカイ青「くそっ!!」

ゴーカイ黄「覚えてなさいよ!!」

ゴーカイ桃「ルカさん、行きますよ!!」

シンケン赤「シヨドーフォン！」

シンケンレッドはシヨドーフォンで『煙』の文字を書き煙幕を出し
ゴーカイジャーと共に姿を消した。

ドクトルG「逃げられたか・・・」

デイケイド「放っておけ、奴等はまた姿を現すだろ。」

ゴーカイジャー達は何もできなかった・・・

く次回へ続くく

13話 海賊と侍

くゴーカイガレオン 居住区く

マーベラスを除くゴーカイジャーとシンケンレッドの支葉 丈瑠は大シヨツカーとデイケイドの戦いから退却し、ゴーカイガレオンに乗っていた。

丈瑠「大丈夫か？」

ジヨー「ああ、助かった。礼を言う。」

鎧「丈瑠さん、ありがとうございます！あの・・・」

ハカセ「鎧、サインなら全て終わってからね。」

鎧「や・・・やだなくドンさん、わかってますよ！（汗）」

ルカ「凶星だつて事がバレバレ・・・（汗）」

アトム「丈瑠さんとはこうして面と向かって話すのは初めてですね。」

丈瑠「ああ、お前達にシンケンジャーの大いなる力を与えたのもう一人のシンケンレッド・・・俺の母様だ。」

ジヨー「母様・・・ってどう見てもアンタの方が歳上だろ・・・!？」

丈瑠「ああ、俺達は本当の親子じゃない。俺は母様・・・支葉 薫の影武者だった・・・外道衆の最後の戦いの時、支葉 薫は俺に支葉家の跡を継がせるために俺を養子にしたんだ。」

ジヨー「シンケンレッドが二人なのはそれが理由か・・・」

ルカ「ところでアンタ、あのデイケイドとは顔見知りなの？」

ハカセ「ちよつと、ルカ失礼だよ！命の恩人なんだから！」

鎧「そうですよ！俺達スーパージョウの先輩ですよ!!」

丈瑠「いや、いいさ。デイケイドとシンケンジャーの事について説明しよう。」

ジヨー「聞かせてくれ。」

丈瑠「仮面ライダーデイケイド・・・門矢 士は俺達シンケンジャーが外道衆と戦つてる時期に出会ったライダーでな、その時にデイケイドの仲間・・・いや、ライバルの仮面ライダーの変身アイテムが外道衆の妖に奪われてしまったんだ。その妖は変身アイテムを使って変

身して妖ライダーになって大暴れし、その妖ライダーを倒すためにシンケンジャーと仮面ライダーディケイドは手を組み、そいつを倒したんだ。それ以降はディケイドとは会っていない……」

アイム「そして先程が久々の再会という訳ですね？」

丈瑠「ああ。」

ハカセ「ところで他のシンケンジャー達は？別行動なの？」

丈瑠「いや……皆、ライダー達に消滅されてしまった……」

鎧「そんな……」

丈瑠「そういえば……お前達はどうして歴代スーパー戦隊に変身できるんだ？確か、地球を去る時にレンジャーキー……スーパー戦隊の力は俺を含めた元の持ち主に返したんだろ？」

ナビイ「ああ、それはね……」

ハカセ「これのおかげだよ。」

ハカセ達が丈瑠に見せたのは青、黄、緑、ピンク、銀のクリスタルのレンジャーキーだ。

丈瑠「クリスタルのレンジャーキー？」

鎧「これは俺達が宇宙に旅立ってザンギヤック本星で見つけたお宝なんです。」

アイム「私たちはコレを幻のレンジャーキーと呼んでます。」

ルカ「例えばコレを使ってシンケンジャーになりたいって思えば……」

幻のレンジャーキーは光り、シンケンジャーのレンジャーキーになった。

ジョー「ゴイツのおかげで前のように歴代スーパー戦隊に変身できるんだ。」

丈瑠「という事はゴーカーレッド……マーベラスも……」

ジョー「ああ、アイツも幻のレンジャーキーを持ってる。」

するとハカセが何かを思い出す。

ハカセ「あ……食料の買い出ししなきゃ！」

鎧「確か昨日の夕飯や今日の朝食で全部使っちゃいましたね……」
ルカ「あんたらはもう……」

アイム「まあ、何もしないよりは・・・丈瑠さんはこれからどうするんですか？」

丈瑠「すまないが、しばらくお前達と行動を共にさせてくれないか？一人では大シヨツカーや大ザンギャックに対抗するのは難しい。」

ジョー「ああ、歓迎する。俺達も戦力が欲しいしな。」

そして丈瑠とジョー達は食料の買い出しのために地上に降りる。

くビル 屋上 く

一人の男が青い銃を持って空を眺めている。

??? 「仮面ライダーとスーパー戦隊の全面戦争か・・・面白い事になってるな。」

く次回へ続くく

14話 大帝王マーベラス 次の標的のライダー

くギガントホース ブリツジく

シルバ「大帝王マーベラス様 どうぞ」

マーベラスは司令席に座る。

マーベラス「楽にしろ。」

ゴーミン「ゴゴォー!」

大ザンギャツク幹部「ハッ!」

マーベラス「んで、次の標的のライダーは?」

シルバ「仮面ライダーWと仮面ライダーオーズです。」

マーベラス「フツ・・・ちよれえな。」

ワルズ「マーベラス様なら楽勝です!!」

マーベラス「ワルズ・ギル・・・お前、復活しても変わらねえな・・・

(呆)

マーベラスは椅子から立ち上がる。

マーベラス「いいか!仮面ライダーは一人残さず潰せ!邪魔をする

奴は誰であろうと排除しろ!!」

大ザンギャツクはマーベラスに注目する。

マーベラス「全ての仮面ライダーを倒すまでは・・・気を抜くんじや

無えぞ!!」

ゴーミン「ゴゴォー!」

大ザンギャツク幹部「ハッ!」

く廃工場 前く

翔太郎「くそ!なんだコイツら!」

フィリップ「どうやら狙いは僕達・・・いや、全ての仮面ライダー

みたいだね。」

映司「全ての仮面ライダーを!」

ブラジラ「我らは大ザンギャツク!Wとオーズよ!貴様達の命をも

らう!行け!我が分身達よ!!」

ブラジラは自分の分身であるブレドラン達4人に映司達を襲うよう命令した。

翔太郎「ファイリッップ！映司！変身だ!!」

ファイリッップ「ああ！」

映司「いや、ちよつと待って下さい、翔太郎さん！」

翔太郎「なんだよ、映司!？」

映司「今、Wに変身したらマズイですよ！ファイリッップ君の体が間違
いなく狙われちゃいますよ!!」

ファイリッップ「大丈夫さ映司、変身後すぐにエクストリーム メモリ
に体を回収してもらおうから。」

映司「そういうことなら！」 ガチャッ

翔太郎「いくぜ、相棒！」 ガチャッ

ファイリッップ「ああ、翔太郎！」 ガチャッ

映司はオーズドライバ―を、翔太郎とファイリッップはダブルドライ
バ―を腰に装着する。

チャキッ チャキンッ キイン！キイン！キイン！

映司はオーズドライバ―にメダル3枚をセットしスキャンする！

S M 『サイクロン！』 J M 『ジョーカー！』

ファイリッップはサイクロンメモリ、翔太郎はジョーカーメモリを取り
出す！

映司「変身！」

ファイリッップ・翔太郎「変身！」

OD 『タカ！トラ！バツタ！タ・ト・バ！タトバ！タ・ト・バ！』
ガチャッ！ガチャッ！ジャキイ！

W D 『サイクロン、ジョーカー！』

映司は仮面ライダーオーズ、翔太郎は仮面ライダーWに変身し、倒
れたファイリッップの体はエクストリーム メモリが吸収し、飛び去っ
た。

W (翔・ファイ)「さあ、お前達の罪を数えろ!!」

オーズ「行くぞ！」

ドガッ！バキッ！

オーズ、Wと大ザンギヤックの戦いが始まり、その戦いを工場の中
から遠く見ている者がいる・・・大帝王のマーベラスだ。

マーベラス「あれがオーズとWか・・・」

マーベラスはモバイレーツを取り出す。

???「よつと！」バツ!

何者かがマーベラスのモバイレーツを奪った!

マーベラス「・・・誰だ!」

海東「通りすがりの怪盗さ。」

モバイレーツを奪ったのは仮面ライダーディエンドの 海東 大
樹だった・・・

く次回へ続くく

15話 ゴーカイレッド vs 仮面ライダーディエンド

海東「通りすがりの怪盗さ。」

マーベラス「なんだ・・・こそ泥か。」

海東「こそ泥じゃなくて怪盗ね。ま、君のお宝は頂いたよ。」

マーベラス「同じだろ・・・お前が居たことに気づいてないと思っ
てたか？残念だが、それはモバイレッツじゃないぜ。」

海東「・・・っ！」

海東が奪ったモバイレッツが消滅した。

海東「偽物か・・・」

ジャキイン！ ガギイツ！

マーベラスは海東にゴーカイサーベルで斬り懸かり、海東はディ
エンドライバーで防御する！

マーベラス「そういえば聞いたことがあるな。ふぎけた泥棒のライ
ダーがいるって・・・名前は確か仮面ライダーディエンド！」

海東「教えたまえ！なぜ、仮面ライダーを狙う!？」

マーベラス「成る程・・・それを阻止しに来たって訳か!!」

ドガツ！

マーベラスは海東を蹴っ飛ばし、海東はマーベラスから離れる。

海東「馬鹿馬鹿しい・・・他のライダーの事なんて知ったこっちゃ
ない・・・僕が興味あるのはお宝だけさ。海賊の目的と言えば、お宝
だからね。」

マーベラス「フツ・・・冥土の土産に教えてやる。俺が最後に手に
入れるのは宇宙最高のお宝だ!!」

海東「宇宙最高のお宝・・・?」

マーベラス「そのために・・・全ての仮面ライダーは俺が倒す! ゴー
カイチェンジ！」

MR『ゴオオカイジャアア!』

マーベラスはゴーカイレッドに変身する。

海東「だったら、そのお宝は僕が手に入れる……！」ガチャツ
海東はカードをデイエンドライダーにセットし、銃口を上に向け
る。

海東「変身！」バンツッ！

DD『カメンライド・デイエンド！』

海東は仮面ライダーデイエンドに変身し、ゴーカイレッドとの銃撃
戦が始まった！

バンツッ！バンツッ！バンツッ！

ズドンツッ！ズドンツッ！ズドンツッ！

DD『ファイナルアタックライド』

GG『ファイナルウエーブ!!』

デイエンドはデイエンドライダーに黄色のカードを、ゴーカイレッ
ドはゴーカイガンにレンジャーキーをセットした！

DD『デイ・デイ・デイ・デイ・デイエンド！』

ゴーカイ赤「ゴーカイブラスト！」

ズドオオオオオオツッ!!

デイエンドのディメンションシユートとゴーカイレッドのゴーカ
イブラストが衝突し、爆発した。

デイエンド「やるね、これならどうかかな？」

デイエンドは2枚のカードをデイエンドライダー

にセットする！

DD『カメンライド・牙王！』『カメンライド・リュウガ！』

デイエンドは仮面ライダー牙王と仮面ライダーリュウガを召喚す
る！

ゴーカイ赤「ライダーを召喚したのか……バスコみてえな野郎だ
な、お前。」

デイエンド「誰と比べてるのか知らないけど一緒にしないでくれる
かな？僕は僕さ。」

ゴーカイ赤「お前とアイツは同類だよ……人のモン横取りすると
ころがな！ゴーカイチェンジ！」

MR「ジュウウレンジャアア！」

ゴーカイレッドはジュウレンジャーのテイラノレンジャーにゴーカイチェンジした！

デイエンド「行け！」

牙王はガオウガツシャー、リュウガはドラグセイバーでテイラノレンジャー（マーベラス）に斬り懸かる！

テイラノ（マ）「竜撃剣！」

キイン！キイン！

テイラノレンジャー（マーベラス）は竜撃剣で牙王とリュウガの剣の攻撃を防ぐ。隙があつたのか牙王の懐に近づき……

テイラノ（マ）「テイラノスラッシュ！」

ザシユウウ！

牙王「ぐああつ！」

テイラノレンジャー（マーベラス）はテイラノスラッシュで牙王を斬り、消滅させる。

テイラノ（マ）「ドラゴンにはドラゴンだ！ゴーカイチェンジ！」

MR『ダアアイレンジャーア！』

テイラノレンジャー（マーベラス）はダイレンジャーのリュウレンジャーにゴーカイチェンジし、リュウガに攻撃する！

ドガツ！バキツ！

リュウレンジャー（マーベラス）はリュウガを吹っ飛ばす！

リュウ（マ）「天火星、稲妻炎上波!!」

ピシヤアアアツ！ゴオオオツ！

リュウガ「がああつ！」

リュウレンジャー（マーベラス）の雷と炎の攻撃でリュウガも消滅する。

デイエンド「くっ……！次はコレだ！」

DD『カメンライド・G3—X!』『カメンライド・アクセル!』

デイエンドは仮面ライダーG3—Xと仮面ライダーアクセルを召喚し、召喚された2人のライダーは両サイドからリュウレンジャー（マーベラス）に攻撃を仕掛ける！

リュウ（マ）「ゴーカイチェンジ！」

MR 『デエエカレンジャーア!』ジャキッ

リュウレンジャー(マーベラス)はデカレンジャーのデカレットに
ゴーカイチェンジし、2丁拳銃Dマグナムの銃口を両サイドの2人に
向け、連射する!

ズドドドドンッ!!

G3-X 「うわあああ!」

アクセル 「ぐわあああ!」

銃弾を浴びた2人のライダーは消滅し、残ってるのはデイエンドだ
けになった。

デカレット(マ) 「海賊が言うのもなんだが、泥棒には刑事だ…
ハイブリッドマグナム!」

ガチャッ!

デカレット(マーベラス)は2丁拳銃のDマグナムを合体させ、ハ
イブリッドマグナムにしてエネルギーをチャージする。

ギューイイーン!

デカレット(マ) 「マグナムエクスキュージョン! シュート!!」

ズドオオオオン!

デカレット(マーベラス)は必殺のマグナムエクスキュージョンを
デイエンドに発射して、デイエンドに命中させる!!

ドゴオオオンッ!!

デイエンド 「ぐわあああ!」

攻撃をまともに受けたデイエンドは工場の外まで吹っ飛ばされて
しまう!!

ズザアアアッ!

デイエンド 「くっ…くっ…くそ!」

W(翔) 「ん…? アイツは…」

次回へ続く

16話 大首領 門矢 士 次の標的の戦隊

W(翔)「オラッ！」

ドガッ!

仮面ライダーWが大ザンギヤックとの戦闘中に何かに気づく。

デイエンド「ぐわあああ！」

ズザアアアッ

W(翔)「ん……? アイツは……おい、フィリップ! あの水色のヤツ何処かで……」

W(フィ)「ああ、彼は確か仮面ライダーデイエンド……仮面ライダーデイケイドのライバルさ。ダミードーパントとスーパーシヨツカーの事件の時、手を貸してくれただろ?」

W(翔)「ああくいたな、あんなヤツ！」

W(フィ)「何か様子が変だね……」

デカレッド(マーベラス)はゴーカイレッドの姿に戻り、デイエンドに近づく。

ゴーカイ赤「終わりだ……」

ジャキイツ

ゴーカイレッドはデイエンドに止めを刺そうとした。

W(翔)「マズイ！」

W(フィ)「助けよう！」

ゴーカイ赤「消えろ！」

デイエンド「……ッ！」

W(翔・フィ)「させるか！」ダンッ!

ドンッ!

ゴーカイ赤「うおっ！」

仮面ライダーWはゴーカイレッドに向かってジャンプして体当たりする。

デイエンド「仮面ライダーW……!」

W(フィ)「翔太郎! エクストリームだ！」

W(翔)「おっしゃ！」

エクストリーム メモリがWドライバーに装着しようとした、その瞬間！

ゴーカイ赤「隙ありだ！ゴーカイスラッシュ！」
ザシユウウ！

W（翔・ファイ）「うわあああ！」

ゴーカイレッドはエクストリーム メモリごと仮面ライダーWを斬り、消滅させた・・・

オーズ「翔太郎さん!!ファイリッパ君!!」

ゴーカイ赤「仮面ライダーオーズも始末しろ！」

ブラジラ「ハッ！」

ブレドラン4人とゴーミン達がオーズに襲い懸かる！

ブンツ！ドガッ！バキッ！

オーズ「くっ・・・数が多すぎる!!」

バンツ！バンツ！

デイエンドがブレドラン達に狙撃してオーズに駆け寄る。

オーズ「君は？」

デイエンド「話は後だ！」

ズオオオオ

デイエンドは黒いオーロラを発動させる！

オーズ「えっ!?!何これ!?!」

ブラジラ「逃がすか！」

デイエンド「怪物には怪物だ！」

DD『カメンライド・ギルス!』『カメンライド・シン!』

ギルス「ガアッ！」

シン「ヴヴッ！」

トガッ！バキッ！

デイエンドが召還した仮面ライダーギルスと仮面ライダーシンはブラジラ達に攻撃する！

デイエンド「行くよ！」

オーズ「え、ちよつと!?!心の準備が・・・」

デイエンドはオーズを引っ張り、黒いオーロラに飛び込む！

く???
く
ズオオオオ

黒いオーロラから飛び出したディエンドとオーズは変身を解除する。

海東『ふう、何とか移動できたか・・・』

映司「ここは・・・?」

海東と映司が着いた場所は沢山の歯車が動いてる広くて大きな部屋だ・・・

海東「どうやら、クライシス要塞の大広間みたいだね・・・」

映司「クライシス要塞?」

海東「静かにつ!下を見たまえ・・・」

映司「あれは・・・!」

海東と映司が見たのは大ショッカー幹部達と戦闘員が並んで立っている光景だった。大ショッカー達の視線の先には椅子に座ってる男がいる。大首領の門矢 士だ。

士「ドクトルG、次のターゲットの戦隊は?」

ドクトルG「34番目のスーパー戦隊、天装戦隊ゴセイジャーです・・・」

士「軽いな・・・次はお前達だけで始末しろ。」

ジェネラルS「なっ・・・!?!我々だけで?」

士「不満か?ジェネラルシャドー・・・」

ジェネラルS「いえ、滅相もない!このジェネラルシャドー、大首領の為ならば命を捨てる覚悟です・・・」

士は椅子から立ち上がり、大ショッカー達は士に注目する。

士「いいか!お前達の強味は何度倒されても甦るその再生能力にある!命を惜しむな・・・全てのスーパー戦隊を倒すまで死ぬ気で行けえ!!」

戦闘員「ニイーツ!!」

大ショッカー幹部達「ニハツ!!」

ドクトルG(せいぜい思い上がってるがいい。ディケイド・・・)
映司「アイツらは?それに椅子に座ってた人って・・・」

海東「アイツらは大ショッカーという悪党の集団で椅子に座ってた男が大ショッカーのボスの門矢 士・・・仮面ライダーデイケイドだよ。」

映司「あの人も仮面ライダー!?」

海東「別名、『世界の破壊者』・・・まさに悪党だろ?」

士「何言ってるんだ・・・一番の悪党はお前だろ・・・海東。」

映司「いつの間に!?!」

海東「さすが士だ。僕達が居た事に既に気づいてたとはね・・・」

士「俺が何かをすれば、必ずお前が邪魔しに現れる・・・いい加減卒業しろ。」

海東「君に言われたくないね・・・これからは自分の世界を写すんじゃないのかい? 大首領さん。」

士「海東・・・と仮面ライダーオーズの火野 映司・・・お前達もスーパー戦隊を倒すために俺と手を組め。」

海東「・・・断る。僕の行き先は僕自身が決める・・・誰の命令にも従わない。」

映司「俺も断る。理由はどうであれ悪党と手を組むのは絶対に嫌だ!」

士「目の前で仮面ライダーW・・・左 翔太郎とフィリップがゴークイレッドに消されたのにか?」

映司「・・・ッ!」

海東「もう情報が入ってるのか・・・」

戦闘員「「イーッ!!」」

士の所に戦闘員達が集まる!

イカデビル「侵入者! 逃がさなイカラ!」

海東「行くよ!」

映司「あ、ああ!」

海東は黒いオーロラを発動させ、映司と共に黒いオーロラに飛び込む。イカデビル達も後を追いかける。

士「バカな奴等だ・・・」

↳ 次回へ続く

17話 海賊と怪盗 前編

く 廃工場 駐車場く

買い出しを終えたゴーカイジャーと丈瑠はデイエンド達が戦った別の廃工場で今後の事について話し合っていた。

ハカセ「ねえ、これからどうする?」

ルカ「このままやられっぱなしってのもね・・・」

鎧「デイケイド・・・メチャクチャ強かったですから作戦なしで挑むのはさっきの二の舞ですし・・・」

丈瑠「だったらマーベラスのようにザンギャックと手を組み、ライダー狩りをするのか?」

アイム「それは絶対にイヤです!私はザンギャックに故郷を滅ぼされました・・・」

ルカ「私は家族の命を奪われ・・・」

ジョー「そして奴等は俺が尊敬する先輩を無理矢理サイボーグにしやがった・・・」

丈瑠「・・・すまん」

ズオオオオ

鎧「なんですか、アレ!?!」

鎧が何かに気づき、他の5人が鎧の視線の先を見ると、それは黒いオーロラで、そこから2人の男が飛び出した!

ジョー「何者だ!」 ジャキインツ!

ジョーはゴーカイサーベルを取り出し、構える。

海東「そっちこそ!」 ジャキツ!

海東はジョーにデイエンドライバーの銃口を向ける。

丈瑠「あ・・・お前は!」

海東「ん?やあ、久しぶり殿様。」

映司「奴等が来る!」

海東「まだ来るのか・・・行くよ!」

ズオオオオ

再び黒いオーロラが出現し、また何者かが飛び出した!

戦闘員「イー！ツ！」

ハカセ「げっ!?大シヨツカーだ!!」

ルカ「あんたらが連れて来たの!」

海東「後は君達に任せる!」

映司「えっ!?!」

イカデビル「ん・・・あつ!コイツら手配中のゴーカイジャーとシンケンレッドじゃなイカ!!」

イカデビルは指名手配のチラシを丈瑠たちに見せつける。

鎧「悪者はお前らだろ!」

丈瑠「来るぞ!」

ジヨ・ハ・ア・ル・鎧「[[[[ゴーカイチェンジ!]]]]」

丈瑠「一筆奏場!」

キインツ!ガキインツ!

丈瑠達は変身して大シヨツカーとの戦闘を始める!

海東「殿様と一緒にいたアイツらもスーパー戦隊だったのか・・・」

映司「助けよう!」

海東「どうして?」

映司「だって俺達が連れてきちゃったし・・・それに困ってる人を放っておけないよ!」

映司は大シヨツカーに向かって走り、仮面ライダーオーズに変身する!

海東「・・・お人好しの仮面ライダーだ・・・」

オーズ「ハツ!!」

ドガツ!

戦闘員「イーツ!」

ゴーカイ黄「え・・・仮面ライダー!」

ゴーカイ桃「私達を助けてくれるんですか!」

シンケン赤「この際誰でもいい!コイツらを片付けるぞ!!」

ゴーカイ銀「はい!」

デイエンド「僕を忘れないでくれるかな?」

デイエンドは大シヨツカー達に狙撃する!

バキユンツ！バキユンツ！

シンケン赤「前から思っていたが・・・本当に気まぐれなヤツだな。」
デイエンド「それはディケイド・・・士だってそうさ。」

シンケン赤「フツ・・・確かに。行くぞ！」

デイエンド「僕に命令するな！」

ゴーカイ青「・・・チツ」

ゴーカイ緑「ジョー！今は戦いに集中しよう！」

ゴーカイ青「ああ！」

オーズとゴーカイイエローとゴーカイピンクの3人はタイガーロイドと戦う！

虎ロイド「しぶといツ！」

ゴーカイ黄・桃「ゴーカイチェンジ！」

キイン！キイン！キイン！

OD『ライオン！トラ！チーター！』

MR『ラアアイブマン！』

MR『ガアアオレンジアア！』

OD『ラタ・ラタア・ラトラーター！』

ゴーカイイエローはライブマンのイエローライオン、ゴーカイピンクはガオレンジャーのガオホワイトにゴーカイチェンジ！オーズはタタバ・コンボからラトラーター・コンボにフォームチェンジした！

オーズ「えっ!?また変身した!？」

黄ライオン（ル）「なに・・・その歌・・・ダサツ！」

オーズ「ひどっ！」

ズドオオンツ！

タイガーロイドは三人に背中の大砲で砲撃するが、三人は回避し、オーズ・ラトラーターは爪、イエローライオン（ルカ）はガントレット、ガオホワイト（アイム）は小型の棒で同時に攻撃する！

黄ライオン（ル）「ライオンパンチ！」

ガオ白（ア）「タイガーバトン！」

オーズ「えつと・・・トラクロー！」

ドガアア！ドゴオオ！ザシユウウ！

虎ロイド「ガアアアッ!？」

三人の同時攻撃を受けたタイガーロイドは吹っ飛ばされる！

黄ライオン（ル）「必殺技いくよ！ライオンパンチファイヤー！」

ゴオオオオッ！

ライオンパンチの口から炎が発射され、タイガーロイドに命中するが、まだタイガーロイドは倒れない！その隙にガオホワイト（アイム）も必殺技を喰らわす！

ガオ白（ア）「白虎十文字斬り！」

ザシユウウ！ザシユウウ！

虎ロイド「ぐうっ！」

タイガーロイドは今の斬撃で体勢が崩れ、オーズはそのチャンスを見逃さず、止めを刺す！

キイン！キイン！キイン！

OD『スキヤニングチャージ!!』

オーズ「ウオオオオ・・・セイヤアアア!!」

ガオオオオオッ!!ザシユウウ!!

虎ロイド「ガオオオオオッ！」

タイガーロイドはオーズ・ラトラーターの必殺技ガツシユクローを受け、爆発する！

ドゴオオオオオン！

オーズ「ふう、」

オーズはタトバ・コンボ、イエローライオン（ルカ）はゴーカイイエロー、ガオホワイト（アイム）はゴーカイピンクの姿に戻す。

ゴーカイ黄「アイム、ジョー達の所へ行くよ！」

ゴーカイ桃「はい！」

オーズ「あ、俺も！」

3人はゴーカイブルー、仮面ライダーディエンドの所へ向かった・・・

次回へ続く

18話 海賊と怪盗 中編

シンケン赤「ハッ!!」

ザシュ! ザシュ!

シンケンレッド は次々と大シヨツカーの戦闘員や怪人をシンケンマルで斬り捨てる!

ゴーカイ銀「さすが、丈瑠さん!シンケンジャーのリーダー!!」

ゴーカイ緑「すごいね、あの人の剣術の腕……もしかしたらジョー以上かも……」

ゴーカイ青「手合わせ願いたいものだ……」

デイエンド「感心してる場合かい?」

狼男「余所見とは余裕だな!」

ブンツ!

ゴーカイ緑「うわっ!」

ゴーカイグリーンとゴーカイブルーは怪人 狼男の攻撃を回避する。

ゴーカイ緑「ジョー、えと……水色のライダー!あの狼は僕と鎧に任せて二人は丈瑠さんに手を貸してやって!」

シンケンレッドは戦闘員を片付けた後、イカデビルと戦闘している!

ゴーカイ青「俺がコイツと!」

ゴーカイ銀「あのイカ、手強いみたいですね。」

デイエンド「行くよ!」

ゴーカイ青「くっ……ハカセ、サーベルを!」

ゴーカイ緑「あ、うん!」

ゴーカイグリーンはゴーカイサーベルをゴーカイブルーに渡し、ゴーカイブルーはゴーカイガンをゴーカイグリーンに渡す。

狼男「俺を無視するな!」

ゴーカイ緑・銀「後で相手するから黙ってる!!」

ズドドドン!

狼男「ウガアッ!」

ゴーカイグリーンは二丁のゴーカイガン、ゴーカイシルバーはゴーカイスピア・ガンモードで狼男に狙撃し、ゴーカイブルーとテイエンドはシンケンレッドの助太刀に行く！

ゴーカイ緑「鎧！狼には狼だ！」

ゴーカイ銀「はい！ドンさん！」

二人はレンジャーキーを取り出す！

ゴーカイ緑・銀「ゴーカイチェンジ！」

MR『ゲエエキレンジャア！』

GS『ガアアオレンジャア！』

ゴーカイグリーンはゲキレンジャーのゲキバイオレット、ゴーカイシルバーはガオレンジャーのガオシルバーに変身する！

狼男「なにっ!？」

ゲキ紫（ハ）「狼が3匹ってね！行くよ！」

ガオ銀（鎧）「アオオオンッ！」

ゲキバイオレット（ハカセ）は蹴り技で、ガオシルバー（鎧）はガオスラードッド・サーベルモードで攻撃する！

ドガッ！ゲシッ！ザシユッ！

狼男「ぐおおっ！」

狼男は吹っ飛ばされ地面に転がる。立ち上がろうとする瞬間、二人は切断の必殺技で決める！

ゲキ紫（ハ）「ゲキワザ！輪輪拳!!」

ガオ銀（鎧）「銀狼満月斬り！」

ザシユウウ！ザシユウウ！

ゲキバイオレット（ハカセ）のエネルギーの車輪とガオシルバー（鎧）の前転斬りで狼男は切断され、爆発する！

狼男「ぐオオオッ!!」

ズドオオンッ！

狼男を倒した二人はゴーカイジャーの姿に戻る。

ゴーカイ銀「あの、ドンさん…：ジョーさんの様子おかしくなかったですか？」

ゴーカイ緑「そりや、スーパー戦隊と争ってるハズの仮面ライダー

と共闘してるからね・・・複雑な気分さ。目の前でデイケイドがゴースターズを消滅させる所を見ちゃったし・・・」

ゴークイ銀「丈瑠さんがいるから大丈夫だとは思いますが・・・やっぱり心配ですね・・・」

ゴークイ緑「よし、ジョーと丈瑠さんの所へ急いで行こう！」

ゴークイ銀「はい！」

ゴークイグリーンとゴークイシルバーはシンケンレッド、ゴークイブルー、仮面ライダーディエンドの3人の所へ向かった。

19話 海賊と怪盗 後編

シンケン赤「ハッ！」

イカデビル「イカ爆弾！」

バシユツ！ バシユツ！

ザシユ！ザシユ！

イカデビルは口から墨の球体を発射するが、シンケンレッドはシンケンマルで全て斬る！

イカデビル「これならどうだゲソ！」

ギユウウウン！

イカデビルは腕のイカの足を伸ばし、シンケンレッドに攻撃する！
スパアン！スパアン！

シンケンレッドは回避し、イカデビルから離れる。

シンケン赤「やっかいな足だ・・・！」

イカデビル「もう一丁！」

再びイカデビルはイカの足で攻撃する！

ギユルルツ！

ゴーカイ青「させるか！」

ザシユウウ！

ゴーカイブルーはゴーカイスーベルでイカデビルのイカの足を切断する！

イカデビル「痛っ!?痛いじゃないイカ!!」

ゴーカイ青「フン・・・刺身にしてやるよ！」

デイエンド「僕は料理が趣味だけどアイツは不味そうだ・・・」

シンケン赤「ジョー！奴を斬り刻むぞ！デイエンドは支援を頼む!!」

ゴーカイ青「ああ！」

デイエンド「頼みなら聞いてやってもいいかな！」

シンケンレッドはシンケンマルに双ディスクをセットし、2本に増やす！

バキユンツ！バキユンツ！

ジャキインツ！ザシユウウ！ズバアアアツ！

デイエンドはイカデビルのイカ足を狙撃し、攻撃を防ぐ！シンケンレッドはシンケンマル二刀流、ゴーカイブルーはゴーカイサーベル二刀流で何度も斬撃を浴びせる！

イカデビル「いでででっ!!だから痛いと言ってるじゃないカ!!」

デイエンド「青い海賊君、君は剣術が得意なんだよね？」

ゴーカイ青「ああ・・・それがどうした？」

デイエンド「だったらコレを使いたまえ。」ガチャツ

DD『カメンライド・剣(ブレイド)！』

デイエンドは仮面ライダー剣を召喚した！

ゴーカイ青「ライダーを召喚した!？」

デイエンド「まだだよ。痛みは一瞬だ！」ガチャツ バンツ！

剣「うあっ！」

DD『ファイナルフォームライド・ブ・ブ・ブ・ブレイド!』

デイエンドは仮面ライダー剣を巨大剣『ブレイド・ブレード』に変形させ、ゴーカイブルーに装備させる！

ゴーカイ青「今度の変形させた・・・どういう仕組みだ？」

デイエンド「さあ？僕がこの銃やカードを作ったわけじゃないから・・・」

シンケン赤「話は後だ！烈火大斬刀！」

シンケンレッドはシンケンマルを巨大刀『烈火大斬刀』に変化させる！

イカデビル「で・・・デカイ武器じゃないカ！」

シンケンレッドはイカデビルの前、ゴーカイブルーはイカデビルの後ろに立つ！

シンケン赤「止めだ！」

ゴーカイ青「くたばれ！」

2人はイカデビルに向かって走る！

イカデビル「えっ？ええっ!？」

シンケン赤・ゴーカイ青「ウオオオツ！」

ザシユウウウウツ!!!

イカデビルは巨大剣の挟み撃ちの斬撃を受け、切断される！

イカデビル「だから痛いじゃないイカ！ゲソオオオ!!」

ズドオオンツ！

イカデビルはそう言い残し、爆発する。三人は変身を解除し、残りのゴークイジャーと映司が三人の所へ集まった。

海東「ようやく片付いたみたいだね。」

丈瑠「俺達に押し付けようとした癖に……」

ジョー「丈瑠、こいつは？」

鎧「あ！もしかして、ガレオンで丈瑠さんが言ってた……」

丈瑠「ああ、怪盗でディケイドのライバルの海東 大樹……仮面ライダーディエンドだ。そっちのライダーは知らないが……」

映司「あ、俺は火野 映司！仮面ライダーオーズ、よろしく！」

海東「ライバルね……ま、士とは仲間ではない事は確かだよ。」

ジョー「ライダーであるお前らが何故、大ショッカーに追われていたんだ？仮面ライダーはディケイドと一緒に大ショッカーと手を組んでるハズだろ？」

映司「え……何それ!?全然知らないよ!!」

ルカ「本当でしょうね？」

海東「本当だよ。けど、君達スーパー戦隊側はどうなんだい？大ザンギヤックと手を組んでるハズだよね？」

ジョー「なんだと……っ！」

海東「言っておくけど映司君の仲間の仮面ライダーだって消滅させられたんだ。マーベラスの手によってね……」

ジョー「嘘をつくな!!」

映司「いや、嘘じゃない！本当だよ！」

海東「しかもライダーを倒す理由は宇宙最高のお宝を手に入れるためだそうだ。」

丈瑠「宇宙最高のお宝……？」

ルカ「それだったら丈瑠の仲間達だってライダー達に消滅させられたのよ!!」

丈瑠「やめろ!! 4人とも!!」

ジョー「丈瑠・・・お前、仲間がやられて平気なのか?」

丈瑠「平気なハズがないだろ! 正直言つて今、冷静さを保ってるのが不思議なくらいだ・・・」

鎧「丈瑠さん・・・」

丈瑠「けど、この二人と戦つて倒してもアイツらが戻ってくるわけじゃない・・・」

ハカセ「ジョー、ルカ、丈瑠さんの言う通りだよ・・・それに僕達だつて見ただろ? マーベラスがフォーゼとメテオつていう仮面ライダーを消滅させる所を・・・」

映司「ちよつと待つて! フォーゼが消滅させられたつて・・・弦太郎君が!」

アイム「そうですか・・・あの仮面ライダーもあなたの仲間だったんですね・・・」

鎧「こんな時だからこそ、俺達は協力するべきです!」

丈瑠「鎧の言う通りだ・・・今、俺達がやるべき事は争う事じゃない・・・仮面ライダーとスーパー戦隊の全面戦争の謎を解き、この戦争を止めるべきなんだ!!」

映司「俺も手伝います!」

鎧「俺もです!」

ハカセ「僕も!」

アイム「私もです!」

ルカ「スーパー戦隊の先輩にこう言われちゃあね・・・」

ジョー「ああ、この先輩には借りがあるからな。」

海東「僕も殿様に借りがあるから手伝つてやるかな・・・」

ジョー「ああ、お前その銃を外道衆の奴に奪われたんだつたな・・・」

海東「なつ・・・!? 殿様、その事まで話したのか!」

丈瑠「元はと言えばお前が源太のイカ折神を盗もうとしたのが始まりだろ?」

ルカ「怪盗が自分の物を盗まれるなんて・・・ダサッ!」

海東「あれは思い出したくないんだ・・・僕にとつて最大の屈辱な

んだ・・・」

ハカセ「とにかくガレオンに乗ってご飯食べて今後について話そう！」

ジョー「お前もハカセと鎧の手伝いをしてやれ。料理作るの得意なんだろ？」

海東「ちよつとの間世話になるんだ。僕の料理の腕を披露しようじゃないか。」

映司「豪華な料理が食べられるかも♪」

ジョー達は海東と映司を連れてゴーカイガレオンへ戻った。

次回へ続く

20話 大シヨツカーと大ザンギヤツク

くゴーカイガレオン 居住区く

イカデビル達との戦闘を終えた丈瑠達はゴーカイガレオンの居住区で夜の食事をしていた。

映司「うまつ！鶏料理や卵料理もだけど、この鍋料理も美味しいよ！」

ハカセ「口に合って良かったよ♪」

鎧「海東さんの作った鍋・・・俺が作った奴より美味しい・・・」

海東「フッフ当然さ♪」

ジョー「今後について話さなくていいのか・・・？」

丈瑠「まあ、落ち着け。食事は大事な事だ。」

アイム「もう完全に丈瑠さんがこのメンバーのリーダーになってますね・・・」

ルカ「流石、シンケンジャーのリーダー・・・」

食事が終わり、ようやく話し合いが始まった。

ハカセ「大ザンギヤツクについて知ってる事を話すよ・・・僕達ゴーカイジャーが倒したのが宇宙帝国ザンギヤツク・・・」

丈瑠「ゴーカイジャーが地球に来る前に俺達シンケンジャーを含めた歴代スーパー戦隊全員もザンギヤツクと戦った事がある。」

映司「地球に来る前って・・・君達は宇宙人なの？」

鎧「あ、俺は地球人ですよ。マーベラスさん達が地球に滞在している時に仲間になったんです。」

映司「そうなんだ・・・見た目は地球人と全く同じだね。」

ハカセ「話を続けるね。ザンギヤツクは倒したハズなんだけど何故か帝王アクロス・ギルと息子のワルズ・ギル、歴代スーパー戦隊が倒したハズの悪のボス達まで蘇り、新たな帝国・・・大ザンギヤツクを建国したんだ。」

鎧「その中にはシンケンジャーさん達が倒したハズの外道衆のボス『血祭ドウコク』もいました・・・」

丈瑠「奴まで復活してるのか・・・」

海東「大シヨツカーも同じだね・・・かつて奴等は僕と士と歴代仮

面ライダー達が壊滅させたはずなんだが……ああ、その時はWやオーズ、フォーゼはいなかったよ。多分、映司君達はまだ仮面ライダーじゃなかったんだ。」

ジョー「大ショッカーに大ザンギヤック……この二つの組織が手を組んだら……」

海東「手始めに、この地球を壊滅させて全宇宙を支配しようとするだろうね……」

ハカセ「今の所それは無いみたいだけど、仮面ライダーとスーパー戦隊が何故、潰し合う事になったのか……そして、それが何故、宇宙最高のお宝に繋がるのか……」

ルカ「それが分からないことには動きたくても動けないしね……」
アイム「やっぱり、直接会って話を聞くのが一番なんじゃ……」
ジョー「だが、マーベラスが現在どこにいるのか……」

海東「マーベラスは知らないけど士の行き先の予定なら知ってるよ。」

鎧「どこです?！」

映司「確か次の狙いは……天装戦隊ゴセイジャー……って言うてたよ」

ルカ「次の狙いはモネ達なの!？」

映司「わっ!し……知り合い?」

アイム「はい……ゴセイジャーの皆さんとは『黒十字王』との戦いの時に協力していたんです。」

丈瑠「俺達もアラタ達とはレジエンド大戦の時だけしやなく『血祭のブレドラン』との戦いの時にも協力していた……」

ジョー「俺達が豪獣ドリルで過去へ行って神社の破壊を阻止したあの時か……」

ハカセ「あの神社にあった壺にニンジャマンが封印されてたんだよね。」

丈瑠「……」

鎧「あの、丈瑠さん?」

海東「何か考え事かい?」

丈瑠「ああ……ライダーと戦隊の戦争もそうだが、悪のボス達は
何故、復活したのか考えていたんだ……」

海東「確かに……自然に生き返ったなんて事はあり得ないね。」

鎧「まさか……奴等を生き返らせた黒幕がいるって事ですか!？」

海東「それが妥当だろうね。」

丈瑠「だが、そいつを見つucker方法がない……今は戦いを止める
事に専念しよう。」

ジョー「ああ……そうだな。」

そして夜が明け、次の日の朝を迎えた……

く廃工場 前 く

戦闘員「「イーツー!」」

アポロガイスト「どうした、ゴセイジャー!その程度か!」

ジャキインツ!

ゴセイレッド「くっ!スカイツクソード!」

く次回へ続くく

21話 天使の消滅・・・

ゴセイ赤 「くっ・・・スカイツクソード！」
ギイン！

Aガイスト 「天使の力はその程度か、ゴセイジャー！」
シャドーム 「サタンサーベル！」

ジャキインツ！

ゴセイ黒 「ぐあっ！」

ゴセイ黄 「お兄ちゃん！」

ジエネラルS 「弱いな！」

ゴセイ青 「くっ・・・ゴセイナイトは!?!」

ゴセイ桃 「あのデイケイドって奴と戦ってる！」

ゴセイN 「レオンレイザーソード！」

デイケイド 「フツ」

ガギイン！ザシユウウ！

ゴセイN 「ぐわあっ！」

デイケイドはゴセイナイトの攻撃を防ぎ、ライドブツカーSで反撃した！

ゴセイ赤 「ゴセイナイト！」

ゴセイ桃 「そんな・・・ゴセイナイトが手も足も出ないなんて・・・」

ゴセイ黒 「何なんだ!?!このデイケイドって奴!!」

デイケイド 「通りすがりの仮面ライダーだ・・・覚えておけ。」

ゴセイ赤 「仮面ライダー・・・俺達、スーパー戦隊と同じ悪と戦う戦士のハズ・・・それが、どうして!?!」

デイケイド 「スーパー戦隊が仮面ライダーを倒すからだよ。」

ゴセイN 「なんだと・・・!?!」

デイケイド 「お前達は天使だったな・・・だったら俺が天国へ送ってやる・・・」

！
デイケイドはカードを取り出し、デイケイドライダーにセットする

DD 『カメンライド・キバ!』

デイクライドは仮面ライダーキバに変身した！

ゴセイ赤「別のライダーになった!?!」

Dキバ「天使には悪魔だ・・・!」

デイクライド・キバはゴセイレッドとゴセイナイトに攻撃する！

Dキバ「フンツッ!」

ドガッ!バキッ!ドゴツ!

ゴセイ赤「うわっ!」

ゴセイN「ぐうっ!」

ゴセイ黒「野郎っ!行くぞ、モネ!」

ゴセイ黄「うん!」

ゴセイブラックはランディックアックス、ゴセイイエローはラン

ディッククローでデイクライド・キバに攻撃を仕掛ける!

DD『フォームライド・キバ! ドツガ!』

デイクライド・キバはドツガ・フォームにフォームチェンジしてドツ

ガハンマーを装備し、2人の攻撃を防ぐ!

ガギイン!

ゴセイ黒「なにつ!」

ゴセイ黄「今度は色が変わった!?!」

Dキバ「フンツッ!」

ドゴオンツッ!ドゴオンツ!

ゴセイ黒「ぐおっ!」

ゴセイ黄「きやあっ!」

デイクライド・キバはドツガハンマーで二人を吹っ飛ばす!

ゴセイ桃「アグリ!モネ!」

ゴセイ青「これならどうだ!」

ズギユンツッ!ズギユンツ!

ゴセイピンクはスカイククショット、ゴセイブルーはシーイック

ポーガンでデイクライド・キバに狙いを定め、狙撃する!

DD『フォームライド・キバ! バツシャー!』

Dキバ「ハッ!」

デイクライド・キバはバツシャー・フォームにフォームチェンジして

バツシャーマグナムを装備し、回避すると同時に二人に狙撃し、水の弾丸を命中させた！

ズドオンツ！ズドオンツ！

ゴセイ桃「うあっ！」

ゴセイ青「があっ！」

Dキバ「つまらないな・・・」

ゴセイ赤「ゴセイナイト！」

ゴセイN「ああ！」

ゴセイレッドはスカイクソード、ゴセイナイトはレオンレイザーソードでデイケイド・キバに斬りかかる！

ビュンツ！ブンツ！

デイケイド・キバは回避し、カードをデイケイドライバーにセットする！

DD『フォームライド・キバ！ ガルル！』

デイケイド・キバはガルル・フォームにフォームチェンジしてガルルセイバーを装備する！

ズオオオオ！

黒いオーロラが出現し、海東、丈瑠、映司、ゴーカイジャーが飛び出した！

丈瑠「アラタ達は!?」

鎧「丈瑠さん！あそこです!!」

鎧が指を指した方向に皆は視線を向ける。その光景はデイケイド・キバに攻撃されているゴセイジャーとゴセイナイトだった！

ルカ「あのベルト・・・デイケイドだよ!!」

ハカセ「ゴセイジャーとゴセイナイトがコテンパンにされてる!!」

デイケイド・キバはゴセイジャーとゴセイナイトにガルルセイバーで何度も斬撃を浴びせる!!

Dキバ「ハアアアツ!!」

ジャキインツ！ジャキインツ！ジャキインツ！

ゴセイ桃「きやつ！うああっ！」

ゴセイ黒「があああっ！」

ゴセイ黄「あああつ！」

ゴセイ青「ぐはああつ！」

ゴセイ赤「うわああつ！」

ゴセイN「ぐあつ！」

デイケイド・キバの攻撃を何度も受け、6人は倒れる。デイケイド・キバはキバ・フォームにフォームチェンジし、一ヶ所に集まった6人に止めを刺す!!

Dキバ「じゃあな！」

DD『ファイナルアタックライド・キ・キ・キ・キ・キバ！』

ダアアンツ!!

デイケイド・キバは高くジャンプし、必殺キツクのダークネス・ムーンブレイクを6人まとめて喰らわす!!

Dキバ「ハアアアツ!!」

ドゴオオオオオツツ!!

ゴセイジャー・ゴセイN「[[[[[[うわああつ!!]]]]]]」

デイケイド・キバのダークネス・ムーンブレイクでゴセイジャーとゴセイナイトは消滅した・・・

ハカセ「アグリ！」

アイム「エリさん！」

ルカ「モネ！」

ジョー「ハイド！」

鎧「ゴセイナイトさん！」

丈瑠「アラタ！」

映司「そんな・・・」

海東「遅かったか・・・」

次回へ続く

22話 大首領 VS 大帝王 前編

海東「遅かったか・・・」

ルカ「あいつ!」

ジョー「デイケイドの奴、またしても!」

ジャキインツ!

ガシツ!

ジョーとルカはゴーカイサーベルを取り出す!それを見た海東はジョーの服を掴む。

海東「待ちたまえ!君たちではデイケイドには勝てない!」

ジョー「うるさい!」

バツ!

ジョーは海東の手を振り払う!

ルカ「ジョー!行くよ!」

ジョー「ああ!」

MR『ゴオオカイジャアア!』

ジョーとルカは変身してデイケイド・キバに向かって走る!

丈瑠「ジョー!!」

アイム「ルカさん!!」

Dキバ「来たか・・・ネズミ共・・・!」

ビュンツ!ブンツ!

ゴーカイブルーとゴーカイイエローはサーベルで斬りかかるが、デイケイド・キバは2人の攻撃を避け、カードを取り出す。対するゴーカイブルーとゴーカイイエローもレンジャーキーを取り出す!

DD『カメンライド』

ゴーカイ青 黄「ゴーカイチェンジ!」

DD『V3!』

MR『ゴオオレンジャアア!』

MR『ジイイヤツカアア!』

デイケイドは仮面ライダーV3、ゴーカイブルーはゴレンジャーのアオレンジャー、ゴーカイイエローはジャツカー電撃隊のビッグワン

に変身した！

アオ（ジョ）「はあっ！」

ビッグ1（ル）「ビッグバトン！」

アオレンジャー（ジョー）とビッグワン（ルカ）はディケイド・V3に攻撃する！

DD『アタックライド・V3バリア！』

ガキイイ！

アオ（ジョ）「何っ!？」

ビッグ1「えっ!？」

ディケイド・V3はエネルギーのバリアを身に纏い、アオレンジャー（ジョー）のパンチとビッグワン（ルカ）のビッグバトンの攻撃を防ぐ！

D・V3「俺に勝てない事をまだ理解してないか！」

ドガッ！ドガッ！

ディケイド・V3は2人を連続回し蹴りで吹っ飛ばす！

アオ（ジョ）「ぐあっ！」

ビッグ1（ル）「うあっ！」

ドサッ ドサッ

吹っ飛ばされた2人は変身が解け、倒れる。

ジョー「くっ・・・」

ルカ「うう・・・」

十面鬼「俺が止めを刺してやる！」

???「ブレイジングファイヤー！」

トガアアアッ！

十面鬼「ぐああああっ!!」

ドゴオオオオンッ！

何者かの不意打ちで十面鬼は倒れ、爆発する！

鎧「あれってガオレット!？」

丈瑠「・・・に変身したマーベラスだな。」

ガオレットは変身を解除すると丈瑠の言う通りガオレットに変身したマーベラスだった。

ハカセ「マーベラス・・・」
ルカ「マ・・・マーベラス・・・」

「マーベラス「今回だけは助けてやる・・・もう、俺の邪魔をするな・・・！」」

ジョー「・・・ッ！」

シャドーム「大首領・・・」

ジェネラルS「ここはダブルシャドーにお任せを・・・」

ズドオンツ！ズドオンツ！

シャドーム「ぬうっ！」

ジェネラルS「誰だっ！」

シャドームーンとジェネラルシャドーに狙撃したのはライダーハ
ンター・シルバだった。

シルバ「破壊っ！破壊っ！」

シルバだけではなく、大ザンギヤツクの集団も現れ、マーベラスの
後ろに立つ。

デイケイド・V3は変身を解除する。

士「大ザンギヤツクの大帝王が自らお出ましとはな。」

ガシツ！

ジョーはマーベラスの肩を掴み、マーベラスに問い質す。

ジョー「おい、マーベラス！何故、仮面ライダーとスーパー戦隊が
全面戦争する事になったんだ!？」

マーベラス「前にも言っただろ・・・仮面ライダーを倒さない限り
全てのスーパー戦隊が滅びちまう・・・」

ルカ「ええ・・・!？」

ジョー「そんな馬鹿な!？」

マーベラス「俺がお前らに嘘をついた事があるか!？」
ジョー・ルカ「・・・ッ！」

士「それは俺達も同じだ・・・全てのスーパー戦隊を倒さない限り
全ての仮面ライダーは滅びてしまう・・・」

海東・映司「・・・ッ！」

丈・ア・ハ・鎧「・・・ッ!」

マーベラス「全ての答えはアカレンジャーが知っている……」
ジョー「え……？」

マーベラス「ここは俺に任せてお前らは行け……」

ジョー「マーベラス……」

ズドオンツ！

マーベラスはゴーカイガンでジョーの足元に発泡する。

マーベラス「いいから行け!!」

ルカ「ジョー……行こう。」

ジョー「ああ……」

ジョーとルカは丈瑠達の所へ戻る。

海東「二人共、ここは高見の見物をしよう。」

マーベラス「門矢 士……ここでケリをつけるか……」

士「いいだろう……だが、大勢でやるのはスマートじゃない……」

マーベラス「だったら……俺が相手だ!」

士「面白い……!お前ら、下がってろ。」

マーベラス「お前らもだ。」

士とマーベラスの命令で大ショックカーと大ザンギヤックは後退する。

士「変身っ!」

マーベラス「ゴーカイチェンジ!」

DD『カメンライド・デイケイド!』

MR『ゴオオカイジャアア!』

士は仮面ライダーデイケイドに、マーベラスはゴーカイレッドに変身する。

デイケイド「行くぞ!」

ゴーカイ赤「来いっ!」

二人は互いに相手に向かって走り出す!

デイケイド・ゴーカイ赤「うおおおっ!!」

大首領と大帝王の対決が始まる!!

次回へ続く

23話 大首領 VS 大帝王 後編

デイケイド・ゴーカイ赤「うおおおっ！」

ドゴオオオツ！

二人の拳と拳がぶつかる！。

ビリビリ・・・ツ!! バツ!

二人は一旦離れ、デイケイドはカードを、ゴーカイレッドはレンジャーキーを取り出す!

デイケイド「これを使うか！」

ゴーカイ赤「ゴーカイチェンジ！」

DD『カメンライド・スカイライダー!』

MR『ハアアリケンジャア!』

デイケイドはスカイライダーに、ゴーカイレッドはハリケンジャーのハリケンレッドに変身する!

DD『アタックライド・セイリングジャンプ!』

ハリケン赤(マ)「超忍法・空駆け!」

キイイイインツ!

二人は空を飛び、空中で戦闘を始める!

ドガツ! ジャキインツ! ガギインツ!

Dスカイ「これならどうだ!」

DD『ファイナルアタックライド・ス・ス・ス・スカイライダー!』

ハリケン赤(マ)「疾風流剣技・疾風斬!」

ドゴオオオオインツ!

デイケイド・スカイライダーの大回転スカイキックとハリケンレッド(マーベラス)の疾風斬が激突し、爆発する!

ヒュウウウウウ ガシャアアインツ!! スタツ

二人は落下し、廃工場の天井を突き破るが、見事に着地する。

Dスカイ「こいつだ!」

ハリケン赤(マ)「ゴーカイチェンジ!」

DD『カメンライド・ブレイド!』

MR『ジイイヤツカアア!』

デイクライド・スカイライダーは仮面ライダーブレイドに、ハリケンレッド(マーベラス)はジャツカー電撃隊のスピードエースに変身する！

DD 『アタックライド・マッハ！』 ビュンツ！

スピードA (マ) 「加速装置！」 ギユンツ！

ドカガガガッ！

二人は高速移動の攻防をし、あっという間に2階へ移動した。

D 剣「ハアッ！」

ギインツ！ギインツ！

デイクライド・剣はブレイラウザーでスピードエース(マーベラス)に攻撃するが、避けられてしまう。

スピードA (マ) 「ハッ！」

ギユルンツ！ ドガッ！

スピードエース(マーベラス)はブレイラウザーの突きを回避し、体を回転させ、肘打ちをするがデイクライド・剣はガードする！

ダンツ！ スタツ

二人は二階から飛び降り、変身する！

DD 『カメンライド・電王！』

MR 『タアアイムレンジャア！』

デイクライド・剣は仮面ライダー電王に、スピードエース(マーベラス)はタイムレンジャーのタイムレッドに変身し、デイクライド・電王はデンガツシャー・ソードモードとライドブツカー・ソードモードの二刀流、タイムレッド(マーベラス)はスパークベクターとアローベクターの二刀流で戦闘する！

タイム赤 (マ) 「ハッ！」

D 電王「フツ！」

ギインツ！ギイン！ガキインツ！

デイクライド・電王はタイムレッド(マーベラス)の攻撃を受け流し、積み荷に激突させる！

ガシヤアアンツ！！

タイム赤 (マ) 「くっ・・・」

D 電王「喰らえっ！」

ギイインツ!!

タイム赤（マ）「お前がなっ！」

タイムレッド（マーベラス）はデイケイド・電王の攻撃を防ぎ、デイケイド・電王を外へ吹っ飛ばす！

ドカアアアッ！

D 電王「・・・ちっ！それなら、こいつだ！」

タイム赤（マ）「ゴーカイチェンジ！」

DD 『カメンライド・龍騎！』

MR 『ゲエエキレンジャア！』

デイケイド・電王は仮面ライダー龍騎に、タイムレッド（マーベラス）はゲキレンジャアのゲキレッドに変身する！

D 龍騎「こいつを使うか。」

DD 『アタックライド・アドベント！』

ドラグレッツダー「グオオオオオ！」

ゲキ赤（マ）「ゲキワザ・咆哮弾！」

ゲキタイガー「ガオオオオオッ！」

デイケイド・龍騎はドラグレッツダー、ゲキレッド（マーベラス）はゲキタイガーを召喚し飛び乗り、ドラグレッツダーとゲキタイガーは互いに体当たりする！

D 龍騎・ゲキ赤（マ）「うおおおっ！」

ドゴオオオオオッ!!

二人は落下して着地し、変身が解ける。

ギリギリッ・・・!

マーベラス「どうやらお前が一番手応えがありそうだな・・・！」
士「一番の楽しみは最後にとってやる・・・！」

バツ！

二人は離れる。

マーベラス「行くぞ・・・ギガントホースへ戻る。」

シルバ「ハッ！」

士「俺達もクライシス要塞へ戻るぞ。」

ドクトルG「承知致しました。」
大シヨツカーと大ザンギヤツクはその場所を去った・・・

24話 時を走る列車

デイケイドとゴーカイレッドの対決の後、丈瑠達はゴーカイガレオンに戻った。

くゴーカイガレオン 居住区く

ハカセ「仮面ライダーとスーパー戦隊の戦争はどちらかが生き残るための戦いだっただね・・・」

映司「だからと言ってヒーロー同士潰し合うなんて・・・」

丈瑠「・・・もしかしたら二人は何か考えてるのかもしれない・・・」

アイム「丈瑠さんは信じたいんですね・・・マーベラスさんだけじゃなくて士って人の事も・・・」

海東「・・・」

ジヨウ「だが、戦隊とライダーはどうしてどちらかがしか存在できないんだ？」

ルカ「マーベラスが言ってた・・・アカレンジャーが知っているって・・・」

鎧「けど、ゴレンジャーさん達は既に倒されています・・・」

海東「アカレンジャーに会いたいなら方法があるよ。」

海東の言葉に皆は驚く。

映司「海東さん・・・どうやって!?!」

海東「簡単さ。ゴレンジャーが活躍していた時代へ行くのさ・・・過去へね。」

丈瑠「過去だと?」

海東「アレを利用するためにコレを盗んでよかったよ。」

海東はポケットから何かを取り出した。

ハカセ「それって・・・」

ルカ・アイム・ナビィ「「プ」」

映司・鎧「「リ」」

丈瑠・ジヨウ「「ン?」」

海東が取り出したのはプリンだった・・・

くゴーカイガレオン 甲板く

海東は皆を甲板に連れて行った。

ジョー「なあ・・・何を待ってるんだ？」

海東「もうすぐさ。」

海東がそう言うのと空間に穴が開いた！

フアアアアアン！

ルカ「列車!？」

アトム「しかも空を飛んでいます！」

海東「アレはデンライナー：時を走る列車、タイムマシンだよ。」

デンライナーはゴーカイガレオンの隣に停車し、海東達の前にあつたドアが開いた。

プシユウウ

モモタロス「てめえ！今度は俺のプリンを盗みやがったな!!」

良太郎「落ち着いてモモタロス！落ちちやうよ！」

「

ハカセ「え・・・鬼？」

くデンライナー 客室く

ナオミ「はくい♪ナオミ特性コーヒーでくす♪」

アトム「頂きます♪」

モモタロス「ダイオキシン・・・よくも俺のプリン盗みやがつて
！」

海東「大樹だ！ワザと間違えてるだろ!？」

ウラタロス「いや、先輩は本気で間違えてるんだよ。だって馬鹿だ

から♪」

モモタロス「カメ公！てめえ、どっちの味方だ!？」

キンタロス「落ち着きくやモモの字。」

リュウタロス「そうだよ！モモタロスは馬鹿なのは違くないよ！」

モモタロス「鼻垂れ小僧！てめえ！」

良太郎「もう！皆、黙って！話が進まないよ！」

海東「やあ、元の姿に戻ったんだね。」

良太郎「あ・・・うん、あの人工イマジンとの戦い以来だね・・・」

映司「元の姿に戻った？」

海東「ああ、彼は野上良太郎・・・仮面ライダー電王さ。彼は特異点という時間の干渉を受けない特殊な人間なんだが強い時間の歪みの影響で子供になってしまったんだ。」

良太郎「その強い時間の歪みからようやく解放されてやっと元の姿に戻ったんだ。」

海東「たしか・・・マル子って女の子も時間の歪みの影響で子供になっただよな？」

ハナ「マル子じゃなくてハナよ！」

海東「君も元の姿に戻ったのか」

ハナ「ようやくね・・・」

良太郎「ハナさんは僕よりも長い間子供の姿だったからね・・・」
モモタロス「でも、面白そうじゃねえか！この際、スーパー戦隊と仮面ライダーがどっちが強いかケリを着けようぜ！」

キンタロス「でも俺達イマジンやで！どっちに付くんや？」

リュウタロス「僕達、色だけ見たら戦隊っぽいよね♪」

ウラタロス「おくとリュウタ、先輩にそんな事言っちゃ駄目だよ。先輩ってさ赤いのが一番だと思ってるからさ」

モモタロス「その赤いのが俺だよな！」

バシッ！

モモタロスはウラタロスの頭を叩く。

モモタロス「俺がイマジン戦隊のリーダーだぜ！」

ウラタロス「ええ〜!」

ジーク「いや、私がリーダーだ。」

モモタロス「手羽野郎!」

ハナ「いつから!」

デネブ「俺と侑斗が連れてきた！」

良太郎「デネブまで!」

侑斗「邪魔するぞ。」

ハカセ「君も仮面ライダーなの？」

侑斗「ああ、俺は仮面ライダーゼロノスの櫻井侑斗だ。それと戦力は多い方がいいと思ってジークを連れてきた。」

海東「話を戻そうか：：仮面ライダーとスーパー戦隊について：：」
オーナー「なくなるほど、確かに仮面ライダーとスーパー戦隊は並び
立たないものかもしれませんね。」

ナオミ「ハイ、オーナーの好物の炒飯です♪」

オーナー「ありがとう、ナオミちゃん」

オーナー・ナオミ「「なぜなら！」」

オーナー「仮面ライダーの枠が無くならないければスーパー戦隊の枠は
生まれなかったのですから・・・」

丈瑠「枠・・・？」

オーナー「はい、その枠とは・・・」

チーン

ナオミ「は〜い♪間もなく秘密戦隊ゴレンジャーの活躍してた19
76年の冬に到着します。降りられる方はご準備お願いします♪」

丈瑠達は1976年のアカレンジャーを探しに、デンライナーから
降りた。

〜次回へ続く〜

25話 生き残った仮面ライダーとスーパー戦隊

く1976年 冬 野球場く

鎧「アカレンジャーさん・・・何処にいるんでしようね？」

アイム「丈瑠さんは心当たりないんですか？」

丈瑠「俺もゴレンジャーの人達とはレジェンド大戦以来会ってないからな・・・あの時はゆっくり話す暇もなかったし・・・」

???「お前達か！俺に勝負を挑むのは！」

何者かの声に皆驚く。

映司「え・・・野球ボール？」

ハカセ「あつ！アイツ僕達が幽霊船で戦った・・・」

野球仮面「俺は黒十字軍の野球仮面！この俺を打ち取れるものなら打ち取ってみよ!!」

野球仮面はバットを構える。

アカ「レッドビュート！」

ギョルルツ！ バシツ！バシツ！

野球仮面「そ・・・そりやないぜ！セニョオオル！」

ズドオオオンツ!!

野球仮面はアカレンジャーのレッドビュートで秒殺された・・・

ルカ「アカレンジャー・・・」

ジョー「1976年の・・・」

アカ「ん・・・君達は？」

ジョー達はアカレンジャーに事情を説明した。

アカ「成る程・・・話は分かった。」

海東「・・・」

アカ「しかし、仮面ライダーが滅んだからスーパー戦隊が生まれた訳ではない・・・我々は人類の為に戦う仲間だ。その想いは仮面ライダーも同じハズ・・・今こそ力を合わせ悪に止めを刺すのだ！」

鎧「アカレンジャーさん・・・」

アカ「私をその未来へ連れていってくれ！」

ジョー達はアカレンジャーをデンライナーに乗せ、未来へ戻つ

た・・・

く2012年4月21日 採石場く

フアアアアン!

アカレンジャーはデンライナーから降りた。

??? 「アカレンジャー!」

アカ「皆、来てくれたか!」

アカレンジャーの下に集まったのはジャツカー電撃隊、デンジマン、サンバルカン、ゴードルフアイブ、バトルファイバーJ、生き残りのスーパー戦隊が集まった。

ブオオオン!

バイクの走る音が聞こえてくる・・・それは新サイクロン号に乗った仮面ライダー1号と2号、V3、ライダーマン、X、アマゾン、ストロンガーがバイクに乗って現れた!生き残りの仮面ライダーは栄光の7人ライダーだ。

ジョー「あれは・・・!?」

海東「先頭にいるのが仮面ライダー1号・・・この世界に誕生した最初の仮面ライダーさ。」

ルカ「ちよつと待って!おかしくない!」

ハカセ「過去から連れてきたアカレンジャーはともかく仮面ライダー1号は既に倒されたはずだよ!」

映司「もしかして あの仮面ライダー1号も過去から来たんじゃない・・・」

キキイ!

栄光の7人ライダーはバイクを停車する。

アカ「来たな・・・仮面ライダー1号!」

1号「待たせたな・・・アカレンジャー!」

アカ「ついに・・・長く続くライバル関係に決着をつける時が来たのだ!」

1号「仮面ライダーとスーパー戦隊は共存できない!」

鎧「ええ・・・!」

両者は睨み合いそして・・・

1号「いくぞ！皆！！」

アカ「スーパー戦隊、ゴー！！」

生き残った仮面ライダーとスーパー戦隊の戦いが始まる！

次回へ続く

26話 生き残った者たちの戦い

1号「行くぞ！皆！！」

ブオオオン！

アカ「スーパー戦隊、ゴー！！」

7人ライダーはスーパー戦隊に向かってバイクを走らせ、スーパー戦隊は7人ライダー向かって走る！

スーパー戦隊「コウおおおお！」「」

7人ライダー「コはあああ！」「」

7人ライダーはバイクでスーパー戦隊を吹っ飛ばす！

ドゴドゴドゴツ！

バトルファイバーJ「コウわああ！」「」

ゴーフファイブ「ココぐわああ！」「」

バトルファイバーJとゴーフファイブは消滅！

アマゾン「ケケケツ！大切断！」

バルイーグル「バルステイック！」

ストロンガー「電パンチ！」

デンジレッド「デンジパンチ！」

V3「V3スクリューキック！」

ビッグワン「ビッグワンフィニッシュ！」

アマゾンvsサンバルカン、ストロンガーvsデンジマン、V3vs

Sジャッカー電撃隊の対決が始まり、ライダーマンとXと2号はアカレンジャーに挑む！

2号「アカレンジャー、覚悟！」

X「ライドルステイック！」

アカ「ヤリビュート！」

ガキイ！ ガキイン！ ドゴツ！

X「ぐあっ！」

ライダーマン「ロープアーム！」

アカ「レッドビュート！」

ギョルル バシッ！バシッ！

ライダーマン「うあっ！」

ダンッ！

2号「ライダーキック！」

アカ「レツドキック！」

ドガアアアッ！

2号「があっ！」

ドサッ

アカレンジャーは2号、ライダーマン、Xの三人を消滅させ、残りのライダーの所へ向かった。

1号「電光ライダーキイック!!」

ドガアアアッ

ジャ・デ・サ「「うわああ！」」

アカ「レツドビュート!!」

バシイイインッ!!

V3・アマ・スト「「ぐわああっ！」」

シユウウウ・・・

残りのライダーと戦隊が消滅し、残ったのは仮面ライダー1号とアカレンジャーだけになった。

丈瑠「アカレンジャー！どうしてこんな事を!?!」

映司「1号もどうして!?!」

アカ「俺はアカレンジャーではない」

ジョー「え・・・？」

1号「俺も1号ではない」

すると1号のベルトのタイフーンがデイケイドライバーに変わった！

ルカ「そのベルト・・・あんたまさか！」

ハカセ「じゃあ、そっちのアカレンジャーは・・・！」

1号はデイケイド、アカレンジャーはゴーカイレッドの姿になった。

海東「士・・・！」

ジョー「マーベラス・・・！」

ゴーカイ赤「残りのスーパー戦隊を結集させたのは残ったライダー達を一網打尽にするためだ・・・！」

デイケイド「それはこっちの台詞だ・・・！チマチマやるより一気にやった方が手っ取り早いからな！」

ジョー「マーベラス！・・・俺達を騙してたのか!!」

ゴーカイ赤「悪いが利用させてもらった。」

ジョー「マーベラス!!」

ジャキイン！

ジョーはゴーカイサーベルを手に取りゴーカイレッドに向かって走る！

鎧「ジョーさん！」

ガギイン！ドゴオ！

ゴーカイレッドはジョーの攻撃を防ぎ、蹴っ飛ばす。

ジョー「ぐあっ！」

ゴーカイ赤「言ったハズだ・・・俺の邪魔をするなど・・・」

ブンっ！

ゴーカイレッドはジョーに近づきゴーカイサーベルを構え振り降ろす。

ギイン！

ゴーカイレッドの攻撃をシンケンマルで防いだ丈瑠

丈瑠「もういいだろ・・・！ジョーは十分傷ついた！」

アイム「丈瑠さん・・・」

ドゴツ！

丈瑠「ぐっ！」

丈瑠を吹っ飛ばしたのはデイケイドだった。

デイケイド「殿様・・・一緒に戦った仲とはいえ邪魔する奴は誰であらうと容赦はしないぜ。」

丈瑠「土・・・！」

デイケイド・ゴーカイ赤「はああっ！」

サシユウウツ!!

丈瑠・ジヨー「うわあああつ！」

デイクイドとゴーカイレッドは丈瑠とジヨーを消滅させた・・・

ハカセ「ジヨー！」

鎧「丈瑠さん！」

ルカ「見損なつたわよマーベラス・・・ジヨーはあんたの事 信じてたのよ!!」

映司「丈瑠さんもマーベラスさんだけじゃなく士さんの事も信じてたのに!!」

ゴーカイ赤「・・・仮面ライダーとスーパー戦隊どちらが生き残るか・・・」

デイクイド「これで決着を着けるぞ・・・！」

DD『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・デイ・デイクイド!』

GS『フアアアイナルウエエブ!!』

二人の剣が強く発光する!

海東「これで決着が着く・・・」

デイクイド・ゴーカイ赤「うおおおおおつ!!」

〜次回へ続く〜

27話 真実

???
???

ジョー「ここは？」

丈瑠「俺達は確か士とマーベラスに……」

ジョーと丈瑠が見た光景は何もない紫色の空間だった。

ジョー「俺達は死んだのか？」

???「いや、死んでない。」

丈瑠「あなたはアカレンジャーの海城 剛さん!？」

海城「レジェンド大戦以来だな丈瑠……ジョーは黒十字王との戦

い以来か。」

ジョー「あんたはディケイドに倒されたハズ……」

???「言っただろう？我々は死んでないと」

丈瑠「あなたは？」

海城「彼は本郷 猛 仮面ライダー1号だ。」

丈瑠「あなたもマーベラスに倒されたのでは？」

ヒロム「これは全て彼等が考えた作戦だったんだ。」

ジョー「お前はゴースターズの……」

弦太郎「本当の戦いはここからだぜ！」

ジョー「仮面ライダーフォーゼ……」

本郷「さあ、反撃開始だ！」

採石場

ディケイド・ゴークイ赤「うおおおおつ!!」

ディケイドのディメンションスラッシュとゴークイレッドのゴ

カイスラッシュがぶつかる！

ドゴオオオオン!!

二人の必殺剣が激突し爆発する！

ルカ「うっ！」

アイム「きやあ！」

鎧「うわっ！」

ハカセ「わあっ！」

映司「くっっ！」

海東「・・・っ！」

爆煙が無くなり海東達が見た光景は変身が解けた士とマーベラスの姿だった。

士「はあ・・・はあ・・・」

マーベラス「はあ・・・はあ・・・」

ハタンツバタンツ

二人は倒れる。するとドクトルGとシルバが現れた。

ドクトルG「ご苦労だったな！門矢 士!!」

シルバ「そしてキャプテン・マーベラスよ!!」

映司「あいつらは！」

海東「ドクトルGとシルバ・・・」

ルカ「どういうことよ！」

ドクトルG「なに、簡単な事だ。仮面ライダーにはスーパー戦隊が仮面ライダーを倒してるといふ偽の情報を流し・・・」

シルバ「そしてスーパー戦隊には仮面ライダーがスーパー戦隊を倒してるといふ偽の情報を流したのだ！」

ドクトルG・シルバ「仮面ライダーとスーパー戦隊の潰し合いをさせるために！」

映司「お前から最初から手を組んでいたのか!？」

シルバ「そして紹介しよう・・・我々を甦らせたお方を！」

ギユオオオツ!

上空に赤い光の球体が出現し、地面に着地して光から現れたのは赤いシャドームーンだった。

海東「赤いシャドームーン・・・!？」

創世王「我はシャドームーンではない・・・我が名は創世王」

海東「創世王だと!？」

鎧「海東さん知ってるんですか？」

海東「ああ・・・奴は仮面ライダーBlack・・・進化する前の

仮面ライダーBlack・RXが壊滅させた組織ゴルゴムの長だ・・・

あんたはBlackに倒されたんじゃないのか？」

創世王「確かに我はあの時、仮面ライダーBlack…いや、Black・RX…奴に倒された…だが奴は急所を僅かに外してしまったのだ。そして我は長い年月をかけて回復しこの身体を作り現在に至る。」

海東「そして復活したアンタはスーパー戦隊や仮面ライダーに敗れた悪のボス達を生き返らせたのか…」

創世王「我とて誰でも甦せるわけではない…強い恨みを持つ者だけだ。ドクトルG、シルバよ計画を実行せよ」

シルバ「ハッ！」

ドクトルG「今こそビッグマシン計画を!!」

ゴオオオオツ!

ドクトルGは驚の割符を、シルバは機械の割符を取り出し上空にクライシス要塞とギガントホースとクライシス要塞出現する。

ハカセ「ギガントホースとクライシス要塞!？」

アイム「ビッグマシン計画ってまさか!？」

ドクトルG「そうだ!ビッグマシンとはクライシス要塞とギガントホースを合体させた最凶最悪の兵器だ!!」

シルバ「我等はビッグマシンを使って地球だけではなく宇宙を支配する!!」

ドクトルG・シルバ「闇の力よ!!」

二人は二つの割符を一つにしようとする!

映司「やめろおおおっ!!」

ズドオオオツ!!

カランツ カラン

ドクトルG「ぐっ…!!」

シルバ「なんだと…っ!？」

二人は手元を何者かに狙撃され割符を落とす。

ルカ「え…?」

海東「やはりね」

割符に狙撃したのはシルバとドクトルGに銃口を向けた士とマーベラスだった。

↳ 次回へ続く ↳

28話 スーパーヒーロー

海東達が見た光景はドクトルGとシルバに銃口を向けた土とマーベラスだった。

ルカ「え・・・？」

海東「やはりね」

マーベラス「手の中で踊らされたのはお前達の方だ。」

創世王「・・・何？」

土「お前らが仮面ライダーとスーパー戦隊の潰し合いをさせて大きな計画を企んでいた事を知った俺達は自らその先頭に立つことにした。」

マーベラス「実行させた方がどんな計画かわかるからな」

土「そしてその計画はクライシス要塞とギガントホースを合体させた最凶最悪の兵器『ビッグマシン』そして全ての黒幕・・・創世王！お前が現れるのを待っていたんだ！」

マーベラス「だからビッグマシンも創世王も俺達がぶち壊してやる！」

ドクトルG「馬鹿め！どうやってぶち壊すというのだ！」

シルバ「我々と戦う仮面ライダーとスーパー戦隊は貴様らが倒したではないか!!」

マーベラス「そいつはどうかかな？」

ズオオオオツ

ショツカー・ザンギヤツク連合の後ろに黒いオーロラが出現し、黒いオーロラから飛び出したのは・・・

ブオオオオツ!!

1号「とおつ！」

フォーゼ「おりやあつ！」

アカ「たあつ！」

レッドB「はっ！」

黒いオーロラから飛び出したのは、新サイクロン号に乗った仮面ライダー1号、マシンマッシュグラマーに乗った仮面ライダーフォーゼ、

レッドスターに乗ったアカレンジャー、ニツク(バイクモード)に乗ったレッドバスター! 4人はバイクでシヨツカー・ザンギヤツク連合を吹っ飛ばす!

ドゴドゴドゴッ!

戦闘員「「イーツ!?!」」

ゴーミン「「ゴゴオツ!?!」」

キキイツ!

4人はバイクを停車させる。そしてマーベラスと士の後ろにも黒いオーロラが出現する。

ズオオオオツ

黒いオーロラから飛び出したのはジョー、翔太郎、フィリップ、丈瑠と丈瑠以外の5人のシンケンジャーと夏海だ。

ハカセ「ジョー! レッドバスターも!」

映司「翔太郎さん! フィリップ君! 弦太郎君!」

鎧「丈瑠さん! 他のシンケンジャーの皆さんも!!」

皆は士とマーベラスの所へ集まる。

ジョー「マーベラス、俺達を騙すなんて人が悪すぎだ!」

丈瑠「士、お前もだ!」

マーベラス「フツ」

士「悪かったな」

フィリップ「本当にそう思ってるかい?」

夏海「ライダーや戦隊の皆さんに説明するの大変だったんですからね!」

翔太郎「本郷さんと海城さんと夏海ちゃんから話を聞いた時は驚いたぜ。」

アカレンジャーと仮面ライダー1号はバイクから降り、変身を解除する。

本郷「まあ、そのおかげで創世王を誘き出す事に成功したんだ。」

海城「今は奴らが先だ。」

ドクトルG「仮面ライダー1号の本郷 猛……!」

シルバ「アカレンジャーの海城 剛……!」

創世王「貴様らは死んだのではなかったのか!？」

本郷「全ては士とマーベラスが考えた作戦だったんだ!」

海城「我々は消滅したのではなく実は次元の狭間で待っていたのだ!」

レッドB「大シヨツカー!大ザンギヤック!そして創世王!!」

フォーゼ「俺達、スーパーヒーローの手でお前達に止めを刺すためにな!!」

創世王「姑息な手を使いおって……貴様らそれでも正義のヒーローか!？」

士「悪を倒すためならどんなに汚れた泥でも被る……それこそが本当のヒーローってモンだろ?」

マーベラス「そう言う事だ。」

ドクトルG「門矢 士!マーベラス!……何なんだ貴様らは!？」

士「俺は通りすがりの仮面ライダーで……」

マーベラス「そして俺は宇宙海賊だ!」

士・マーベラス「覚えておけ!!」

本郷「創世王……我々スーパーヒーローがいる限り!」

海城「貴様らの野望を阻止してみせる!」

本郷は腰にタイフーンを出現させる!

ギユイイン!

本郷「ライダー……変身!とおっ!」

海城「とおっ!」

ダンツ!!

二人は高くジャンプし、本郷は仮面ライダー1号に、海城はアカレンジャーに変身する!!

翔太郎「元祖ヒーローに負けらんねえな!行くぜ!フィリップ、映

司、デイエンド、夏海ちゃん!!」

フィリップ「ああ、翔太郎!」

映司「はい!」

夏海「いきますよ!キバーラ!」

キバーラ「はいはくい!」

海東「命令するなって・・・だが、久々に暴れたい気分だ。」

SM『サイクロン!』JM『ジョーカー!』

OD『タカ・トラ・バツタ!』

キバーラ「カプツ!」

デイエンドライダー『カメンライド』

翔・ファイ・映・海・夏「[[[変身!]]]」

WD『サイクロン!ジョーカー!』

ビュオオオ!

OD『タ・ト・バ!タ・ト・バ、タ・ト・バ!』

ジャキイイイン!

デイエンドライダー『デイエンド!』

4ライダーが変身した後、倒れたフィリップの身体はエクストリー

ム メモリが回収する。

丈瑠「みんな・・・」

流ノ介「殿!ご心配お掛けしました!」

茉莉「ようやく次元の狭間から出られたわね」

千明「あそこに来た時はあの世かと思っただぜ」

ことは「殿様!」

源太「奴等を倒そうぜ!丈ちゃん!」

丈瑠「ああ・・・いくぞ!!」

丈・流・茉・千・こ「[[[ショドーフォン!一筆奏場!!]]]」

源太「スシチェンジャー!一貫献上!!」

丈瑠達はシンケンジャーに変身する!

シンケン赤「シンケンレッド!志葉 丈瑠!」

シンケン青「同じくブルー!池波 流ノ介!」

シンケン緑「同じくグリーン!谷 千明!」

シンケン黄「同じくイエロー!花織 ことは!」

シンケン桃「同じくピンク!白石 茉莉!」

シンケン金「同じくゴールド!梅盛 源太!」

シンケン赤「天下御免の侍戦隊!!」

シンケンジャー「[[[シンケンジャー!参る!!]]]」

鎧「うおおお！本物のシンケンジャーだああ!!」

ルカ「鎧！うるさい!!」

士はマーベラスと鎧の間に立つ

士「俺達も派手にいくか？マーベラス？」

マーベラス「ああ・・・いくぜ！お前ら!!」

ジョー「ああ！」

ルカ「えええ！」

ハカセ「うん！」

アイム「はい！」

鎧「はい！」

士はデイケイドドライバーを装着しカードを取り出し、マーベラス達はモバイレーツとレンジャーキー、鎧はゴーカイセルラーとレンジャーキーを取り出す！

士「変身!!」

マ・ジョ・ル・ハ・ア・鎧「**ゴ**ーカイチェンジ!!」

デイケイドドライバー『カメンライド・デイケイド!』

MR・GS『ゴオオオカイジャアア!!』

士とマーベラス達は同時に変身する!!

ゴーカイ赤「ゴーカイレッド！」

ゴーカイ青「ゴーカイクブルー！」

ゴーカイ黄「ゴーカイイエロー！」

ゴーカイ緑「ゴーカイグリーン！」

ゴーカイ桃「ゴーカイピンク！」

ゴーカイ銀「ゴオオオカイシルバー！」

デイケイド「仮面ライダーデイケイド・・・！」

デイケイド・ゴーカイジャー「**ゴ**ーカイ我ら!!スーパーヒーロー

!!!
「**ゴ**」

ズドオオオオン!!!

ゴーカイ赤「ド派手に行くぜツ!!」

最後の戦いが今、始まる!!

↳ 次回へ続く

29話 スーパーヒーローVSシヨツカー・ザンギヤツク連合 その1

創世王「所詮貴様らは私の敵ではないのだ！」

戦闘員「「イーツ!!」」

ゴーミン「「ゴゴオー!」」

創世王達の所に大シヨツカー達と大ザンギヤツク達が集まった!!
フォーゼ「すごい数だ・・・」

レッドB「二つの組織が手を組んでるからな・・・」

デイケイド「心配するな」

ゴーカイ赤「来るぜ!」

ズオオオオツ!

黒いオーロラが出現しそこから現れたのは・・・

オールライダー『うおおおおおっ!!』

オール戦隊『はあああああっ!!』

ダダダダツ!!

デイケイドとゴーカイジャーを先頭に全てのヒーロー達が集まった!!

シルバ「ライダー粒子反応、戦隊粒子反応、共にMAX!!」

デイケイド「いくぞ!創世王!」

ゴーカイ赤「今度こそくたばれ!」

創世王「それは私のセリフだ!!」

ドクトルG「行けええええ!!」

S・Z連合『うおおおおおっ!』

ダダダダツ!

ドクトルGの合図でシヨツカー・ザンギヤツク連合はスーパーヒーロー達に向かって走る!

デイケイド・ゴーカイ赤「行くぞおおおっ!!」

スーパーヒーロー『うおおおおおっ!』

スーパーヒーロー達もシヨツカー・ザンギヤツク連合に向かって走

る！

ダダダダッ!!

そして正義と悪の戦いが始まる!!

ドガッ!バキッ!ドガッ!ズドオン!

く仮面ライダー電王&獣拳戦隊ゲキレンジャーく

電王とゼロノスとNEW電王とゲキレンジャーはイマジン達と臨
獣殿達と戦う!

電王(モ)「おりゃあ!!」

ジャキイイン!

ゼロノス「最初に言っておく!俺はかくなり強い!!」

ジャキイイン!

デネブ「その通り!」

ズドオン!

テディ「幸太郎、カウントは?」

NEW電王「必要ない!」

ザシユウツ!

ウラタロス「お前達、僕に釣られてみる!」

ドガアッ!

キンタロス「俺の強さにお前らが泣いた!!」

ザシユウツ!

リュウタロス「お前達、撃つけどいいよね!?!答えは聞いてない!!」

ズドドオン!!

ジーク「降臨!美しいであろう?」

ドガッ!

ゲキ赤「にゃあ!ゲキヌンチャク!」

ドカッ!ドガッ!

ゲキ青「ゲキファン!」

ブンッ!ドカッ!

ゲキ黄「ゲキハンマー!」

トゴオンッ!ドカッ!

ゲキ紫「狼狼蹴!」

ドカッ!

ゲキチョツパー「サイブレード!」

ザシユウツ!

電王(モ)「へっ!こんなもんか!」

モグライマジン「く・・・くそ!」

???「邪魔だ」

ザシユウツ!

モグライマジン「ぐわあ!」

モグライマジンは何者かに斬られ消滅した。

電王(良)『あ・・・あいつらは!』

牙王「よう・・・野上良太郎」

ネガ電王「久しぶりだな」

幽汽「地獄から甦ってきたぞ」

G電王「貴様らを排除する」

電王達の前に現れたのはかつて電王が倒したダークライダー達だ。

電王(モ)「てめえらも甦ったのか!」

ゲキ赤「え?仮面ライダー?」

ゼロノス「仮面ライダーでも奴等は悪の仮面ライダー・・・ダーク

ライダーって奴だ」

電王(モ)「もう一度あの世へ送ってやるぜ!お前ら!てんこ盛りだ

!!」

電王(良)『行くよ!皆!』

ウラタロス「OK!」

キンタロス「よっしゃ!」

リュウタロス「うん!」

ジーク「うむ」

ゼロノス「デネブ!」

デネブ「了解!」

ゲキ赤「俺達も!レッツ!ラン!」

ゲキ青「ああ!」

ゲキ黄「行くわよ!」

仮面ライダー電王はケータロス、仮面ライダーゼロノスは赤のゼロノスカード、ゲキレッド、ゲキブルー、ゲキイエローの3人はスーパーゲキクローを取り出す!

ケータロス『モモ、ウラ、キン、リュウ、スーパークライマックスフォーム』

ゼロノスベルト『チャージ&アップ』

ゲキ赤・青・黄「ニ、スーパーゲキクロー!スーパービーストオン!!」

電王は超クライマックスフォーム、ゼロノスはゼロフォーム、ゲキレッド達はスーパーゲキレンジャーに強化変身した!

電王超(モ)「俺達参上!……って手羽野郎!?またお前も入ってるのか!?!」

電王超(ジ)『苦しゅうない』

電王超(モ)「苦しいんだよ!!」

電王超(ウ)『ちよつとキンちゃん押さないで!』

電王超(キ)『狭いんやからしやあないやろ!』

電王超(リュ)『わくわく!鳥さんもだ!』

電王超(良)『ちよつと皆!』

ゼロノス「何やってんだお前ら!?!」

NEW電王「じいちゃん達、遊んでる場合じゃないよ!」

Sゲキ赤「ゾワゾワが来たぞ!」

ギイン!ガギイン!

牙王「野上良太郎!」

ネガ電王「貴様を地獄に送ってやる!」

電王超クライマックスフォームは牙王、スーパーゲキレッドはネガ

電王と戦う!

ネガ電王「邪魔だ!」

Sゲキ赤「お前の相手は俺だ!」

幽汽「俺の相手は貴様らか!」

Sゲキ青「行くぞラン!」

Sゲキ黄「うん!」

NEW電王「もう一度お前を倒す！」

スーパーゲキブルーとスーパーゲキイエローとNEW電王は幽汽と戦う！

G電王「貴様らの後はデイエンドを排除する！」

ゼロノス0「野上が言ってた人工イマジンか・・・」

ゲキ紫「排除されるのはお前だ！」

ゲキチヨツパー「いくぜ！」

仮面ライダーゼロノスとゲキバイオレットとゲキチヨツパーはG電王を相手にする！

く電王超クライマックスフォームVS牙王く

ガギイン！

電王は牙王の攻撃を防ぐ。

電王超（モ）「しつこい野郎だぜ！」

牙王「フン！この恨みを晴らす！」

電王超（キ）「おりゃあ！」

牙王「うおっ!?!」

ドゴオツ！

電王は牙王を突っ張りで吹っ飛ばす！

電王超（モ）「いくぜ！」

電王はライダーパスをベルトにかざす

電王ベルト『フルチャージ』

電王超（モ）「うおりゃあああ！」

ジャキイイン！

牙王「がああああ！」

電王超クライマックスフォームの必殺剣『超ボイスターズラッシュ』が牙王に命中する！

くスーパーゲキレッドVSネガ電王く

ギイン！ギイイン！

スーパーゲキレッドはネガ電王のネガデンガツシャー・ソードモドの攻撃を双剣のゲキセイバーで防ぐ！

ネガ電王「くたばれ！」

Sゲキ赤「いやだ！」

ギイイン！ ザクツ

ネガ電王はネガデンガツシャーを弾かれネガデンガツシャーは地面に突き刺さる。

Sゲキ赤「今だ！」

スーパーゲキレッドは双剣のゲキセイバーを合体させ必殺技をネガ電王に食らわせる！

Sゲキ赤「ゲキ技！スーパー波波斬！」

ジャキイイン！

ネガ電王「ぐわあああ！」

くNEW電王・Sゲキ青・黄VS幽汽く

NEW電王「同時にいこう！」

Sゲキ青「よし！」

Sゲキ黄「いくわよ！」

NEW電王ベルト『フルチャージ』

NEW電王「はああつ！」

Sゲキ青「スーパージャガー撃！」

Sゲキ黄「スーパーチーター撃！」

ドゴオオオオン！

幽汽「ぐおおおつ！」

NEW電王の必殺キック『ストライクスパート』とスーパーゲキブルーの『スーパージャガー撃』とスーパーゲキイエローの『スーパーチーター撃』の同時攻撃を幽汽に食らわせ吹っ飛ばす！

くゼロノス・ゲキ紫・チョツパーVS G電王く

ゲキ紫「ゲキ技！昇昇拳！」

ドゴオオオン！

G電王「ぐあつ！」

ゲキバイオレットは必殺アップの昇昇拳をG電王に食らわせる！

ゼロノス「いくぞ！」

ゲキチョツパー「おっしやあ！」

ダンッ!

ゼロノスとゲキチョツパーは上空に吹っ飛ばされたG電王に向かってジャンプする!

ゼロノスベルト『フルチャージ』

ゼロノス0「食らえ!」

ゲキチョツパー「鋭鋭刀!」

ジャキイイン!

G電王「ぐあああ!」

ゼロノスの必殺剣『スプレンドレッドエンド』と

ゲキチョツパーの必殺剣『鋭鋭刀』の同時攻撃で

G電王は地面へ吹っ飛ばす!

牙王「くそ・・・」

ネガ電王「まだだ!」

幽汽「俺達の恨みを思い知れ!」

G電王「貴様らを必ず排除する!」

ダークライダー達は一ヶ所に集まる。

電王超(モ)「しぶとい奴等だぜ!」

電王超(良)『皆、いくよ!』

Sゲキ赤「これで止めだ!」

ゲキレンジャー『ゲキバズーカ!』

ゲキレンジャーはゲキバズーカを召喚しスーパーゲキブルーとスーパーゲキイエローはバズーカを支えスーパーゲキレッドはトリガーを握り、ゲキバイオレットとゲキチョツパーはスーパーゲキレッドの後ろを支える!

ゼロノス0「いくぞ!デネブ!」

デネブ「よし!」

NEW電王「俺達を支えるよ!」

ゼロノス・ゼロフォームはデネビックバスターを装備しNEW電王とデディはゼロノスの後ろを支える!

電王ベルト『フルチャージ』

電王超(モ)「必殺!俺達の必殺技!!」

ダンッ!

電王超クライマックスフォームは光の翼を広げ高くジャンプする

!

ゲキレンジャー『スーパー激激砲!!』

Sゲキ赤「豚の角煮いい!!」

ゼロノス「くたばれえええ!!」

電王超(モ)「スーパーヒーロー・バージョン!!」

ドゴオオン!!

ダークライダー『ぐわああああ!!』

ゲキレンジャーの『スーパー激激砲』とゼロノス・ゼロフォームの

『バスターノヴァ』と電王超クライマックスフォームの『超ボイスター

ズキック』の同時攻撃でダークライダー達は消滅する。

電王超(モ)「おっしやあ!」

電王超(良)『豚の角煮・・・?』

次回へ続く

30話 スーパーヒーローVSショッカー・ザン ギヤツク連合 その2

「仮面ライダーキバ&炎神戦隊ゴーオンジャー」
ジャキイイン!

イクサ「その命、神に還しなさい!」

ダークキバ「はあっ!」

ゴーオン金「はっ!」

ゴーオン銀「たあっ!」

イクサ、ダークキバ、ゴーオンゴールド、ゴーオンシルバーはファ
ンガイアとガイアーク達を次々と倒していく。

ズシイイン!

ゴーオン金「なんだ!?!」

ゴーオン銀「お兄!あれ!」

アーク「フン!」

ドゴオオン!!

4人はアークのパンチを回避するが衝撃で吹っ飛ば!

ダークキバ「くっ!」

ゴーオン銀「何!?!このデカイの!?!」

ゴーオン金「3メートル以上はあるぞ!」

イクサ「アーク!こいつも復活していたのか!」

??「マンタンガン!」

ズドドドンツ!

アーク「ぬうっ!」

何者かがアークに狙撃しアークは狙撃された方向を見る。

ゴーオン赤「こっちだ!デカブツ!」

崖の上にはマンタンガンを持ったゴーオンジャー達がいた。

ゴーオン赤「いくぜ皆!ロードサーベル!」

ゴーオン青「ガレージランチャー!」

ゴーオン黄「レーシングバレット!」

ゴーオン緑「ブリッジアックス！」

ゴーオン黒「カウルレーザー！」

ゴーオンジャーは専用の武器を取り出し合体させる！

ゴーオンジャー『スーパーハイウェイバスター!!』

ゴーオン赤「スピードルソウル、セット！」

ゴーオンレッドはスーパーハイウェイバスターにスピードルソウルをセットし引き金を引く！

ゴーオンジャー『ゴーオン!!』

ズドオオオン!!

スピードル『ドゥルドルウ!!』

スピードルソウルをセットしたレーシングバレットはアークに向かって発射する！

アーク「フウンツ!!」

アークはレーシングバレットにパンチする！

ドゴオオ!!

アークのパンチとレーシングバレットが激突する!!

グググッ……

スピードル『こいつ……すげえパワーだ……!』

キバ「タツロッド！」

タツロッド「いきますよ！」

仮面ライダーキバはキバフォームからエンペラーフォームへ強化変身する！

タツロッド「ウェイクアップファイバー！」

キバE「はああ……」

ダンッ!

キバE「ハアアッ！」

ドゴオオッ!

キバ・エンペラーフォームはエンペラームーンブレイクでレーシングバレットを押し出す!!

ダークキバ「奴の脚を狙うぞ！」

イクサ「ハアアッ！」

ゴーオン金「うおおっ！」

ゴーオン銀「やああっ！」

ジャキイイン！ジャキイイン！

ダークキバとイクサはアークの右脚、ゴーオンゴールドとゴーオンシルバーはアークの左脚に斬撃を浴びせる！

アーク「ぐうっ！」

キバツト3世「今だ！渡！」

キバE「うおおおっ！！」

アーク「ぐ・・・ぐわあああ！！」

ドゴオオオンッ！

アークは直撃を受け爆発した！

キバE「よしっ！」

ゴーオン赤「やったぜ！」

く仮面ライダー響鬼&魔法戦隊マジレンジャーく

轟鬼「おりやあ！」

ザシユウツ！

ウルザードF「とあっ！」

ジャキイイン！

マジシャイン「はあっ！」

威吹鬼「はっ！」

ズドドオオン！

マジマザー「はあっ！」

ビュオオツ！

魔化魍「がああっ！」

冥獣「ぐわあっ！」

轟鬼は列雷で、ウルザード・ファイヤーはウルサーベルで魔化魍と冥獣を斬り、マジシャインはマジランプバスター、威吹鬼は烈風で狙撃し、マジマザーは氷の魔法で攻撃する！

??? 「グオオオツ！」

マジシャイン「危ない！」

ドゴオオン!

マジシャイン、威吹鬼、轟鬼の3人はギリギリで回避する! 攻撃してきたのは巨大魔化魍オロチだ。

ウルザードF「なんだコイツは!?!」

マジシャイン「デカイ!」

威吹鬼「こいつ、強いです!」

轟鬼「来ます!」

マジマザー「危ない!」

オロチは3人に攻撃しようとする!

??? 「レッドファイヤー!」

??? 「はあっ!」

ゴオオオツ!

オロチ「ギヤアオオツ!」

炎がオロチに命中しオロチは一旦退く。

マジレット「ヒカル先生! 父さん! 母さん!」

響鬼「大丈夫か!?! 威吹鬼、轟鬼!」

3人の前にマジレンジャーと仮面ライダー響鬼が現れる!

マジシャイン「皆!」

ウルザードF「助かった!」

マジマザー「さすが私達の息子!」

威吹鬼・轟鬼「響鬼さん!」

マジレット「いくぜ! 兄ちゃん、姉ちゃん!!」

マジグリーン「よし!」

マジレイエロー「いくぜ!」

マジブルー「私の夫に手を出した罪は重いわ!」

マジピンク「いくわよ!」

マジレンジャー『マジ・マジユール・ゴゴール・ジンガジン! ハッ
!』

キイイイン!

オロチ「グオオオツ!?!」

31話 スーパーヒーローVSショツカー・ザン ギヤツク連合 その3

「仮面ライダーブレイド&特捜戦隊デカレンジャー」

カリス「剣崎……」

ギヤレン「剣崎……」

レンゲル「剣崎さん……」

ブレイド「始、橘さん、睦月……この戦いが終わったらすぐにお別れだ……」

カリス「分かってる……だが、今は一緒に戦おう！」

ブレイド「ああ！」

ジャキイイン「バキユンツ！ザシユウツ！ドガツ！」

ブレイド、ギヤレン、カリス、レンゲルは次々とパーツロイド、イー

ガロイドを片付ける！

デカレッド「いいチームだな……息ピッタリだ！」

デカブルー「感心してる場合か？」

デカグリーン「チームワークなら負けないよ！」

デカイエロー「いくわよ！」

デカピンク「アリエナイザーは逃がさない！」

デカブレイク「いきますよ！先輩！」

デカレッド「ああ！いくぜ相棒！」

デカブルー「相棒って言うな！」

デカマスター「いくぞ！皆！」

デカスワン「はあっ！」

ズドドドオオオン！！ドガアツ！ズバアツ！

デカレンジャー達もアーナロイドを片付ける！

???「くたばれ！」

ズドオオオン！

何者かが狙撃してきたがデカレンジャーとブレイド達は回避する

！

デカレットド「お・・・お前は！」

アブレラ「久しぶりだなデカレンジャー！」

デカレットド「アブレラ!? お前も復活したのか！」

ブレイド「誰だ？」

デカブルー「昔、俺達が倒した宇宙武器商人の宇宙犯罪者だ。」

アブレラ「創世王様のお陰で我々は復活した・・・デカレンジャー、仮面ライダー達よ! 創世王様の為に死ぬ！」

アブレラの下にアリエナイザー達が集まった!

アブレラ「いけえ!!」

アリエナイザー「「うおおっ!!」」

ダダダダッ!

デカブルー「いくぞ！」

デカ青・緑・黄・桃『スワットモード・ON!』

ギャレン「俺達もいくぞ！」

ラウズアブソーバー『アブソーブクイーン、フュージョンジャック!』

カリス「ああ！」

カリスラウザー『エヴォリューション!』

デカブルー、デカグリーン、デカイエロー、デカピンクはスワットモード、ギャレンはジャック

フォーム、カリスはワイルドカリスに強化変身する!

デカ青S「SPライセンス、セット！」

ギャレンラウザー『バレット、ファイア! ファイアバレット!』

ワイルドスラッシュャー『ワイルド!』

デカ青・緑・黄・桃『Dリボルバー・マックスパワー!』

ギャレンJ「はあっ！」

Wカリス「たああっ！」

ズドオオオン!

アリエナイザー「ぐわあああっ!!」

スワットモードの『Dリボルバー・マックスパワー』とギャレン・ジャックフォームの『ファイアバレット』とワイルドカリスの『ワイ

ルドサイクロン』の同時攻撃でアブレラ以外のアリエナイザーは消滅した！

アブレラ「何っ!？」

デカマスター「いくぞ！アブレラ！ベガスラッシュュ！」

デカスワン「スワンレインボー！」

ズバアアアッ！

ドガアアアッ！

アブレラ「がっ!？」

デカマスターの必殺剣『ベガスラッシュュ』とデカスワンの必殺キック『スワンレインボー』の同時攻撃を受けたアブレラはふらつく。

デカブレイク「灼熱拳ファイヤーフィスト！」

レンゲル「はああっ！」

ドゴオオオッ！

アブレラ「ぐおあっ!？」

デカブレイクの炎のパンチ『ファイヤーフィスト』とレンゲルの冷気のパンチ『ブリザードゲイル』が命中しアブレラは吹っ飛ばす！

デカレット「アブレラ！もう一度デリートしてやる！いくぜブレイド！」

ブレイド「よし！」

デカレット「マーフィー！」

マーフィー「アオオオンッ！」

ブレイド「キング・・・力を貸してもらおうぞ！」

ラウズアブソーバー『アブソーブクイーン、エヴオリユーシヨンキング！』

デカレットはアーマーに変形したマーフィーを装着しデカレット・バトライザー、ブレイドはキングフォームに強化変身する！

デカレットB「バトライズ・ファイヤードライブ！」

キングラウザー『スピードX・スピードJ・スピードQ・スピー

ドK・スピードA・ロイヤルストレートフラッシュュ！』

デカレットB「シュート!!」

ブレイドK「ウエエエエイ!!」

ズドオオオンツ!!ズバアアアア!!

アブレラ「う・・・うわあああ!!」

ズドオオオンツ!!

デカレットD・バトライザーの『バトライズ・ファイヤードライブ』と
ブレイド・キングフォームの

『ロイヤルストレートフラッシュ(遠距離)』の同時攻撃を受けたアブ
レラは爆発した!

デカレットB「ゴツチュウ!」

ブレイドK「俺は運命と戦う!」

次回へ続く

32話 スーパーヒーローVSショッカー・ザン ギヤツク連合 その4

「仮面ライダーZO&五星戦隊ダイレンジャー」

ZO「はああっ！」

リュウ「とああっ！」

ドカアッ！

ドラスはZOとリュウレンジャーのパンチを受けたがビクともしない。

ドラス「お兄ちゃん達・・・邪魔だよ！」

ドガアッ！バキッ！

ZO「ぐあっ！」

リュウ「ごあっ！」

ドラスはZOとリュウレンジャーに攻撃し、吹っ飛ばす。

ホウオウ「亮！」

キリン「ZO！」

テンマ「なんてバケモンだ！」

キバレンジャー「俺に任せて！吼新星・乱れ山彦!!」

ギユオオオオン!!

ドラス「ぐ・・・ぐう!!」

ドラスは耳を押さえる。

ZO「効いてる!?!」

リュウ「体は頑丈でも耳は頑丈じゃないのか!!」

シシ「気力ボンバーだ！」

キ、テ、ホ「「おう!」「」

ギユオオオオン

シシレンジャー、テンマレンジャー、キリンレンジャー、ホウオウレンジャーは手に気力を集中させる!

シ、テ、キ、ホ「「気力ボンバー!」「」

ズドオオオオン!

4人は気力ボンバーをドラスに命中させる！

ドラス「ぐう！」

テンマ「まだ倒れないのかよ!？」

だが、ドラスは今の攻撃で弱ってる。

リュウ「ZO！」

ZO「ああ！」

ダアンツ！

リュウレンジャーとZOは高くジャンプする！

ZO「ZOキック！」

リュウ「天火星・稲妻キック！」

ドゴオオオンツ！

ドラス「ぐわああああつ!!」

ズドオオオンツ!!

ドラスは2人のダブルキックを受けて吹っ飛び、爆発する！

く仮面ライダーJ&忍者戦隊カクレンジャーく

ガシャドクロ「いくぞ！カクレンジャー！仮面ライダー！」

ニンジャマン「貴公子ジユニアまで復活してるとはな！」

ギイイイン!!

ニンジャマンはガシャドクロの剣をニンジャソードで防ぐ。

ニンジャマン「火遁の術！」

ゴオオオツ！

ガシャドクロ「ぐうっ！」

ガシャドクロはニンジャマンの火遁の術で怯む！

ニンジャマン「今だ！カクレンジャー、J！」

J「一気にいくぞ！カクレンジャー！」

ニンジャ赤「よし、いくぜ皆！」

シャキイン！

カクレンジャーは背中のカクレマルを抜く！

ニンジャ黒「隠れ流・流れ星！」

ザシユウツ！ザシユウツ！ザシユウツ！ザシユウツ！ザシユウツ

!

ガシヤドクロ「ぐおっ！」

ニンジャ青「隠流・正方の陣！」

ザシユウツ！ザシユウツ！ザシユウツ！ザシユウツ！

ガシヤドクロ「ぐがっ！」

ニンジャ黄「隠流・三段斬り！」

ザシユウツ！ザシユウツ！ザシユウツ！

ガシヤドクロ「ぬうっ！」

ニンジャ白「隠流・くの字斬り！」

ザシユウツ！ザシユウツ！

ガシヤドクロ「ぐうっ！」

ニンジャ赤「隠流・満月斬り！」

ザシユウツ！

ガシヤドクロ「があっ！」

J「Jキック！」

ドゴオオオッ！

ガシヤドクロ「ぐわああああっ!!」

カクレンジャーと仮面ライダーJの連続攻撃を受けたガシヤドク

ロは弱ってきた。

ニンジャ赤「止めだ！鶴姫！」

ニンジャ白「現れよ！カクレンジャーマシン！」

ニンジャホワイトはカクレンジャーマシンのシャークブリッター、

シャークスライダー、シャークランチャーを召喚する。

ガチャン

サイドカーのシャークスライダーとシャークランチャーが合体しカタパルトに、ニンジャレッドが乗ったシャークブリッターを搭載し、シャークドライバーとなり、ガシヤドクロに狙いを定める。

ニンジャ赤「喰らえ！」

ズドオオオッ!!

射出したシャークブリッターはガシヤドクロに突撃する！

ジュニア「フウッ！」

ガギイイイイツ!!

ニンジャ赤「何っ!?!」

ガシヤドクロは防御し耐える!

ガシヤドクロ「うおおおっ!!」

ギイイインツ!!

ガシヤドクロは耐えきりシャークブリツダーを弾く!

キキイイイツ!!

ニンジャ赤「くっ!」

ガシヤドクロ「ふはははっ!!お前らの必殺技など通用するか!」

ニンジャ赤「そいつはどうかかな?」

J「うおおおっ!」

ブオオオンツ!!

ガシヤドクロ「なっ・・・っ!?!」

ジェイクロツサーに乗った仮面ライダーJがシヤドクロに突撃す

る!

ドゴオオオンツ!!

ガシヤドクロ「に・・・二発だと・・・?」

シャークブリツダーを射出した後、仮面ライダーJが乗ったジェイクロツサーをカタパルトに搭載し、ガシヤドクロがシャークブリツダーを弾いた後、ジェイクロツサーを射出したのだ。

ガシヤドクロ「く・・・くそおおおっ!!」

ズドオオオン!!

ガシヤドクロは倒れ、爆発する。

ニンジャ赤「南無三・・・っ!」

J「よし!」

次回へ続く

333話 スーパーヒーローVSショツカー・ザン ギヤツク連合 その5

く仮面ライダーカブト&轟轟戦隊ボウケンジャーく

リュウオーン「いくぞ！ボウケンジャー！」

ヤイバ「覚悟！」

レイ「あの時の借りを返すぞ！」

ガイ「死ね！」

ボウケン赤「リュウオーンと闇のヤイバ、クエスターも復活してる
とはな・・・ボウケンジャー、アタック！」

カブト「いくぞ、加賀美」

ガタツク「ああ！」

カブト・ガタツク「クロックアップ！」

KZ・GZ『『クロック・アップ！』』

ギユン！

ドガツ！ドガツ！ドガツ！ドガツ！

リュウオーン「ぐおっ！」

ヤイバ「があっ！」

ガイ「ぐうっ！」

レイ「うあっ！」

KZ・GZ『『クロック・オーバー！』』

カブトとガタツクはクロックアップでリュウオーン達を攻撃しダ
メージを与える！

ボウケン桃「チーフとカブトはリュウオーンを！他の3人は私達に
任せてください！」

ボウケン赤「わかった！いくぞ、カブト！」

カブト「ああ！」

ボウケンレッドと仮面ライダーカブトはリュウオーンの所へ向か
う。

ボウケン銀「ガイとレイは俺様とガタツクに任せろ！」

ガタツク「あの黒い奴等だな！」
ボウケンシルバーと仮面ライダーガタツクはガイとレイの所へ向かう。

くボウケン黒、青、黄、桃 vs 闇のヤイバく

ボウケン黒「俺達はヤイバを倒すぞ！」

ボウケン黄「うん！」

ヤイバ「千羽鶴・闇吹雪！」

ゴオオオ！ズドオオオン！

ヤイバは『千羽鶴・闇吹雪』でボウケンジャー（ブルー、イエロー、ピンク、ブラック）に攻撃するが4人は回避する。

ボウケン青「サバスナイパー！」

ガチャツ！

4人はサバスナイパーを取り出し、スコープショットをサバスナイパーにセットし、ヤイバに狙いを定める！

ボウケン桃、青、黄、黒「『クライマックスシュート！』」

ズギユウウウン！！

ズドオオオオン！！

ヤイバ「ぐうううっ！！」

4人の『クライマックスシュート』がヤイバに命中するが、まだヤイバは倒れない！

ボウケン黒「止めは任せろ！」

ボウケンブラックは専用の武器『ラジアルハンマー』を手に取る！

ボウケン黒「もう一度、あの世へ行け！ヤイバ！ハンマーダイナマイト！」

ドガアアアン！！

ヤイバ「ぐわああああ！」

ボウケンブラックの必殺技『ハンマーダイナマイト』をまともに受けたヤイバは吹っ飛ぶ！

ズザアアア！

吹っ飛ばされたヤイバはゆっくり立ち上がる。

ヤイバ「まさか・・・また、貴様にやられるとはな・・・」

ズドオオオン!!

ヤイバは倒れ、爆発する。

ボウケン黒「今度こそ成仏しろよ・・・」

くボウケン銀&ガタツクvsガイ&レイく

ボウケン銀「ガイ!レイ!お前らも成仏しやがれ!」

ガタツク「いくぞ!」

ガイ「成仏するのはテメエらだ!!」

レイ「食らえ!」

ズドドドドオン!!

ガイとレイはボウケンシルバーとガタツクに狙撃するがボウケンシルバーとガタツクはガイとレイに向かって全力で走る!

ガイ「とつととくたばれ!!」

ボウケン銀・ガタツク「お前らがな!」

ジャキイン!

ボウケンシルバーはサガスナイパー・サガスモード、ガタツクはダブルカリバーを手取る!

ジャキイイイン!!

ガイ「ぐおおっ!」

レイ「ぐああっ!」

ボウケンシルバーはガイに、ガタツクはレイに斬撃を浴びせ吹っ飛ばす!

ボウケン銀「レイは任せたぜガタツク!ガイは俺様がやる!」

ガタツク「ああ!」

GZ『1、2、3』

ガタツク「ライダーキック!」

GZ『ライダーキック!』

ダアンツ!

ガタツク「おりやああ！」

ドゴオオオン!!

レイ「ぐわああああ!!」

ズドオオオン!!

ガタツクのライダーキックを受けたレイは爆発する！

ガイ「レイ！」

ボウケン銀「よそ見してる場合か!?ガイ!サガスラッシュ!!」

ズバアアア!ズバアアア!

ガイ「うわああああ!!」

ズドオオオン!!

ボウケンシルバーのサガスラッシュを受けたガイも爆発する！

ボウケン銀・ガタツク「よっしやあ！」

くボウケン赤&カブトvsリュウオーンく

リュウオーン「うおおおっ！」

ボウケン赤・カブト「はあああっ！」

ギインツ!ギインツ!ギインツ!

カブトはクナイガン・クナイモード、ボウケンレッドはボウケン
ジャベリンでリュウオーンに攻撃するがリュウオーンは2本の剣で
2人の攻撃を防ぐ!

リュウオーン「フンツ！」

ジャキイン!

カブト「くっ！」

ボウケンレッド「うわっ！」

リュウオーンは2人を同時に吹っ飛ばす!

リュウオーン「ボウケンレッド・・・まずは貴様からだ！」

ブンツ!

リュウオーンはボウケンレッドに斬り懸かる!

ガギイン!ガシツ!

リュウオーン「何っ!?!」

ボウケンレッドはアクセルテクターを装着してリュウオーンの斬撃を防ぎ、リュウオーンを捕まえる！

ボウケン赤「今だ！カブト！」

カブト「ああ！」

KZ『1、2、3』

カブト「ライダーキック！」

KZ『ライダーキック！』

ブウンツ！ドゴオオオン！

リュウオーン「がああああつ!?」

ズザアアア

カブトはライダーキックでリュウオーンを吹っ飛ばす！

カブト「止めだ！」

ブウウンツ！

カブトはハイパーゼクターを出現させ、腰に装着する！

カブト「ハイパーキャストオフ！」

HZ『ハイパーキャストオフ！チェンジ・ハイパービートル！』

カブトはハイパー・カブトに強化変身する！

Hカブト「来い、パーフェクトゼクター！」

ギユオオオン！ブウウン！ガシヤツ！ガシヤツ！ガシヤツ！

ハイパー・カブトはパーフェクトゼクターを出現させ、更に現れた

ザビーゼクター、ドレイクゼクター、サソードゼクターがパーフェク

トゼクターと合体する！

ボウケン赤「来い、ズバーン！」

ズバーン「ズバアアアン!!」

ガシヤツ！ガシヤツ！

ゴーミンを片付けたズバーンは聖剣モードに変形し、ボウケンレッドはそれを手に取る！

PZ『カブトパワー、ザビーパワー、ドレイクパワー、サソードパ

ワー、オールゼクターコンバイン！』

ハイパー・カブトとボウケンレッドはリュウオーンに向かって走る

！

PZ『マキシマムハイパータイフーン!』

Hカブト「はあああつ!!」

ボウケン赤「ゴールデンクラッシュ!!」

ズバアアアアツ!!

リュウオオン「く・・・くそおお!!」

ズドオオオン!!

必殺剣『マキシマムハイパータイフーン』と『ゴールデンクラッシュ』の同時攻撃を受けたリュウオオンは爆発する!

ボウケン赤「じゃあなリュウオオン・・・」

Hカブト「俺は天の道を行き、全てを司る・・・」

次回へ続く

34話 スーパーヒーローVSシヨツカー・ザン ギヤツク連合 その6

く仮面ライダーBlack・RX&超獣戦隊ライブマン&光戦隊マスクマンく

シャドームーン「サタンサーベル！」

赤ファルコン「ファルコンセイバー！」

レッドマスク「マスキープレード！」

RX「リボルケイン！」

ギイン！ギイン！ジャキイン！

RX、レッドファルコン、レッドマスクの3人はシャドームーンに挑み、残りのライブマンとマスクマンはジャーク將軍と戦う！

ライブマン「こっライブラスター！」

マスクマン「こっレーザーマグナム！」

ズドオオオン！！

ジャーク將軍「ふんっ！」

ギイイイン！

黄ライオン「なんだとっ!？」

ライブマンとマスクマンはジャーク將軍に狙撃したがジャーク將軍はそれを弾いた！

ジャーク將軍「今度はコッチの番だ！」

ビイイイイツ！！

ズドドドオン！

ライブマン「うわあああ！」

マスクマン「ぐわあああ！」

ジャーク將軍は光線を放ちライブマンとマスクマンに命中させる！

ブラックマスク「くっ……メディテーション！」

ギユオオオン！

ジャーク將軍「何っ!？」

マスクマンはオーラを発動させ、そのオーラでジャーク將軍を拘束し空中へ！

ブルーマスク「今だ！ライブマン！」

黄ライオン「ライオンバズーカ！」

青ドルフィン「ドルフィンアロー！」

緑サイ「サイカッター！」

黒バイソン「バイソンロッド！」

ライブマン「「ハアッ！」」

ズドオオン！

ジャーク將軍「ぐわああああ！」

ドゴオオオン！

ライブマン4人の専用武器の同時攻撃がジャーク將軍に命中し撃破する！

RX「とお！」

赤ファルコン「ハアッ！」

レッドマスク「ハッ！」

3人は同時にシャドームーンに斬りかかる！

シャドームーン「シャドービーム！」

ビイイイツ!!ズドドドオン！

RX、赤ファルコン、レッドマスク「「うわあああ！」」

3人はシャドームーンのシャドービームを受けて倒れる。

RX「くっ・・・信彦・・・！」

ガシャンツガシャンツ

シャドームーンはRXに向かって歩き、倒れてるRXの前に立つ。

シャドームーン「終わりだ！ブラックサン！」

ブオツ

シャドームーンはサタンサーベルでRXに斬りかかる！

赤ファルコン「RX！」

RX「RX、ロボライダー！」

ガギイン！ガシッ！

シャドームーン「なっ・・・!？」

RXはロボライダーに変身して立ち上がり、体で斬撃を受け止め、シャドームーンを捕まえる！

シャドームーン「くっ・・・離せ！」

ロボライダー「ボルテイツクシューター！」

赤ファルコン「ライブラスター！」

レッドマスク「レーザーマグナム！」

3人は銃口をシャドームーンの腹部に接触させ同時に引き金を引く！

ズドオオオンツ！

シャドームーン「ぐうっ！」

シャドームーンは後ろに吹っ飛ぶ！

ロボライダー「RX、バイオリライダー！」

ギョルルルツ！

ロボライダーはバイオリライダーに変身してゲル状に変化してシャドームーンを拘束する！

シャドームーン「くっ・・・！」

バイオリライダー「レッドマスク！レッドファルコン！」

レッドマスク「いくぞ！」

赤ファルコン「おう！」

レッドマスクとレッドファルコンの2人はシャドームーンに向かって走る！

レッドマスク「マスキークラッシュ！」

赤ファルコン「ファルコンブレイク！」

バイオリライダーは攻撃が当たる前にシャドームーンから離れる！ズバアアアツ！！

シャドームーン「ぐおおおっ！」

ガクンツ

2人の必殺剣同時攻撃を受けたシャドームーンは膝を崩す！

レッドマスク、赤ファルコン「止めだ！RX！」

RX「信彦・・・俺がお前を成仏させる！」
ズダアンツ！

RXは高くジャンプする！

RX「RXキック!!」

ドゴオオオンツ!!

シャドームーン「うわあああ!」

ズドオオオンツ!!

RXは必殺キックの『RXキック』でシャドームーンを撃破する。

レッドマスク「やったな!RX。」

RX「ああ、2人のお陰だ。」

赤ファルコン「見ろ!シャドームーンの剣が!」

3人の視線の先には地面に落ちていたサタンサーベルが宙に浮いている光景だった。

RX「サタンサーベル・・・っ!」

サタンサーベルはそのまま何処かへ飛び去った・・・

RX「まさか・・・創世王の下へ向かったのか・・・!?」

次回へ続く

35話 スーパーヒーローVSショッカー・ザン ギヤツク連合 その7

く仮面ライダーW&天装戦隊ゴセイジャーく

ゴセイレツド「いくぞ！ブラジラ！」

W（翔・フィ）「さあ、お前の罪を数えろ！」

ブラジラ「いけ！我が分身よ！」

ブレドラン「はあああつっ！」

武レドラン「うおおおつっ！」

ブレドRUN「だああああつっ！」

血祭ブレドラン「死ねえええっ！」

WD『ルナ！トリガー！』

ゴセイジャー『ゴセイブラスター！』

Wはルナトリガーにフォームチェンジしてトリガーマグナムを手に取り、ゴセイジャーはゴセイブラスターを手に取り、ゴセイヘッダーをセットする。

ゴセイレツド「いくよ！W！」

W（翔）「任せろ！」

Wとゴセイジャーは同時に引き金を引き、ブレドラン4人に狙撃する！

ズドドドオン！

ブレドラン達「くおおおつっ！」「くくく」

ブレドラン達は攻撃を受け、膝を崩す。

アクセル「さあ、振り切るぜ！」

エンジンブレード『エンジン！マキシマムドライブ！』

ゴセイナイト「レオンレイザーソード！ナイトメタリック！」

ジャキイン！ジャキイン！

ブレドラン「ぐわああああ！」

武レドラン「がああああ！」

ズドオオオン！

アクセルは必殺剣『ダイナミックエース』でブレドランを、ゴセイナイトは必殺剣『ナイトメタリック』で武レドランを撃破する。

W（翔）「残りの奴等もいくぜ！ゴセイジャー！」

ゴセイレッド「よし！」

ゴセイジャー「[[[[アセンブル！ゴセイバスター！]]]]」

トリガーマグナム『トリガー！マキシマムドライブ！』

ゴセイバスター『ゴセイダイナミック！』

W（翔・ファイ）「[[[[トリガーフルバースト！]]]]」

ゴセイジャー「[[[[バニッシュ！]]]]」

ズドオオオン！

ブレドRUN「ぐおおおっ！」

血祭ブレドラン「くそおおおっ！」

ドゴオオオン！！

Wは『トリガーフルバースト』でブレドRUNを、ゴセイジャーは

『ゴセイダイナミック』で血祭りのブレドランを撃破する！

ゴセイレッド「お前の分身は倒したぞ！ブラジラ！」

ブラジラ「黙れ！貴様らごときなど私一人で十分だ！」

ゴセイジャー「[[[[テンソード！超天装！]]]]」

W（ファイ）「いくよ、翔太郎！」

W（翔）「おっしやあ！」

アクセル「全て、振り切るぜ！」

テンソード『スーパーチェンジ！』

EM『エクストリーム！』

TM『トリアル！』

ゴセイジャーはスーパーゴセイジャーに、仮面ライダーWはサイクロンジョーカーエクストリームに、仮面ライダーアクセルはアクセルトリアルに強化変身した！

アクセルT「まずは俺からだ！」

ブオオオオンツ！！

ブラジラ「は・・・速い！」

ジャキイン！ジャキイン！ジャキイン！

ブラジラ「ぐおおおっ！」

アクセルは高速移動でエンジンブレードでブラジラに何度も攻撃する！

ゴセイナイト「次は私のターンだ！」

ガチャンツ！

ゴセイナイトはバルカンヘッダーをレオンレイザーにセットする

！

ゴセイナイト「バニツシュ！」

レオンレイザー『ナイトダイナミック！』

ズドオオオンツ！！

ブラジラ「ぐうっ！」

Sゴセイピンク「スーパーピンクトリック！」

Sゴセイブルー「スーパーブルーチエック！」

ズドドオオオン！

ブラジラ「ぬうっ！」

Sゴセイブラック「スーパーブラックアタック！」

Sゴセイイエロー「スーパーイエローショック！」

ドゴオオオン！

ブラジラ「ぐおっ！」

Sゴセイレッド「スーパーレッドブレイク！」

Wエクス（翔・ファイ）「ビツカーチャージブレイク！」

ズバアアア！！

ブラジラ「うおおおっ！」

必殺技の連続攻撃を受けたブラジラはふらつく。

Sゴセイレッド「終わりだブラジラ！いくよW！」

Wエクス（翔）「よっしやあ！いくぜ相棒！」

Wエクス（ファイ）「ああ！翔太郎！」

ギユオオオン！ズダアンツ！

Wは『エクストリーム』から『ゴールドエクストリーム』へ超強化

変身して高くジャンプする！

Sゴセイジャー「ミラクルゴセイダイナミック！」

WGエクス（翔・ファイ）「『ゴールデンエクストリーム！』」
ズドオオオン！

ブラジラ「う……うわあああ！」

ドゴオオオン！！

スーパーゴセイジャーの『ミラクルゴセイダイナミック』とWゴールドエクストリームの『ゴールデンエクストリーム』の同時攻撃でブラジラは撃破される！

Sゴセイレッド「やったね！」

WGエクス（翔・ファイ）「ああ！」

次回へ続く

36話 スーパーヒーローVSシヨツカー・ザン ギヤツク連合 その8

「仮面ライダーオーズ&侍戦隊シンケンジャー」

バースP「いくぜ！後藤ちゃん！」

バース「はい！伊達さん！」

ズガガガガッ！！

ドウコク「効かねえな！」

バース・プロトタイプとバースはバースバスターで血祭ドウコクに攻撃するがビクともしない。

アクア「なんてバケモノだ！」

シンケン赤（丈）「これならどうだ！いくぞ、映司！」

ギユオオオン！

オーズ「はい！丈溜さん！」

OS『トリプル・スキヤニングチャージ！』

シンケンジャー「二二六重の太刀！」「二二二」

オーズ「せいやあああ！」

ズバアアアッ！！

シンケンジャーの『六重の太刀』とオーズの『オーズバツシュ』の斬撃破がドウコクに向かう。

ギイイイインッ！！

ズドオオオン！！

だがドウコクは7人の斬撃破を弾き飛ばす！

オーズ「なっ・・・!?」

シンケン緑「やっぱ簡単にはいかねえか・・・」

ドウコク「シンケンジャー・・・あの時の恨みを晴らさせてもらおうぜ！」

ドウコクの下に数人の妖が集まる。

ドウコク「いけ！お前ら！」

妖「二二うおおおっ！」「二」

ダダダダッ!!

シンケン赤(薫)「丈瑠! オーズ! 妖達は私とバース達に任せろ!」
アクア「シンケンジャーとオーズはドウコクを!」

バースP「いくぜ! 3人共!」

バース「はい!」

ドガツ! バキツ! ズドオンツ!

バース、プロトバース、アクア、シンケン赤(薫)の4人はドウコク以外の妖と戦闘する。

シンケン赤(丈)「いくぞ! 皆!」

シンケンジャー・オーズ「うおおおっ!」

シンケンジャー6人とオーズはドウコクに向かって走り、攻撃する。

ギイン! ギイン! ガギイン!

ドウコク「おらあっ!」

ズバアアア!

オーズとシンケンジャーはドウコクから離れる。

今のドウコクの攻撃で地面が深く抉れた。

オーズ「こいつ・・・強い!」

シンケン赤(丈)「源太! 皆にアレを!」

シンケン金「よっしゃあ! 4人共、受けとれ!」

ブンツ!

ガシツ!

シンケンゴールドはブルー、グリーン、イエロー、ピンクの4人にある物を投げ渡す。

シンケン青「これはインロウマル!」

オーズ「え? 何それ?」

シンケン緑「俺達シンケンジャーのパワーアップアイテムだよ。」

シンケン桃「元々、一つだけだったんだけど・・・」

シンケン黄「源太さん、どういうこと?」

シンケン金「もしもの時の為に丈ちゃんに皆の分のインロウマルを作るように頼まれたのさ。もちろん俺の分もあるぜ!」

シンケン赤（丈）「よし！いくぞー！」

シンケンレッド（丈瑠）は恐竜ディスクを取り出す！

ドウコク「させるか！」

ドウコクはシンケンジャーの強化変身を阻止しようとする！

ズドドオン！

ドウコク「ぬうつ!？」

ドウコクは何者かに狙撃される。

バース「邪魔はさせない！」

ドウコク「てめえら・・・！」

アクア「お前の手下は片付けた！」

バースP「火野！お前もアレを使え！」

オーズ「はい！」

シンケン赤（薫）「私もいくぞー！」

シンケンレッド（薫）もインロウマルを取り出し、オーズはクワガタメダルとカマキリメダルを取り出し、オーズドライバーにセットする！

チャキイン！チャキイン！

キイン！キイン！キイン！

OS『クワガタ！カマキリ！バッタ！ガクガタキリバ！ガタキリバ！』

オーズは『タトバ・コンボ』から『ガタキリバ・コンボ』にフォームチェンジし、7人になった。

シンケン黄「え！オーズが増えた!？」

オーズ・ガタキリバ「あ、これ分身なんだ。」

シンケン赤（丈）「とにかく、バース達が時間を稼いでる間に！」

オーズ・ガタキリバ「あ、ハイ！」

チャキッチャキッチャキイン

オーズ・ガタキリバ6人はコアメダルを取り出し、セットする。

シンケン赤（薫）・青・黄・緑・桃・金「インロウマル！」

シンケン赤（丈）「キョウリユウマル！」

インロウマル『スーパードイスク！』

ブオオオツ！ズドオオオン！

ドウコク「なっ・・・なんだ!?引き寄せられる！」

ズルズルズルズル！

オーズ・サゴーズは重力でドウコクを自分の間合いへ引き寄せる。

オーズ・サゴーズ「せいやあああ！」

ドゴオオオン!!

ドウコク「ぐおっ！」

オーズ・サゴーズは『サゴーズ・インパクト』でドウコクを吹っ飛ばす！

Sシンケン金「次は俺だ！真・百枚おろし！」

ズバズバズバズバズバアアア!!

Sシンケン桃「まだまだ！」

オーズ・ブラカワニ「いくぞ！」

インロウマル『亀ディスク！』

OS『スキヤニングチャージ！』

Sシンケン桃「真・天空の舞！」

オーズ・ブラカワニ「せいやあああ！」

ズバアアア!!

ズザアアア！ドゴオ!!

ドウコク「ぬああっ！」

スーパーシンケンピンクの『真・天空の舞』とオーズ・ブラカワニの『ワーニングライド』の同時攻撃でドウコクを追い込む！

Sシンケン緑「次は緑同士の必殺技だ！」

オーズ・ガタキリバ「よし！」

インロウマル『熊ディスク！』

OS『スキヤニングチャージ！』

ズダアン!!

オーズ・ガタキリバは分身し、高くジャンプする。

オーズ・ガタキリバ「ニ「せいやあああ!!」ニ」

ドゴドゴドゴドゴオツ!!

Sシンケン緑「真・木枯らしの舞！」

ズバズバズバズバアアアツ!!

ドウコク「くっ!」

オーズ・ガタキリバの『ガタキリバキツク』とスーパーシンケングリーンの木の字斬りの『真・木枯らしの舞』でさらにドウコクにダメージを与える!

Sシンケン黄「次は黄色!」

オーズ・ラトラーター「はっ!」

インロウマル『猿ディスク!』

OS『スキヤニングチャージ!』

オーズ・ラトラーター「せいやあああ!!」

ザシユザシユザシユザシユザシユウツ!!

Sシンケン黄「真・土煙の舞!」

ズバズバズバアツ!!

ドウコク「グガツ!」

オーズ・ラトラーターの『ガツシユクロ』とスーパーシンケンイエローの土の字斬りの『真・土煙の舞』の同時攻撃の後、さらに攻撃が続く!

Sシンケン青「そして次は青だ!」

オーズ・シャウタ「いくよ!ミハル君!」

アクア「うん!」

インロウマル『龍ディスク!』

OS『スキヤニングチャージ!』

オーズ・シャウタ「ハアツ!」

ギユルルルツ!!バシィツ!!

ドウコク「なっ・・・!」

オーズ・シャウタはウナギウィップでドウコクを拘束する。

Sシンケン青「真・水流の舞!」

ズバアア!

アクア「オーシャニックブレイク!」

ドゴオオオ!

オーズ・シャウタ「せいやあああ!!」

ドガアアアツ!!

ドウコク「ぐおっ!」

スーパーシンケンブルーの『真・水流の舞』、仮面ライダーアキアの『オーシャニツクブレイク』、オーズ・シャウタの『オクトバニツシュ』の連続攻撃を受けるが、まだ倒れない!

Sシンケン赤(薫)「次は私たちの炎を受けてみる!」

オーズ・タジヤドル「燃え尽きろ!」

インロウマル『獅子ディスク!』

OS『タカ!クジャク!コンドル!ギガスキャン!』

Sシンケン赤(薫)「真・火炎の舞!」

オーズ・タジヤドル「せいやあああ!」

シユゴオオオオツ!!

スーパーシンケンレッド(薫)の『真・火炎の舞』とオーズ・タジヤドルの『マグナブレイズ』の同時攻撃を受けたドウコクはどうとう膝を崩す!

ドウコク「く・・・くそ!」

Hシンケン赤「いくぞ!ドウコク!」

オーズ・Sタトバ「これで最後だ!」

ドウコク「調子に乗るな!」

ズバアアアツ!!

ズドオオオツ!!

ドウコクはハイパーシンケンレッド(丈瑠)とオーズ・スーパータトバに斬撃破を飛ばすが2人はジャンプして回避する!

Hシンケン赤(丈)「キョウリユウマル!」

キョウリユウマル『グオオオオオツ!!』

キョウリユウマルの刀身が伸び、ハイパーシンケンレッド(丈)はキョウリユウマルを振るう!

Hシンケン赤(丈)「天地一閃!」

ズバズバズバズバアアアツ!!

そして、オーズ・スーパータトバはスーパートラックローでドウコクに攻撃する!

オーズ・Sタトバ「せいやああ!!」

ズバアアアツ!!

ドウコク「ぐわあああつ!!」

ズザアアア!

オーズ・スーパータトバの攻撃を受けたドウコク

は後ろへ吹っ飛ぶ!

バースP「よし!後藤ちゃん!」

バース「はい!これで止めだ!」

バースドライバー『ブレストキャノン』

バースとバース・プロトタイプはブレストキャノンを装備する。

シンケン赤(薫)「丈瑠!これを使え!」

ギョオオオンツ!!

ブンツ!ガシツ!

シンケンレッド(薫)はシンケンマルを烈火大斬刀に変化させ、ハイパーシンケンレッド(丈瑠)に渡す!

Hシンケン赤(丈)「使わせてもらいます!烈火大斬刀・大筒モード!」

ガシヤンツ!

Hシンケン赤(丈)「皆!ディスクを!」

Sシンケン青「はっ!」

Sシンケン緑「よしてきた!」

Sシンケン黄「はい!」

Sシンケン桃「任せたわよ!」

ガシヤンツガシヤンツガシヤンツガシヤンツガシヤンツガシヤンツガシヤンツ!

Hシンケン赤(丈)「恐竜五輪弾!!」

ハイパーシンケンレッド(丈瑠)は烈火大斬刀に秘伝ディスク5枚と恐竜ディスクをセットする!

Sシンケン金「よし、俺もいくぜ!ことはちゃん借りるぜ!」

Sシンケン黄「あ!私のシンケンマル!」

ガシヤンツ

スーパーシンケンゴールドはスーパーシンケンイエローのスーパーシンケンマルを拝借し、モウギユウバズーカと合体させる。

Sシンケン金「スーパーモウギユウバズーカ！」

インロウマル『最終奥義ディスク！』

オーズ・Sタトバ「皆さん、いきますよ！」

キイン！キイン！キイン！

OS『スキヤニングチャージ！』

バース・バースP「ブレストキャノン、発射アツ！！」

Hシンケン赤（丈）・Sシンケン金「成敗ツ！！」

オーズ・Sタトバ「せいやあああつ！！」

ズドオオオンツ！！

ドガアアアツ！！

ドウコク「ち．．．ちくしよおおおつ！！」

ズドオオオンツ！！

バースとバース・プロトタイプの『ブレストキャノン』、スーパーシンケンゴールドの『スーパーモウギユウバズーカ』、ハイパーシンケンレッドの『恐竜五輪弾』、オーズ・スーパータトバの『スーパータトバキック』の同時攻撃でついにドウコクを撃破する！

オーズ・Sタトバ「やりましたね！」

Hシンケン赤（丈）「ああ、今度こそドウコクの最後だ．．．」

〜次回へ続く〜

37話 スーパーヒーローVSシヨツカー・ザン ギヤツク連合 その9

「仮面ライダーフォーゼ&特命戦隊ゴーバスターズ」

フォーゼ「仮面ライダーフォーゼ！タイマン張らせてもらうぜ！」

メテオ「いや、タイマンじゃないだろ・・・(汗)」

シルバ「お前達を破壊する！」

レッドB「皆、来るぞ！」

フォーゼ「いくぜっ！」

FD『ガトリング』

ジャツキツ！

レッドバスター、ブルーバスター、イエローバスターはイチガンバスター、ビートバスター、スタッグバスターはモーフィンプラスター、フォーゼはガトリングモジュールでシルバに狙いを定めて狙撃しようとするが・・・

ズドンッ！ズドンッ！ズドンッ！ズドンッ！ズドンッ！ズドンッ！ズドンッ！ズドンッ！

レッドB「ぐわっ！」

ブルーB「がっ！」

イエローB「きやつ！」

ビートB「うおっ！」

スタッグB「ぬあっ！」

フォーゼ「うわあ！」

メテオ「ぐっ！」

シルバはゴーバスターズ5人とフォーゼ、メテオに一瞬で狙撃し、攻撃を受けた7人は倒れる。

フォーゼ「は・・・」

メテオ「早い！」

レッドB「く・・・流石バイオマンの宿敵だった奴だな・・・」

フォーゼ「だったらコレだ！」

FD『ホッピング』

レッドB「俺もいくぞ！」

ビヨーン！ビヨーン！

ギョーン！ギョーン！

フォーゼはホッピングモジュール、レッドバスターは高速移動でシルバを攪乱させようとする。

シルバ「ライダー粒子、戦隊粒子反応あり！」

ズドンッ！ズドンッ！

フォーゼ「ぐわっ！」

レッドB「うわっ！」

シルバはフォーゼとレッドバスターに狙撃し、命中させた。

メテオ「弦太郎！」

イエローB「そんな・・・ヒロムの高速移動が通用しないなんて・・・！」

ビートB「奴はロボットだから動きを先読みする事が簡単にできるんだらうな・・・」

ブルーB「だったら！」

ブルーバスターはシルバに向かって走る。

イエローB「リュウさん!？」

シルバ「戦隊粒子反応あり！」

ズドンッ！ズドンッ！

シルバはブルーバスターに発砲する！

ブルーB「はあっ！」

ドゴオオオン！ガゴオオッ！

ドンッドンッ！

ブルーバスターは拳を地面に突き刺し、地面を持ち上げ大地の盾で、シルバの攻撃を防ぐ。

シルバ「ッ!？」

ビートB「でかしたリュウジ！ヨーコちゃん、メテオ！」

イエローB「はい！」

メテオ「あの時のお返しだ！」

MD『メテオ・リミットブレイク！』

ズダアン！

イエローバスターとメテオはジャンプしてブルーバスターを跳び越える！

イエローB「ラビットキック！」

メテオ「メテオストライク！」

ドゴオオオン！ズザアアア！

イエローバスターとメテオのダブルキックでシルバに攻撃し、命中するが防御して倒れず、シルバはメテオとイエローバスターに狙いを定めて引き金を引く！！

シルバ「破壊！」

ズドンッ！ズドンッ！

メテオ「ぐわっ！」

イエローB「きやつ！」

シルバ「貴様らの動きはお見通しだ！」

ビートB「そいつはどうかね！」

スタッグB「俺達を忘れては困る！」

ジャギイイインッ！！

シルバ「ぐおっ!?!」

ビートバスターとスタッグバスターは隙をみて、ドライブブレードで同時にシルバに攻撃する。

レッドB「リュウさん！ヨーコ！パワードカスタムだ！」

イエローB「了解！ウサダ！」

ウサダ「やっと思番だね！ヨーコ！」

ブルーB「ゴリサキ！」

ゴリサキ「いこう！リュウジ！」

レッドB「ニック！」

ニック「パワーアップだ！ヒロム！」

ガチャッ！！

CB『Set! Are you ready?』

MB 『Its、Morphine Time!』

3人はGBカスタムバイザーを取り出し、モーフィングブレスと合体させる!

フォーゼ「流星、俺たちもいくぜ!」

メテオ「ああ!」

ガチャンツ!!

フォーゼはコズミックスイッチ、メテオはメテオストームスイッチを取り出しセットする!

コズミックスイッチ『Cosmic!』

メテオストームスイッチ『Meteo Storm!』

レッドB・ブルーB・イエローB「パワーアップモーフイン!」

ジャキイン!

FD『Cosmic on』

MD『Meteo on ready?』

ギョオオオン!

フォーゼC「皆の絆で宇宙を掴む!!」

メテオS「俺の運命は嵐を呼ぶぜ!!」

レッドバスター、ブルーバスター、イエローバスターはパワードカスタム、フォーゼはコズミックステイツ、メテオはメテオストームに強化変身する!

シルバ「姿が変わったから何だというのだ!」

レッドBP「いくぞ!シルバ!」

ドギョーンツ!

レッドバスター・パワードカスタムは姿を消す。

シルバ「また高速移動か・・・無駄だとわからないか!」

ズドンツ!ズドンツ!

ヒュンツヒュンツ

シルバは発砲するが、レッドバスター・パワードカスタムに当たらない。

シルバ「なんだと!?さつきよりスピードが速くなって!?!」

レッドBP「ニツクが言っただろ!パワーアップだつて!ボルカ

ニツクアタック！」

ドゴオオオンツ!!

シルバ「ぐおっ！」

レッドバスター・パワードカスタムは『ボルカニツクアタック』でシルバに攻撃する！

フォーゼC「そして俺達もパワーアップしてんだ！ライダーキイイック！」

ドゴオオオン!!

シルバ「がっ！」

そしてフォーゼ・コスミックステイツも『ライダーキック』で攻撃する！

ブルーBP「まだまだだ！ゴリラージパンチ！」

ドゴオオオン！

シルバ「ぐわあ！」

イエローBP「次は私！」

ビヨオオオン！

ブルーバスター・パワードカスタムはシルバを上空へ吹っ飛ばし、イエローバスター・パワードカスタムはシルバに向かってジャンプする！

シルバ「調子に乗るな！」

ズドンツ！ズドンツ！

シルバはイエローバスター・パワードカスタムに発砲する！

イエローBP「ハッ！」

ビヨオオオンツ!!

ヒュンツヒュンツ

シルバ「ッ!？」

イエローバスター・パワードカスタムは空中で更にジャンプしてシルバの攻撃を回避する！

イエローBP「パワードラビットキック！」

ドゴオオオン！

シルバ「ぐおっ！」

ヒュウウウツ!!

パワードラビットキックを受けたシルバは勢いよく地面に降下する!

ビートB「いくぜ!J、メテオ!」

スタッグB「了解!」

メテオS「こいつも受けてみる!」

ガチャンツ!!

ビートバスターとスタッグバスターはモーフインブラスターを手に取り、メテオストームはメテオストームスイッチをメテオシャフトにセツトする!

モーフインブラスター『Boost up for butter

!Come on!』

メテオシャフト『Limit break!』

ビートB・スタッグB「ハッ!」

メテオS「メテオストームパニツシャー!」

ズドオオオンツ!!

ギユオオオンツ!!

ドゴオオオンツ!!

シルバ「ぐわあああつ!!」

ズザアアア!

ビートバスターとスタッグバスターの『グリッターアサルト』とメテオストームの『メテオストームパニツシャー』の同時攻撃でシルバに更にダメージを与える!

レッドBP「これで止めだ!ライオブラスター!」

フォーゼC「よっしゃあ!バリズンソード!」

レッドバスター・パワードカスタムはライオブラスター、フォーゼ・

コズミックスティツはバリズンソードを手に取る!

シルバ「くっ・・・!」

ガチャンツ!!

レッドBP「ライオブラスター・ファイナルモード!」

フォーゼC「抜いて、挿す!」

レッドバスター・パワードカスタムはソウガンブレードとライオブラスターを合体させ、フォーゼ・コスミックステイツはバリズンソードにコスミックスイッチをセットする！

ライオブラスターF『It's for final butter
!』

バリズンソード『limit break!』

レッドBP 『ファイナル・ライオ・ブリングバースト!!』

フォーゼC 『ライダー超銀河フィニッシュ!!』

ズドオオオンツ!!

ズバアアアツ!!

シルバ「く・・・くそおおっ!!」

ズドオオオンツ!!

『ファイナル・ライオ・ブリングバースト』と『ライダー超銀河フィニッシュ』の同時攻撃を受けたシルバは撃破される。

フォーゼC 『やったぜ!』

レッドBP 『まだ戦いは終わってない。次へいくぞ。』

く 仮面ライダー1号・2号&秘密戦隊ゴレンジャーく

2号 『ライダーパンチ!』

キ 『どおすこおい!』

ガシィツ!!

黒十字王は2人のパンチを防ぐ。

黒十字王 『フンツ』

ブンツ!!

2号 『うおっ!』

キ 『なんて奴たい・・・』

1号 『一文字たちの攻撃を簡単に防ぐとは・・・』

アカ 『昔、俺たちが戦った時よりも強い・・・!』

黒十字王 『どうしたゴレンジャー、仮面ライダー? 元祖ヒーローの力を見せてみる!』

ミド「ニューミドメラン！」

アオ「ウルトラブルーチェリー！」

ヒュルルルル！

バシユウウンツ！

ガキイインツ！！

黒十字王はニューミドメランとウルトラブルーチェリーの矢を弾く！

黒十字「フハハハッ！無駄だ・・・」

ズドオオオン！

黒十字王「ぐおっ！」

モモ「今のは効いたでしょう！」

黒十字王はモモレンジャーのイヤリング爆弾をまともに受けて、膝を崩す。

アカ「モモ！ゴレンジャーハリケーンだ！」

モモ「OK！いくわよ！」

モモレンジャーはゴレンジャーハリケーンを取り出す！

アカ「ゴレンジャーハリケーン！エネルギー弾！」

黒十字王「くっ・・・！させるか！」

ガシイッ！！

1号「邪魔はさせん！」

2号「ゴレンジャー！俺たちが押さえてる間に！」

黒十字王「は・・・離せ！」

1号と2号は黒十字王が身動きが出来ないように両腕を掴む！

アカ「よし！アタック！」

モモ「いくわよ！キィー！」

ブオオンツ！

キ「任せんしやい！ミドオー！」

ドゴオオオ！

ミド「アオー！」

ドゴオオオオンツ！

アオ「といやつ！」

ガシイツ！ドスツ！

アオ「アカツ！」

アカ「OK！エンドボール！」

ドゴオオオンツ！！

アカレンジャーが蹴ったゴレンジャーハリケーンはエネルギー弾に変化し、黒十字王に向かう！

2号「本郷！」

1号「おう！」

ズダアン！

ズドオオオンツ！！

黒十字王「ぐああっ！」

ズザアアア！

1号と2号は高くジャンプし、エネルギー弾は黒十字王に命中する

！

キ「しぶとい奴たい！」

1号「アカレンジャー、一緒に止めを！」

アカ「よし！黒十字王、これで最後だ！」

2号「いくぞ！」

1号・2号・アカ「「とおっ！」」

ズダアアアンツ！！

1号、2号、アカレンジャーの3人は高くジャンプする！

1号・2号・アカ「「ライダー・レッドトリプルキイック！！」」

ドガアアアアツ！！

黒十字王「うわああああっ！！」

ドガアアアアンツ！！

3人のトリプルキックで黒十字王を撃破した！

アカ「やったな1号！」

1号「ああ！」

ゴゴゴゴゴツ！！

2号「な・・・なんだ!？」

すると突然、大地が揺れ始める。

）次回へ続く）

38話 やっかいな奴

ゴゴゴゴゴツ!!

突然、大地が揺れ始めた!

ゴークイ赤「な、なんだあ!?!」

ゴークイ銀「地震ですか!?!」

デイケイド「いや、違う・・・!これは!」

ズガアアアアンツ!!

???'『うおおおっ!!』

すると大地からマントを着けた鉄の巨人が現れた!その身長は40m以上はある。

ゴークイ緑「な・・・何アレ!?!」

X「アイツはキングダーク!?!創世王は奴まで復活させたのか!」

デイエンド「やっかいな奴まで復活させちゃって・・・」

バチバチツ!

キングダークの両手が発光する。

アカ「まずい!」

1号「皆、避ける!」

キングダーク『ハアツ!』

ビイイイイツ!!

キングダークはスーパーヒーロー達に光線を放つ!

ズドオオオンツ!!ズドオオオンツ!!ズドオオオンツ!!

スーパーヒーロー『うわああああっ!』

キングダークが放った光線でスーパーヒーロー達は次々と吹っ飛ばされる!

レッドB「皆、キングダークは俺たちに任せてくれ!」

ビートB「頼んだぞ!ヒロム!」

レッドB「はい!いくぞ!」

ブルーB「了解!」

イエローB「了解!」

くエネルギー管理局特命部く

黒木「CB―01、GT―02、RH―03発進！」

ブオオオオオンツ!!

ブオオオオオオンツ!!

バララララララツ!!

く採石場く

レッドバスター、ブルーバスター、イエローバスターの3人は発進されたバスターマシンに乗り込む!

レッドB「いくぞ!ニツク!」

ニツク「おう!歴代のスーパ―戦隊や仮面ライダー達にいいとこ見せないとな!」

レッドB「コンバイン・オペレーション!」

ガシヤンツ!ガシヤンツ!

レッドB「特命合体!」

レッドB・ブルーB・イエローB「ゴ―バスターオー!Lead
y go!」

3つのバスターマシンは合体し、巨大ロボ『ゴ―バスターオー』となり、キングダークとの戦闘を開始する!

ズシインツ!ズシインツ!

キングダーク『うおおおおっ!』

レッドB「ハアツ!」

ガキイイインツ!!

ゴ―カイ赤「キングダークはゴ―バスターズに任せて俺たちは残りの奴等を・・・」

???「やあ、マベちゃん」

ゴ―カイ赤「ツ!!」

ゴ―カイ青「バスコ!」

ゴ―カイ黄「あんたも復活してたの!」

ゴ―カイ緑「また、やっかいなのが現れた!」

ゴ―カイ桃「ええ、本当に・・・!」

ゴ―カイジャー達の前に現れたのはかつてゴ―カイレッドが倒したバスコだった。

バスコ「まあ、創世王さんが親切に復活させてくれたんだ。」

デイエンド「バスコってマーベラスが言ってた……」

キバーラ（夏）「誰ですか?」

ゴーカイ銀「マーベラスさんに倒されたマーベラスさんの宿敵です！」

バスコ「そうそう、創世主さんはついでのいいものをくれたんだ。」

バスコは五本のレンジャーキーを取り出した。

ゴーカイ赤「レンジャーキーだど!」

バスコは5本のレンジャーキーをラツパラツターに挿してラツパラツターを吹く。

パ〜ラ〜パラパ〜!

バスコは5人の戦士を召喚した!

ゴーカイ銀「あ……アイツらは邪電戦隊ネジレンジャー!」

ゴーカイ青「鎧、なんだアイツらは?」

ゴーカイ銀「奴等はメガレンジャーさん達が戦った悪の組織『ネジレンジャー』が作った悪の戦隊です……メガレンジャーさん達は奴等を倒すのに相当苦労したんです!」

ゴーカイ赤「戦隊もどきって事か……」

デイエンド「バスコとネジレンジャーは僕に任せてもらおうかな。」

デイケイド「じゃあ、任せた。」

ゴーカイ桃「え!」

ゴーカイ緑「大丈夫なの!」

ゴーカイ青「ネジレンジャーの実力は知らないがバスコはかなり強いぞ……」

ゴーカイ黄「策でもあるの?」

デイエンド「まあね。」

デイケイド「いくぜ、ゴーカイジャー!」

ゴーカイ赤「おう!」

デイエンド「さあ、早く行きたまえ!」

ゴーカイジャーとデイケイドとキバーラ（夏海）はその場から離れる。

バスコ「キミ一人で俺たちを相手する気？」

デイエンド「最近手に入れたお宝を試すいい機会だと思ってね」
ガシャンッ!

デイエンドはカードをデイエンドライダーにセットする。

デイエンドライダー『カメンライド』

ギユイン ギユイン

デイエンドライダー『ゴライダー!』

ズドンッ!

デイエンドは5人のライダーを召喚する!

アカライダー「アカライダー!」

アオライダー「アオライダー!」

キラライダー「キラライダー!」

ミドライダー「ミドライダー!」

モモライダー「モモライダー!」

アカライダー「仮面戦隊!」

ゴライダー「[[[[ゴライダー!]]]]」

ズドオオオンッ!!

〜次回へ続く〜

39話 仮面戦隊ゴライダーVS邪電戦隊ネジレンジャー

アカライダー「仮面戦隊！」

ゴライダー「「「ゴライダー！」「」」

ズドオオオンツ！！

バスコ「何それ!?戦隊なのかライダーなのか分かんないな！」

デイエンド「どっちでもいいだろう?だってキミは僕に倒されるんだから」

ズドンツ!ズドンツ!

ガキインツ!ガキインツ!

デイエンドはバスコに狙撃するがバスコはカリソードで銃弾を防ぐ。

バスコ「すごい自信だね・・・」

デイエンド「始めようか・・・」

バスコ「いけ!ネジレンジャー!」

デイエンド「いけ!ゴライダー!」

ネジレンジャー「「「うおおおっ!」「」」

ゴライダー「「「はああああっ!」「」」

ドガツ!バキツ!ドガツ!

デイエンドが召喚したゴライダーとバスコが召喚したネジレンジャーの対決が始まり、デイエンドとバスコの対決が始まる!

仮面戦隊ゴライダーVS邪電戦隊ネジレンジャー

ネジブラック「ネジロッド!」

ミドライダー「ミドライダーチョップ!」

ガキイン!

ミドライダーはチョップでネジブラックの攻撃を防ぎ、ネジロッドを奪う!

ミドライダー「使わせてもらおうぞ!」

ドガッ！バキッ！

ネジブラック「ぐあっ！」

ミドライダーは奪ったネジロッドで攻撃する！

ブンッ

グググッ

ミドライダーはネジロッドを放り投げ、右手に力を込める。

ミドライダー「ミドライダーパンチ！」

ドゴオオンッ！！

ネジブラック「ぐわああっ！！」

ネジブラックはミドライダーのミドライダーパンチをまともに受

け、吹っ飛ぶ！

ネジピンク「ネジアロー！」

ビュンッ！ビュンッ！

モモライダー「モモライダージャアンプ！」

ズダアアン！

ズドオオン！

モモライダーはネジピンクの放った矢をジャンプで回避する！

モモライダー「いくわよ！モモライダーフライングチョップ！」

ドゴオオン！

ネジピンク「うあああっ！」

モモライダーのモモライダーフライングチョップを受けたネジピ

ンクは吹っ飛ばされる！

ネジイエロー「ネジスリング！」

ズドオオン！ズドオオン！

キラライダー「よっ！ほっ！」

ヒョイッ！ヒョイッ！

キラライダーはネジイエローのネジスリングの攻撃を次々と回避する。

キラライダー「どうした？こっちだぜ！」

ネジイエロー「くっ・・・！チョコマカと！」

キラライダー「来ないならこっちからいくぜ！」

ガシッ!

キライダーはネジイエローを捕まえる。

ネジイエロー「離せ!」

キライダー「望み通り離してやるよ!」

グウンッ

キライダーはネジイエローを持ち上げる!

キライダー「キライダーきりもみシユート!」

ブウウウンッ!

ネジイエロー「うわあああつ!」

キライダーはキライダーきりもみシユートでネジイエローを投げ

飛ばす!

ネジブルー「ネジトマホーク!」

ブンッ!ブンッ!

アオライダー「おっと!」

ネジブルーはネジトマホークでアオライダーに攻撃するがアオラ

イダーは回避する。

ネジブルー「このっ!」

ガシッ!

ネジブルー「何っ!?!」

アオライダーはネジトマホークを白刃取りでネジブルーの攻撃を

防ぐ。

アオライダー「次は俺の番だ!」

ドゴッ!ドゴッ!ドゴッ!ドゴッ!

アオライダーはネジブルーに何度もパンチする!

ネジブルー「ぐ・・・調子に乗るな!」

ブンッ!

ネジブルーはアオライダーに攻撃するがこれも回避される。

アオライダー「アオライダーパンチ!」

ドゴオオン!

ネジブルー「があああつ!」

アオライダーのアオライダーパンチを受けたネジブルーは吹っ飛

ぶ！

アカライダー「はああああ！」

ネジレット「うおおおお！」

ドガアンツ!!

アカライダーとネジレットの拳が激突する！

アカライダー「この程度か！」

ネジレット「貴様・・・！」

ジャキイン！

ネジレットはネジソードを手に取り、アカライダーに攻撃する！

ビュンツ！ビュンツ！

アカライダーはネジレットの攻撃を回避する。

アカライダー「アカライダーチョップ！」

ドゴオツ！

ネジレット「がっ!？」

ガシャンツ

ネジレットはアカライダーに右手首にチョップされ、ネジソードを

落としてしまう。

アカライダー「とおっ！」

トガアツ！

ネジレット「ぐあっ！」

アカライダーは回し蹴りでネジレットを吹っ飛ばす！

ネジレット「くそ！」

アカライダー「まだだ！アカライダースクリューキック!!」

ギュルルツ！ドガアンツ！

ネジレット「ごああっ!!」

アカライダースクリューキックを受けたネジレットは更に吹っ飛

ばされる！

ズザアアアツ！

ネジレット「くっ・・・！」

ネジブルー「くそ！」

ネジイエロー「ハアハア・・・！」

ネジブラック「こんな奴らに・・・！」

ネジピンク「私たちが・・・」

ネジレンジャーは一ヶ所に集まり、アカライダーの所に残りのゴライダーが集まる！

アカライダー「皆、いくぞ！」

アオリダー「よし！」

キライダー「止めだ！」

ミドリイダー「ゴライダーの必殺技！」

モモライダー「受けてみなさい！」

ズダアアアンツ!!

ゴライダーは高くジャンプする！

ゴライダー「[[[[ゴライダーキック!!]]]]」

ドゴオオオオンツ!!

ネジレンジャー「[[[[ぐわあああつ!!]]]]」

ズドオオオオンツ!!

ゴライダーの『ゴライダーキック』を受けたネジレンジャーは撃破された！

アカライダー「さらばだ・・・ネジレンジャー・・・」

40話 仮面ライダーディエンドVSバスコ

ディエンド「はあっ！」

ズドンッ！ズドンッ！

バスコ「フンッ！」

ギインッ！ギインッ！

ディエンドはバスコに狙撃するが、バスコはカリソードで防ぎ、カリソードをカリブラスターに変形させてディエンドに狙撃する！

バスコ「はあっ！」

ズドンッ！

ディエンド「おっと！」

ビュンッ！

ディエンドはバスコの攻撃を回避し、カードを取り出し、ディエンドライバーにセットする。

ガシャンッ！

ディエンドライバー『カメンライド』

ギユイン・・・ギユイン・・・

ディエンド「兵隊さん、いつてらっしやい！」

バンッ！

ディエンドライバー『ライオトルーパー！』

ライオトルーパー「はあっ！」

ディエンドはライオトルーパー3人を召喚し、ライオトルーパーはバスコにアクセレイガン・剣モードで攻撃を仕掛ける！

バスコ「よっと！」

ギインッ！ギインッ！ギインッ！

バスコはライオトルーパー3人の攻撃をカリソードで防ぐ！

バスコ「邪魔だよ！」

ズバアアアッ！

ライオトルーパー「うわあああっ！」

ズドオオオオンッ！！

バスコはライオトルーパー3人をまとめて斬り、撃破する！

バスコ「今度はコッチの番だ！」

ズバアアアッ！

バスコはデイエンドに斬撃破を飛ばす！

デイエンド「ちっ！」

ガシャンッ！

デイエンドライダー『アタックライド・バリア！』

ズドンッ！

ガギイイインッ！！

デイエンドはバスコの斬撃破をバリアで防ぐ！

デイエンド「これならどうかな！」

ガシャンッ！ガシャンッ！

デイエンドライダー『カメンライド・コーカサス！』『カメンライド・

オーガ！』

バンッ！

ヘラクレス「フンッ！」

オーガ「はあっ！」

ドガッ！

ジャキインッ！

バスコ「うおっ！」

デイエンドが召喚したコーカサスとオーガはバスコに攻撃する！

デイエンド「まだまだいくよ！」

デイエンドライダー『アタックライド・ブラスト！』

ズドドドドンッ！

バスコ「がっ！」

デイエンド「マーベラスの宿敵って鎧君が言っていたけど大したこ

とないね。」

バスコ「言ってくれるね！」

ズバアアアッ！

ヘラクレス「ぐわああああっ！」

オーガ「がああああっ！」

ズドオオオオンッ！！

バスコに斬られたヘコーカサスとオーガは撃破され、バスコはディエンドに向かって走る！

バスコ「お返しだよ！」

ジャキインツ！

ディエンド「ぐわっ！」

バスコの攻撃を受けたディエンドは吹っ飛ばされる！

ズザアアアツ！

バスコ「終わりだよ！」

ディエンド「くっ・・・！」

バスコがディエンドに止めを刺そうとしたその時！

アカライダー「させるか！アカライダーキック！」

バスコ「っ!?!」

ドゴオオオオツ！

ズザアアアツ！

アカライダーの『アカライダーキック』をバスコは防御して防ぐ！

アカライダー「遅れてすまない！」

ディエンド「いや、グッドタイムングだよ。」

バスコ「あれ、ネジレンジャーは？」

アオライダー「奴らなら俺たちが倒した！」

バスコ「ちっ・・・役に立たない連中だな！」

ズバアアアツ！

バスコはディエンドにカリブレイク（遠距離）を飛ばす！

アカライダー「皆！ゴライダータワーだ！」

アオライダー「おう！」

キラライダー「任せろ！」

ミドライダー「よし！」

モモライダー「了解！」

ゴライダーはやぐらを組み、バリアを出現させる！

ガギイイインツ!!

バリア「またバリアか!?!」

ディエンド「ただ防ぐバリアじゃないよ！自分自身の攻撃を味わい

たまえ！」

ゴライダー「「「はっ！」「」」

ズバアアアッ！

バスコ「何っ!？」

ゴライダーはバスコのカリブレイクを跳ね返す！

ズドオオオオンツ!!

バスコ「ぐわああああっ！」

跳ね返されたカリブレイクを受けたバスコは吹っ飛ぶ！

ズザアアアッ！

バスコ「はあ・・・はあ・・・！」

バスコは体力を消耗し、地面に膝をつく。

デイエンド「さあ、いくよ！」

ガシャンツ！

デイエンドライダー『アタックライド・イリユージョン！』

バンツ！

デイエンドは『アタックライド・イリユージョン』で4人の分身を召喚し、バスコを囲む！

バスコ「デイエンドが5人に!？」

デイエンド「マーベラスの次は僕が君をあの世へ送ってあげるよ。」
ガシャンツ！

5人のデイエンドはデイエンドライダーに黄色のカードをセットする！

デイエンドライダー『『『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・

デイ・デイエンド!』『』』

デイエンド「「「はっ！」「」」

ズドオオオオンツ!!

ズドドドドオンツ!!

バスコ「がああああっ!!」

5方向からの『デイメンションシユート』なのでバスコには逃げ場がなく、まともに受けてしまう！

バスコ「・・・復活してすぐ成仏か・・・ついてないな・・・」

ドガアアアアンツ!!

5人のデイエンドの『デイメンションシユート』
を受けたバスコは倒れ、爆発する!

「デイエンド「ご苦労様。」

役目を終えたゴライダーとデイエンドの分身は消滅する。

「デイエンド「さて、士とマーベラス達の手伝いに行ってくるか。」

〜次回へ続く〜

41話 因縁の対決 前編

く仮面ライダーデイケイド&海賊戦隊ゴーカイジャーく

デイケイド「はっ！」

ジャキインツ！

ゴーミン「ゴゴオツ!？」

ゴーカイ赤「おらっ！」

ザシユウツ！

戦闘員「イーツ!？」

デイケイドとキバーラ（夏）、そしてゴーカイジャー達はゴーミンや戦闘員を次々と片付ける。

ゴーカイ青「まだまだいるな・・・」

ゴーカイ銀「中には手強い奴もいますからね・・・」

????「ゴーカイジャーよ!？」

????「次は我らが相手をしてやる!？」

ゴーカイジャー達とデイケイドとキバーラ（夏）は声がした方向を見る。

ゴーカイ黄「アクロス・ギルとワルズ・ギル!!」

アクロス「宇宙海賊共よ!？」

ワルズ「あの時の恨みを晴らしてやる!？」

デイケイド「お前らあの親子にかなり恨まれてるな。」

ゴーカイ赤「完全な逆恨みだけだな。」

キバーラ（夏）「特にあの父親は強そうですね。」

ゴーカイ桃「気をつけてください。アクロス・ギルはザンギヤツクの帝王ですから。」

デイケイド「息子の方はどうなんだ?？」

ゴーカイ青「ワルズ・ギル自身とは戦ったことはない。」

ゴーカイ緑「アイツの自慢のロボットとは戦ったことはあるけど・・・」

ゴーカイ赤「まあ、これだけはハッキリ言える。アイツはバカだ。」
ワルズ「キャプテン・マーベラス! 貴様あ!？」

デイエンド「確かに頭は悪そうだね。」

ゴーカイジャー達はバスコと戦っていた筈のデイエンドが現れて驚く。

ゴーカイ銀「海東さん!?バスコを倒したんですか!？」

デイエンド「当然さ。」

デイケイド「どんな汚い手を使ったんだ？」

デイエンド「君に言われたくないね。」

キバーラ(夏)「二人共!喧嘩するんだったら光家秘伝の技を受けてもらいますよ!」

デイエンド「わ・・・わかったからアレはやめてくれ・・・(汗)」

ゴーカイ青「秘伝の技ってどんな技なんだ？」

ゴーカイ赤「気になるな・・・」

デイケイド「多分そのうち知る事になる・・・」

ワルズ「ええい!無視するな!」

ジャキイツ!

ワルズ「え?」

デイケイドとゴーカイレッドはワルズ・ギルに銃口を向け、引き金を引く。

ズドドドン!

ワルズ「うががあ!？」

アクドス「ワルズ!」

ワルズ・ギルは弾丸の雨を浴び、地面に膝をつく。

デイケイド「悪い、隙だらけだったんでな。」

ゴーカイ赤「やっぱりバカだな。」

キバーラ(夏)「この二人・・・似てますね・・・(汗)」

ゴーカイ桃「ええ・・・本当に・・・(汗)」

ワルズ「あ・・・悪魔か!?お前らは!？」

デイケイド「悪魔と呼ばれるのは久しぶりだな。」

ゴーカイ赤「だったらお前をもう一度地獄へ落としてやるよ。」

ワルズ「そ・・・そんな脅しに屈すると思うな!(汗)」

ガタガタ

デイエンド「震えてるじゃないか。」
ジャキイツ!

ワルズ「!?」

デイエンドもワルズ・ギルに銃口を向けて引き金を引く。
ズドドドン!!

ワルズ「げげえっ!」

ワルズ・ギルは再び弾丸の雨を浴びた。

ゴーカイ銀「か・・・海東さん(汗)」

アクロス「貴様ら・・・よくも我が息子を・・・」

デイケイド「意外だな・・・その容姿で息子想いなんだな。」

デイエンド「確かにね。」

ゴーカイ赤「父親に似なくてよかったな。ワルズ・ギル!」

アクロス「き・・・貴様らあ!!」

ワルズ「父上を悪く言うなああ!!」

ゴーカイ緑「三人とも怒らせてどうすんのさ!?!」

ゴーカイ黄「挑発すんの上手すぎでしょ・・・」

キバーラ(夏)「本当にすみません・・・」

ゴーカイ青「来るぞ!マーベラス!」

アクロス「いくぞ!ワルズ!」

ワルズ「はい!父上!」

デイケイド「じゃあ、行くか!海東、夏みかん、ゴーカイジャー!!」

ゴーカイ赤「ああ!ド派手に行くぜ!」

9人とアクロス・ギル&ワルズ・ギル親子の対決が始まる!

42話 因縁の対決 中編

ワルズ「喰らえええ！」

アクトス「はあっ！」

ズドドドン！

デイケイド「変身！」

ゴーカイ銀「ゴーカイチェンジ！」

デイケイドライバー『カメンライド・スーパー！』

ゴーカイセルラー『デエカレンジヤアア！』

デイケイドはスーパー、ゴーカイシルバーはデカブレイクに変身する！

デイケイドライバー『アタックライド・パワーハンド！』

デカブレイク（鎧）「剛力拳パワーフィスト！」

Dスーパー「ふん！」

デカブレイク（鎧）「おりゃあ！」

ドゴオン！ガゴオオン！

ズドドドオン！

アクトス「なっ!？」

ワルズ「なにい!？」

デイケイド・スーパーとデカブレイク（鎧）は地面をひっくり返し、地面の盾で親子二人の攻撃を防ぐ！

デイケイドライバー『アタックライド・エレキハンド！』

デカブレイク（鎧）「電撃拳エレクトロフィスト！」

Dスーパー・デカブレイク（鎧）「ハッ！」

バリバリバリイ!!

アクトス「うがあっ！」

ワルズ「し・・・痺れるう！」

二人の電撃攻撃を受けたアクトス・ギルとワルズ・ギルは体が痺れて動けなくなり、デイケイド・スーパーはアクトス・ギルに、デカブレイク（鎧）はワルズ・ギルに攻撃を仕掛ける！

Dスーパー「はっ！たっ！はあっ！」

デカブレイク（鎧）「おりや！てりや！どりやあ！」

ドガツ！ドゴツ！バキツ！バコオツ！

アクトス「グガアツ！」

ワルズ「ぐえっ！」

Dスーパー「まだまだいくぜ！変身！」

ゴーカイ黄・桃「『ゴーカイチェンジ！』」

ディケイドライバー『カメンライド・ZX！』

モバイレーツ『ハアアリケンジャアア！』

モバイレーツ『カアアクレンジャアア！』

ディケイド・スーパーはZX、ゴーカイイエローはハリケンイエロー、ゴーカイピンクはニンジャホワイトに変身する！

ディケイドライバー『アタックライド・マイクロチェーン！』

ジャラララッ！ガシィ！

アクトス「離せ！」

ワルズ「このお！」

ディケイド・ZXは両手の甲からマイクロチェーンを発射して二人を拘束し、そして……

ハリケンイエロー（ル）「疾風丸！」

ニンジャホワイト（ア）「隠れ丸！」

ジャキキンツ！！

アクトス「うあっ！」

ワルズ「があっ！」

ハリケンイエロー（ルカ）はアクトス・ギル、ニンジャホワイト（アイム）はワルズ・ギルに攻撃し、

更に……

キバーラ（夏）「光家秘伝・笑いのツボ！」

ズボッ！ズボッ！

アクトス「ふ……ふはははは？」

ワルズ「な……なんだこれは!? ふははは!!」

ハリケンイエロー（ル）「何したの？」

キバーラ（夏）「笑いが止まらなくなるツボを押したんです。」

ニンジャホワイト(ア)「さっき言っていた秘伝の技ってこの事だったんですね・・・(汗)」

デイエンド「攻撃を休めている場合かい？」

デイエンドライバー『カメンライド・フアム!』

『カメンライド・ラルク!』

バンツ!

デイエンドは女性仮面ライダーのフアムとラルクを召喚する。

キバーラ(夏)・フアム・ラルク「「はああっ!」」

ズバアアアッ!

アクトス「ぬう!」

ワルズ「ぐうっ!」

キバーラ(夏海)、フアム、ラルクは同時に攻撃する。

アクトス「ふうん!」

ズバアアアッ!

フアム・ラルク「うわああ!」

ズドオオオオッ!

アクトス・ギルはアクトスソードでフアムとラルクを斬り、撃破する。

キバーラ(夏)「くっ!」

デイエンド「さすがザンギヤツクの帝王だ!次はこれだ!」

D・ZX「変身!」

ゴーカイ青、緑「「ゴーカイチェンジ!」」

デイケイドライバー『カメンライド・ファイズ!』

デイケイドライバー『カメンライド・アビス!』

モバイレーツ『ガアアオレンジャアア!』

モバイレーツ『メエエガレンジャアア!』

デイエンドはアビスを召喚し、デイケイド・ZXはファイズ、ゴーカイグリーンはメガブラック、ゴーカイブルーはガオブルーに変身する!

ガオブルー(ジョ)「シャークカッター!」

アビスバイザー『ソードベント』
ジャキイ！シャキイン！

アクトス「くっ！」
ワルズ「うあっ！」

ガオブルー（ジョー）はアクトス・ギル、仮面ライダーアビスはワ
ルズ・ギルに攻撃し、その隙に・・・

デイケイドライバー『アタックライド・グランインパクト！』
メガブラック（ハ）「ライダーパンチ！」

ギョオオオン！

Dファイズ・メガブラック（ハ）「はあっ！！」
ドゴオオンツ！！

アクトス「ぐおおっ！」
ワルズ「ごほおっ！」

デイケイド・ファイズはワルズ・ギルに、メガブラック（ハカセ）は
アクトス・ギルに必殺パンチを喰らわせる！

Dファイズ「変身！」

ゴーカイ赤「ゴーカイチェンジ！」

デイケイドライバー『カメンライド・スカイライダー！』

モバイレーツ『ジエットマン！』

デイケイド・ファイズはスカイライダー、ゴーカイレッドはレッド
ホークに変身する！

ワルズ「く・・・これでも喰らえ！」

アクトス「はあっ！」
ズドドドオンツ！！

アクトス・ギルとワルズ・ギルは無数のエネルギー弾を放つ！

デイケイドライバー『アタックライド・セイリングジャンプ！』
レッドホーク（マ）「ジエットウイング！」

キイイイン！

デイケイド・スカイライダーとレッドホーク（マーベラス）は飛行
し、エネルギー弾を回避しながらアクトス・ギルとワルズ・ギルに向
かう！

デイクイドライバー『アタックライド・スカイドリル！』

レッドホーク(マ)「ウイングガントレット！」

Dスカイ「はあっ！」

レッドホーク「おりゃあっ！」

ギョルルルツ！ドゴオツ！！

ドゴオオソツ！！

アクドス「ぐうっ！」

ワルズ「がはっ！」

デイクイド・スカイライダーはアクドス・ギル、レッドホーク(マーベラス)はワルズ・ギルに攻撃する！

レッドホーク(マ)「まだまだいくぜ！ゴーカイチェンジ！」

Dスカイ「変身！」

モバイレーツ『ゴオオレンジャアア！』

デイクイドライバー『カメンライド・1号！』

レッドホーク(マーベラス)はアカレンジャー、デイクイド・スカイ

ライダーは仮面ライダー1号に変身する！

アカ(マ)「レッドビュート！」

ギョルルル！バシイッ！

アクドス「なっ！」

ワルズ「こ・・・この！」

アカレンジャー(マーベラス)はレッドビュートで二人を拘束する

！

アカ(マ)「デイクイド！」

D1号「任せろ！」

ガシャン！

デイクイドライバー『ファイナルアタックライド！』

D1号「はっ！」

ズダアアアッ！

デイクイド1号は高くジャンプする！

デイクイドライバー『イ・イ・イ・1号！』

D1号「たああああっ！！」

ドゴオオオンツ!!

アクトス「ぐおおおつ!!」

ワルズ「があああつ!!」

ズザアアアツ!!

デイケイド1号は『電光ライダーキック』で二人を吹っ飛ばす!

アクトス「はあ・・・はあ・・・」

ワルズ「ぜえ・・・ぜえ・・・」

二人は立ち上がったが、もうフラフラだ。

ゴーカイ赤「止めだ!」

デイケイド「俺達もいくぞ!」

デイエンド「よし!」

キバーラ(夏)「はい!」

アクトス「おのれ・・・!」

ワルズ「貴様ら・・・!」

ゴーカイ赤「ワルズ・ギル!アクトス・ギル!親子仲良くあの世へ行きやがれ!いくぜ、お前ら!」

ゴーカイ青「先輩の恨みを晴らさせてもらおうぞ!」

ゴーカイ黄「わたしの家族の恨みもね!」

ゴーカイ桃「私の故郷の恨みも!」

ゴーカイ緑「お前達なんて大嫌いだ!」

ゴーカイ銀「皆さん、いきますよ!」

ガシャンツ!

ゴーカイレッド達はゴーカイサーベルとゴーカイガン、ゴーカイシルバーはゴーカイスピア・ガンモードにレンジャーキーをセットし、デイケイドはライドブツカー・ガンモード、デイエンドはデイエンドライバーの銃口を向け、キバーラ(夏海)はキバーラサーベルにエネルギーを溜める!

ゴーカイサーベル・ゴーカイガン・ゴーカイスピア『フアアアイナルウエエブ!!』

デイケイドライバー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・デイケイド!』

デイエンドライダー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・デイ・デイ・デイ・デイ・デイ』
『デイエンド!』

ギユオオオン!!

ゴーカイ赤「スーパーヒーロースクランブル!!」

ゴーカイジャー・デイケイド・デイエンド・キバーラ（夏）『はあっ
!』

ズドオオオオンツ!!!

アクトス、ワルズ「「!!?」」

ズドドドオン!!!

ワルズ「ち・・・父上ええ!!」

アクトス「息子よおお!!」

ズドオオオオンツ!!!

アクトス・ギルとワルズ・ギルの親子二人はゴーカイジャーとデイケイド達の合体技『スーパーヒーロースクランブル』で撃破される!

ゴーカイ桃「す・・・すごい威力ですね!」

ゴーカイ緑「うん、自分でもビックリだよ!」

ゴーカイ青「ライダーと戦隊の合体技か・・・」

ゴーカイ黄「悪くないわね」

デイケイド「ま、俺のおかげだな」

デイエンド「いや、僕でしょ」

ゴーカイ赤「いや、俺だ」

ゴーカイ銀「マーベラスさん・・・(汗)」

キバーラ（夏）「三人とも!笑いのツボを押されたいんですか!」

デイケイド「や・・・やめろ!(汗)」

デイエンド「あれやられると顎が疲れるんだ!(汗)」

ゴーカイ赤「俺もかよ!?(汗)」

ゴーカイ黄「そりゃ そうでしょ・・・(汗)」

???「デイケイド!ゴーカイジャー!次は私が相手だ!」

デイケイド・ゴーカイ赤「あん?」

次回へ続く

43話 因縁の対決 後編

??? 「デイケイド！ゴーカイジャー！次は私が相手だ！」
デイケイド・ゴーカイ赤 「あん？」

9人は声がした方向を見る。

キバーラ（夏） 「あの人は・・・！」

声をかけたのは大シヨツカーの幹部のドクトルGだった。

デイケイド 「何だ・・・まだいたのか？」

ゴーカイ赤 「お前のことすっかり忘れてたぜ」

ドクトルG 「余裕の口もそこまでだ！ハアツ!!」

ピシャアアアン!!

カニレーザー 「カニカゝニ！」

ドクトルGは怪人カニレーザーに変身した！

デイエンド 「カニにはカニだ！」

ガシャン！

デイエンドライブ 『カメラライド・シザース！』

バンツ！

シザース 「はああっ！」

デイエンドはシザースを召喚し、シザースはカニレーザーに向かって走る！

カニレーザー 「はあっ！」

ビイイイ！ズドオン！

シザース 「ぐああっ!!」

ズドオオン!!

シザースはカニレーザーの放ったレーザーで撃破される！

デイエンド 「何!？」

カニレーザー 「次は貴様らだ！」

ビイイイイツ!!

ズドドドオン!!

ゴーカイ赤 「がっ！」

ゴーカイ青 「ぐっ！」

ゴーカイ黄「うあつ！」
ゴーカイ緑「だあつ！」
ゴーカイ桃「きやあつ！」
ゴーカイ銀「ぐあつ！」
カニレーザーのレーザーはゴーカイジャー達に命中する。
キバーラ（夏）「ゴーカイジャー！」
ディケイド「野郎っ！」
ディエンド「今度はこっちから行くよ！」
ディケイド達はカニレーザーに攻撃しようとするが・・・
カニレーザー「遅い！」
ビイイイツ!!
ズドドオン!!
ディケイド「ぐあつ！」
ディエンド「くっ！」
キバーラ（夏）「きやつ！」
ディケイド達もカニレーザーのレーザーを受けてしまい、倒れる。
ゴーカイ赤「厄介なレーザーだな・・・！」
ディケイド「近づけない・・・！」
カニレーザー「終わりだ！ディケイド！」
ビイイイツ!!
カニレーザーはディケイドにレーザーを放つ！
キバーラ（夏）「土くん！」
ディケイド「くっ！」
龍騎「させるか！」
ドラグバイザー『ガードベント』
ブレイラウザー『メタル』
ガギン！
龍騎がドラグシールド、ブレイドがメタルでレーザーを防ぐ！
ブレイド「大丈夫か、ディケイド!？」
ディケイド「ああ、助かったぜ」
カニレーザー「ええい、邪魔をするな！」

ゴセイレット「デイケイド！」

デイケイド「ゴセイジャー……！」
シュツ

ゴセイジャーとゴセイナイトが駆けつけ、ゴセイレット、ゴセイブルー、ゴセイブラック、ゴセイナイトがゴセイカードを取り出す。

ゴセイレット「ゴセイカードだ！使って！」

ゴセイレット達はゴセイカードをデイケイド達に投げ渡す。

ヒュルルル！パシィッ！

デイケイドはゴセイレットのカード、デイエンドはゴセイナイトのカード、龍騎はゴセイブラックのカード、ブレイドはゴセイブルーのカードを受け取る！

デイケイド「サンキュー！行くぜ、海東、ブレイド、龍騎！」

デイエンド「ああ！」

龍騎「しゃあっ！」

ブレイド「よしっ！」

デイケイドライバー『アタックライド・リフレクラウド！』

デイエンドライバー『アタックライド・リフレクリスタル！』

ブレイラウザー『リフレクリア』

ドラグバイザー『リフレクオーツベント』

デイケイド達は前後左右にカニレーザーを囲み、バリアを出現させる！

ビュオオオオッ！

シャキィンッ！

ザアアアッ！

ガキィンッ！

カニレーザー「無駄な事を……くたばれ！」

ビィィィィッ！！

ガギィンッ！！

カニレーザー「何っ!？」

デイケイド達のバリアはレーザーを防ぎ、そして……
ビィィィィッ！！

ズドオオオンツ!!

カニレーザー「があああつ!」

レーザーは跳ね返され、カニレーザーに命中する!

龍騎「今だ!」

ドラグバイザー『ファイナルベント』

ドラグレッダー「グオオオオツ!!」

ブレイド「ああ!」

ブレイラウザー『キック、サンダー、マツハ! ライトニングソニック!』

デイエンド「いくよ!」

デイエンドライバー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・

デイエンド!』

デイケイド「終わりだ!」

デイケイドライバー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・

デイケイド!』

ズダアアアンツ!!

4人は高くジャンプする!

カニレーザー「!!?」

龍騎「おりやあああつ!!」

ブレイド「ウエエエイツ!!」

デイエンド「たああああつ!!」

デイケイド「はああああつ!!」

ゴオオオオオツ! ドガアアアンツ!!

カニレーザー「ぐああああつ!!」

ズドオオオオオンツ!!

龍騎の『ドラゴンライダーキック』、ブレイドの『ライトニングソニック』、デイエンドの『ディメンションストライク』、デイケイドの『ディメンションキック』の同時攻撃を受けたカニレーザーは爆発する!

ゴオオオオオオツ

爆煙がなくなり、そこには帽子を被り、眼鏡をかけていた男性が立っていた。ドクトルGの正体はデイケイドの命を狙っている鳴滝だった。

デイケイド「鳴滝・・・」

鳴滝「全てを破壊し新たな何かを生み出すか・・・おのれデイケイド!!」

ズオオオオツ!

鳴滝は黒いオーロラを出現させる。

鳴滝「お前がいる限り私の旅も終わらない・・・!」

鳴滝は黒いオーロラに飲み込まれて消えた。

デイケイド「鳴滝・・・お前は一体・・・」

ゴーカイ黄「なんだったの、アイツ?」

キバラ(夏)「あの人は鳴滝といってなぜか土くんの命を狙ってるんです。」

ゴーカイ赤「何したんだ?」

デイケイド「さあな　むしろ教えてほしいくらいだ。」

ゴーカイ青「お前は知らないのか?」

デイエンド「僕も知らないよ　あの人は謎に包まれてるからね」

???「まだ戦いは終わってないぞ」

デイケイド・ゴーカイ赤「!?!」

次回へ続く

44話 ゴーバスターオーVSキングダーク

「ゴーバスターオーVSキングダーク」

キングダーク『ハアツ!!』

ドゴオン!

レッドバスター「ぐっ!」

ズシン、ズシン!

「ゴーバスターオーはキングダークのパンチを受け、よろけてしま
う。」

ブルーバスター「なんてパワーだ!」

イエローバスター「本当にやっかない奴!」

レッドバスター「お返しだ!」

ブオン!

「ゴーバスターオーはブレストバスターソードを振り下ろす!」

キングダーク『フンツ!』

ガシッ!

レッドバスター「なっ・・・!」

イエローバスター「嘘!」

ブルーバスター「白刃取り!」

キングダークは白刃取りで攻撃を防ぐ。

キングダーク『使わせてもらおうぞ!』

バツ!ドゴオンツ!!

「キングダークはゴーバスターオーのブレストバスターソードを奪
い、ゴーバスターオーを蹴っ飛ばす!」

レッドバスター「くっ・・・ソードが!」

キングダーク『貴様の剣の攻撃を受けるがいい!』

ジャギイインツ!!

「キングダークは奪ったブレストバスターソードでゴーバスター
オーに攻撃する!」

レッドバスター「ぐあっ!」

ブルーバスター「うあっ!」

イエローバスター「きやあつ！」

キングダーク『ハアツ!!』

ビイイイツ!!

キングダークは光線を放つ!

レッドバスター「ニツク！」

ニツク「よっしやあ！」

ズダアアアツツ!!ズドオン!!

ゴーバスターオーは高くジャンプして光線を回避する。

キングダーク『何ツ!?!』

レッドバスター「エクスプロージョンキツク！」

ゴオオオオオツ!!

ブンツ ガシヤアアン!

キングダーク『うおおお!!』

ブウウウン!!

キングダークはブーストバスターソードを放り投げ、ゴーバスターオーにパンチする!

ドゴオオオン!!

ゴーバスターオーのエクスプロージョンキツクとキングダークのパンチがぶつかり合う!

ズシイイン!ガシヤン!

ゴーバスターオーは地面に着地し、ブーストバスターソードを拾う。

キングダーク『この程度か!?!』

キングダークは平然としている。

ニツク「何て野郎だ！」

ウサダ「メチャクチャ 強いよアイツ！」

スゴーミン『『スゴオー!』『』』

すると巨大化したスゴーミンが数人現れた!

レッドバスター「スゴーミン!?!」

ブルーバスター「キングダークだけでもやっかいなのに！」

ゴリサキ「どうする、リュウジ!?!」

フアアアアアン!!

イエローバスター「見て、アレ!」

ゴーバスターオーのピンチにデンライナーとゼロライナーとNEWデンライナーが現れた!

ゼロノス「スゴーマンは俺達に任せろ! いくぞ、野上!」

電王(良)「うん! モモタロス!」

電王(モ)「おっしやあ! いくぜえ! 幸太郎も気合い入れろよ!」

NEW電王「わかつてるって!」

ズドドドオン!!

ギユオオオン!!

ズギユウウウン!!

スゴーマン『『スゴオー!?』』』

デンライナーとゼロライナーとNEWデンライナーはスゴーマン達に攻撃する!

ビートバスター「俺達もいるぜ!」

スタツグバスター「援護する!」

ガシャン! ガシャン!

そしてバスターヘラクレスも現れた!

ブルーバスター「先輩!」

イエローバスター「J!」

ビートバスター「ヒロム、奴は強い! 全力でいくぞ!」

レッドバスター「はい! いくぞ、キングダーク!」

キングダーク『一体増えようと同じ事だ! 来い!』

ズシン! ズシン!

ゴーバスターオーとバスターヘラクレスはキングダークとの戦闘を開始する!

次回へ続く

45話 最強の敵

??? 「まだ戦いは終わってないぞ」
デイケイド・ゴーカイ赤 「!?!」

皆は声がした方向へ向く。そこには赤いシャドームーン……創世主が立っていた。

ピリピリ……!

デイケイド 「創世王……!」

ゴーカイ赤 「とうとう出てきやがったな……!」

ブレイド 「な……なんて威圧感だ……!」

龍騎 「RXはこんな奴と戦ったのかよ……!」

デイエンド 「一番やつかいな奴だね……!」

ヒュウウウ! ザクウツ!

すると空からサタンサーベルが降りてきて地面に突き刺さり、創世王はサタンサーベルを手取る。

創世王 「いくぞ」

シュツ!

龍騎 「消えた!」

創世王 「フウンツ!!」

ドゴオンツ!!

龍騎 「があああっ!」

創世王は龍騎をパンチで吹っ飛ばす!

ブレイド 「龍騎!」

創世王 「次は貴様だ!」

ジャギイインツ!!

ブレイド 「ぐああっ!」

創世王はサタンサーベルでブレイドに攻撃する。

ゴセイレット 「龍騎!ブレイド!」

創世王 「ハアツ!!」

ビイイイ!!

ズドドドオン!!

ゴセイジャー『うわあああ!』

ゴセイナイト「ぐああつ!」

ゴセイジャーとゴセイナイトは光線を受けてしまい、倒れる。

ゴークイ赤「ゴセイジャー!」

創世王「次は貴様だ、デイケイド!」

デイケイド「くっ!」

ガギインツ!!

創世王はデイケイドに攻撃するが、デイケイドはライドブッカー・ソードモードでサタンサーベルの攻撃を防ぐ!

ギギギ・・・!

創世王「ほう・・・我が攻撃を防いだか・・・」

デイケイド「俺は世界の破壊者だからな・・・!」

ゴークイ赤「俺を忘れんじやねえよ!」

ブンツ!ガギインツ!!

ゴークイレッドはゴークイサーベルで攻撃するが創世王は左腕で防ぐ!

ゴークイ赤「なっ!?!」

創世王「ハアツ!!」

ジャギイイン!!

デイケイド・ゴークイ赤「ぐわああつ!」

創世王はサタンサーベルで二人に攻撃する!

キバーラ(夏)「土くん!」

ゴークイ桃「マーベラスさん!」

ゴークイ黄「二人共、いくよ!」

ゴークイサーベル『ファアイナルウエエブ!』

ギユオオオン!

三人の剣が発光する!

ゴークイ桃・黄「ゴークイスラッシュ!」

キバーラ(夏)「ソニックスタップ!」

ズバアアアツ!!

三人の斬撃破が創世王に向かう!

創世王「フンッ！」

ガギインツ!!

創世王はサタンサーベルで斬撃破を粉碎する。

ゴークカイ桃「え!？」

創世王「今度は我の番だ」

ビイイイ!!

ズドドドオン!!

ゴークカイ桃「きやあっ！」

ゴークカイ黄「ああっ！」

キバーラ（夏）「うあっ！」

創世王は光線を放ち、3人は光線を受けてしまい倒れる。

ゴークカイ緑「アイム！ルカ！」

ゴークカイ銀「夏海さん！」

ゴークカイ青「コイツ相当強いぞ！」

デイエンド「本当にやっかない奴だ！」

創世王「他人の心配をしてる場合か？」

ゴークカイ青「いくぞ！ハカセ、鎧！」

デイエンド「全力を出さなかったら死ぬと思ったほうがいいよ！」

ゴークカイ銀「はい！」

ゴークカイ緑「いくぞおお！」

創世主「来い」

4人は創世王に攻撃を仕掛ける！

ゴークカイ銀「おりやあ！」

ゴークカイ緑「だりやあ！」

ガギイン！

創世王「この程度か!？」

ジャギイイイン!!

ゴークカイ緑・銀「があああっ！」

創世王はゴークカイグリーンとゴークカイシルバーの攻撃を防ぎ、反撃

する！

ゴークカイ青「ソウルブレード！」

デイエンド「これならどうかな!？」

デイエンドライバー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ
エンド!』

ズバアアアツ!ズバアアアツ!

ズドオオオン!!

ゴーカイブルーとデイエンドは『ソウルブレード』と『デイメンション
シユート』の同時攻撃をするが・・・

創世王「ハアツ!!」

ズバアアアツ!!

ズドオオオン!!

ゴーカイ青「ぐわあ!」

デイエンド「うあ!」

創世王は斬撃破を飛ばし、『ソウルブレード』と『デイメンション
シユート』をかき消し、斬撃破はゴーカイブルーとデイエンドに命中
する!

創世王「どうした?終わりか?」

デイケイド「ぐ・・・!」

ゴーカイ赤「くそ・・・!」

創世王「終わりだ・・・!」

創世主はゴーカイジャーとデイケイド達に止めを刺そうとする。

???「ニさせるか!」

創世王「・・・!?!」

次回へ続く

46話 最強の力

??? 「「させるか!」」

創世王「・・・?」

1号「ライダーキック!」

アカ「レッドキック!」

RX「RXキック!」

ドゴオオオン!

ズザアアア!

1号、アカレンジャー、Black・RXの三人は創世王にトリプルキックをするが、防御されてしまう。

創世王「Black・・・いや、今はBlack・RXだったな・・・」

RX「創世王・・・!」

1号「大丈夫か、皆!」

アカ「危ないところだったな・・・!」

デイケイド「助かったぜ・・・!」

ゴークイ赤「とんでもねえ強さだぜ・・・アイツ・・・!」

アカ「鎧、少しいいか?」

ゴークイ銀「あ、ハイ」

アカ「キミのゴールドアンカーキーは歴代追加戦士の力を1つに纏める事をイメージする事でできるんだったよな?」

ゴークイ銀「ハイ、そうですけど・・・」

アカ「だつたらマーベラス、キミは歴代レッドの力を1つに纏める事をイメージするんだ。」

ゴークイ赤「歴代レッドの力を・・・!?そんな事考えてもみなかつたな・・・しかも俺は鎧のような力は無えし・・・」

アカ「いや、幻のレンジャーキーならば可能なはずだ!」

ゴークイ青「そうか!幻のレンジャーキーはなりたい戦隊戦士にイメージする事で変化するんだった!だつたら鎧のゴールドアンカーキーのように1つに纏める事もできるはず!」

ゴークイ黄「やってみる価値はあるわね!」

ゴーカイ桃「マーベラスさん！」

ゴーカイ緑「マーベラス！」

ゴーカイ銀「お願いします！」

ゴーカイ赤「やってみるか・・・多分、時間がかかるぜ？」

RX「だったら俺達が時間を稼ぐ！」

デイエンド「アカレンジャーとゴーカイジャーはマーベラスの護衛に専念するといい」

デイケイド「夏みかんも頼む！」

キバーラ（夏）「わかりました！」

デイケイド「変身！」

デイケイドライダー『カメンライド・Black！』

デイケイドは仮面ライダーBlackに変身した！

創世王「まだ抗うか・・・」

1号「いくぞ、皆！」

RX「はい！」

D・Black「とことん付き合ってもらうぜ！」

デイエンド「いくよ！」

ガシャン！ガシャン！

デイエンドライダー『カメンライド・デルタ！』『カメンライド・ドレイク！』

バン！

デイエンド「ハッ！」

ズドドドオン！

創世王「ぬうつ！」

デイエンドはデルタとドレイクを召喚し、三人は創世王に狙撃する。

1号「ライダーパンチ！」

デイケイドライダー『アタックライド・ライダーパンチ！』

1号、D・Black「ハアッ!!」

ドゴオオオン!!

創世王「ぐおっ！」

1号とデイケイド・Blackのダブルライダーパンチが創世王に命中する！

RX「リボルケイン！」

ジャキイン！ジャキイン！

創世王「うおっ！」

そしてBlack・RXはリボルケインで攻撃する！

創世王「ハッ！」

ジャキイン！

RX「うあ！」

1号「RX！」

創世王はサタンサーベルでRXに攻撃する！

デイエンド「まだかい!？」

ゴーカイ青「まだだ！もう少し時間を稼いでくれ！」

???「俺達も手伝うぞ！」

するとハイパー・シンケンレッド、ダブル・ゴールドエクストリーム、オーズ・スーパータトバ、フォーゼ・コズミツクスティツが駆けつけた！

D・Black「殿様か！」

Hシンケン赤「ああ！」

ゴーカイ緑「W！オーズ！フォーゼ！」

フォーゼC「おっしやあ！いくぜ先輩！」

W・Gエクス(翔)「おう！後輩！」

オーズ・Sタトバ「いくぞ！」

Sゴセイレッド「俺も手伝う！」

ゴセイレッドは立ち上がり、再びスーパーゴセイレッドに強化変身する！そして激しい攻防が始まる！

ギイン！ドガア！ズドン！ズバアツ！

そして、ゴーカイレッドの幻のレンジャーキーが強く発光する！

ピカアアアツ!!

そして幻のレンジャーキーは姿を変えた！

アカ「よし、成功だ！」

キバーラ（夏）「やった！」

ゴーカイ銀「何だこれ!? すごおお!!」

ゴーカイシルバーはそのレンジャーキーを見て、感激している。

ゴーカイ緑「鎧のゴールドアンカーキーに似てるね」

ゴーカイ桃「でも色が違います・・・赤いメタリックです！」

ゴーカイ黄「しかも付いてるのは歴代戦隊のエンブレムだよ！」

ゴーカイ青「レッドアンカーキーって奴か」

アカ「いや・・・名付けるなら・・・『レジェンドアンカーキー』っていうのはどうだ？」

ゴーカイ赤『『レジェンドアンカーキー』か・・・コイツは凄えお宝だ!』

ズドオオオン!!

Hシンケン赤「ぐわああっ！」

1号「うあ!」

オーズ・Sタトバ「があああっ！」

ゴーカイ青「丈瑠! 映司!」

アカ「1号!」

1号達は創世王の攻撃を受けて倒れ、デイケイドとデイエンドはゴーカイジャー達の所へ行く。

デイケイド「おい、成功したんならさっさと使ってくれ!」

デイエンド「皆、もう限界みたいだよ!」

ゴーカイ赤「待たせたな・・・いくぜ!」

ゴーカイ銀「俺もいきます!」

デイエンド「僕達もいこうか!」

デイケイド「ああ!」

ゴーカイシルバーは幻のレンジャーキーをゴールドアンカーキーに変化させ、デイケイドとデイエンドはケータッチを取り出す!

デイケイドケータッチ『クウガ、アギト、龍騎、ファイズ、ブレイド、響鬼、カブト、電王、キバ!』

デイエンドケータッチ『G4、リュウガ、オーガ、グレイブ、歌舞鬼、コーカサス、アーク、スカル!』

ゴーカイ銀「ゴーカイチェンジ！」
ゴーカイ赤「超・ゴーカイチェンジ！」
デイケイドケータツチ『ファイナルカメンライド・デイケイド！』
デイエンドケータツチ『ファイナルカメンライド・デイエンド！』
ゴーカイセルラー『ゴオオカイシルバー！ゴールドモオオド！！』
モバイレーツ『ゴオオカイレッド！レジェンドモオオド！』
デイエンドはコンプリートフォーム、デイケイドは最強コンプリートフォーム、ゴーカイシルバーはゴールドモード、ゴーカイレッドはレジェンドモードに強化変身した！
デイケイドCF「創世王！！」
ゴーカイ赤LM「本当の戦いはここからだ！！」

〈次回へ続く〉

47話 究極の対決

デイケイドCF「創世王！」

ゴーカイ赤LM「本当の戦いはここからだ！」

バツ！キイイン！

ゴーカイレッド・レジェンドモードは右手に赤いメタリックの槍を出現させる！

ゴーカイ赤LM「レジェンドアンカー！」

ジャキイン！

デイケイドCF「マーベラス、いくぞ！」

ゴーカイ赤LM「おう！」

創世王「姿が変わったから何だというのだ！」

ギイン！ギイン！ガギイン！ドガア！

デイケイド・最強コンプリートフォームとゴーカイレッド・レジェンドモードは創世王と激しい攻防をする！

デイエンドCF「撃ちまくるよ！」

ゴーカイ緑「うん！」

ゴーカイ桃「受けてください！」

ズドドドオン！！

創世王「ぬうっ！」

デイエンド・コンプリートフォーム、ゴーカイグリーン、ゴーカイピンクは創世主に狙撃し、弾丸を浴びせる。

ゴーカイ青「喰らえ！」

ブンッ！

ゴーカイブルーは二本のゴーカイサーベルを振り下ろす！

創世王「フンッ！」

ガギインッ！

ザクッ

ゴーカイ青「くっ！」

二本のゴーカイサーベルは遠くに弾かれ、地面に突き刺さる。

Hシンケン赤「ジョー！」

オーズ・Sタトバ「これを！」
ブンツ！パシイツ！」

ハイパーシンケンレッドはキョウリユウマル、オーズ・スーパータトバはメダジャリバーをゴーカイブルーに投げ渡す！

ゴーカイ青「助かる！」

ジャキイン！ジャキイン！

創世王「ぐおっ！」

ゴーカイブルーはキョウリユウマルとメダジャリバーの二刀流で攻撃する！

ゴーカイ黄「これも受けなさい！」

キバーラ（夏）「いきますよー！」

連結型ゴーカイサーベル『ファアイナルウエエブ！』

ギユオオオン！

ゴーカイ黄「ゴーカイツインスラツシュ！」

キバーラ（夏）「ソニックスタップ！」

ズバアアアツ！ズバアアアツ！

ズバアアアツ！

創世王「ぬうっ！」

ゴーカイ銀GM「まだまだ！ゴーカイレジェンドクラアアツシュ！！」

ドゴオオオン！！

創世王「ぐおおっ!？」

ゴーカイイエローとキバーラ（夏海）が攻撃した後、ゴーカイシルバー・ゴールドモードの必殺技、ゴーカイレジェンドクラツシュが創世王に命中する！

創世王「はあっ!!」

ビイイイイツ!!

ズドドドオン!!

ゴーカイ青「ぐあっ！」

ゴーカイ緑「うわっ！」

ゴーカイ黄「うあっ！」

ゴーカイ桃「きゃあっ!」

ゴーカイ銀GM「があっ!」

デイエンドCF「ぐっ!」

キバーラ(夏)「ああっ!」

7人は創世王の光線を受けてしまい、倒れる。

デイケイドCF「これならどうだ!」

デイケイドケータツチ『カメンライド・クウガ・ライジンググアルティ
メット』

ヴオン!

デイケイド・最強コンプリートフォームの左隣にクウガ・ライジン
グアルティメットが出現し、デイケイド・強化コンプリートフォーム
は右腰のデイケイドライダーにカードをセットする!

ガシャンツ!

デイケイドライダー『ファイナルアタックライド・ク・ク・ク・ク
ウガ』

デイケイドCF「喰らえ!」

ゴーカイ赤LM「こいつも受けてみる!炎の蠶!」

ゴオオオオ!!

創世王「ぐおおっ!?!」

デイケイド・最強コンプリートフォームとクウガ・ライジンググアル
ティメットの『パイロキネシス』とゴーカイレッド・レジエンドモー
ドの『炎の蠶』の同時攻撃を受けた創世王は怯む!

ゴーカイ銀GM「あれはギンガレットの技ですよ!ギンガレットに
変身してないのに!」

ゴーカイ赤LM「まだまだいくぜ!」

ゴーカイレッド・レジエンドモードはゴーカイサーベルを手に取る
!

ゴーカイ赤LM「サーベルストレート!」

ブオオオン!ジャキイインツ!!

創世王「ぐわああっ!」

更にゴーカイサーベルに炎が纏う!

ゴオオオオ!!

ゴークイ赤LM「火炎の舞！」

シュゴオオツ!!

創世王「ぬうっ！」

ゴークイ青「今度はゴークオンレッドと丈瑠の技か！」

ゴークイ黄「鎧のゴールドモードより凄いいじゃない！」

ゴークイ緑「うん！」

ゴークイ銀GM「二人とも酷い！けど、本当に凄いです！」

ゴークイ桃「これがレジエンドモードの力なんですわね！」

創世王「凶に乗るな！」

ゴークイ赤LM「おっと！」

ギユンツ！

ブンツ！

創世主「ちいっ！」

創世王はサタンサーベルで攻撃するがゴークイレッド・レジエンドモードはレッドバスターの高速移動で回避する。

デイクイドCF「次は俺の番だ！」

デイクイドケータッチ『カメンライド・電王・スーパークライマックス』

ヴォーン！

デイクイド最強コンプリートフォームの左隣に電王・超クライマックスフォームが出現し、デイクイド強化コンプリートフォームはデイクイドライバーにカードをセットする！

ガシャンツ！

デイクイドケータッチ『ファイナルアタックライド・デ・デ・デ・電王！』

デイクイドCF「ハッ！」

バサアアツ!!

デイクイド最強コンプリートフォームと電王・超クライマックスフォームは背中に光の翼を広げ、飛翔する！

デイクイドCF「はああっ!!」

ドゴオオオン!

ズザアアアッ!

創世王「ぬううっ!」

デイクライド・最強コンプリートフォームと電王・超クライマックス
フォームの超ボイススターズキックが創世王に命中する!

デイクライドCF「次はコイツだ!」

デイクライドケータツチ『カメンライド・ファイズ・ブラスター』
ヴォン!

デイクライドの左隣にファイズ・ブラスターフォームが出現する!

デイクライドライバー『ファイナルアタックライド・ファ・ファ・ファ・
ファイズ!』

デイクライドCF「はああっ!」

ズドオオオン!!

創世王「ぐおおっ!?!」

デイクライド・最強コンプリートフォームとファイズ・ブラスター
フォームの『フォトンバスター』

で創世王に更にダメージを与える!

フォーゼ「デイクライド先輩もすげえぜ!」

W（翔）「あんな能力ありかよ!?!」

W（フィ）「さすが世界の破壊者だ。」

オーズ「創世王も大分バテてますよ!」

創世王「ぬうっ! 貴様らあ!」

ビイイイイッ!!

デイクライドCF「はっ!」

ゴーカイ赤LM「ふっ!」

ズダアアアン!

ズドオオオン!!

創世王は二人に光線を放つが、二人はジャンプして回避する!

デイクライドCF「こいつも喰らえ!」

ゴーカイ赤LM「いくぜ!」

ガシヤンツ!

ガチャリッ!

デイケイドライバー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・デイケイド!』

レジェンドアンカー『ファイナルウエーブ!』

デイケイド・最強コンプリートフォームはデイケイドライバーにカードを、ゴーカイレッド・レジェンドモードはレジェンドアンカーにレジェンドアンカーキーをセットする!

デイケイドCF「おりやああ!!」

ゴーカイ赤LM「ゴーカイレジェンドレッドクラッシュ!!」

ジャギイイインツ!!

創世王「ぐああああっ!!」

『強化デイメンションスラッシュ』と『ゴーカイレジェンドクラッシュ』の同時攻撃を受けた創世王はふらつく。

創世王「くっ・・・!!」

1号「今だ!」

アカ「創世王に止めを!」

ゴーカイ赤LM「おっしゃあ!いくぜ!」

デイケイドCF「いくぞ!海東!」

デイエンドCF「ああ!」

デイケイド・最強コンプリートフォームはゴーカイレッド・レジェンドモードの右側、デイエンド・コンプリートフォームは左側に立つ!

ゴーカイ赤LM「ゴーカイガレオンバスター!」

ガシャンツ!

ゴーカイレッド・レジェンドモードはゴーカイガレオンバスターを出現させ、トリガーを握る!

ゴーカイ青、黄、緑、桃「二「レンジャーキー!」三」

ゴーカイ赤LM「レジェンドアンカーキー!」

ゴーカイジャー『セット!』

ガシャンツ!ジャキインツ!

ゴーカイブルー、イエロー、グリーン、ピンクは幻のレンジャー

キー、ゴーカイレッド・レジェンドモードはレジェンドアンカーキーをセットし、ブルー、イエロー、グリーン、ピンク、シルバーはゴーカイレッド・レジェンドモードの後ろを支える。

ゴーカイガレオンバスター『レジェンドチャージ!』

ガシャンツ!

デイケイドドライバー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・デイ・デイケイド!』

デイエンドライダー『ファイナルアタックライド・デイ・デイ・デイ・デイ・デイエンド!』

そして、デイケイドとデイエンドはカードをセットする!

ゴーカイガレオンバスター『レジェンドストラアイク!!』

ゴーカイジャー・デイケイドCF・デイエンドCF『ハアツ!!』

ズドオオオン!!

創世王「!?!」

ズガガガアアン!!!

『レジェンドストライク』、『強化ディメンションブラスト』、『強化ディメンションシユート』の同時攻撃が創世王に命中する!

創世王「ぐわああああっ!?!」

そして・・・

ゼロノス「モモタロス、幸太郎! 連結だ!」

電王(モ)「よっしやあ!」

NEW電王「了解!」

ガシャンツ! ガシャンツ!

ギユイイインツ!!

ゼロライナー、デンライナー、NEWデンライナーの順に連結し、ゼロライナーはドリルを回し、一列に並んだスゴーミン達に向かって走る!

スゴーミン『『スゴー!?!』』

電王(モ)「必殺! 俺達の必殺技!」

フアアアンツ!!

電王(モ)「ジョイントスペシャルバージョン!!」

かれたキングダークは倒れる。

ブルーB「よし！」

イエローB「やった！」

レッドB「手強い奴だった・・・！」

ビートB「ヒロム、後は空に浮かんでるギガントホースとクライシス要塞を破壊しようぜ。」

レッドB「了解です。」

次回へ続く

48話 ビッグマシン

創世王「はあ・・・はあ・・・!!」

創世王は『レジェンドストライク』、『強化デイメンションブラスト』、『強化デイメンションシユート』の同時攻撃をまともに受けたがまだ立っている。

ゴーカイ緑「あれを受けてまだ立っていられるの!？」

ゴーカイ黄「とんでもない奴ね・・・!」

創世王「我はまだ倒れるわけにはいかん・・・!」

ゴーカイ赤LM「しぶとい野郎だな!」

デイケイドCF「諦める創世王!お前の負けだ!」

???「創世王様!これを!」

ブウンツ!

パシイツ!

何者かが創世王に二つの割符を投げ渡す!

デイエンドCF「あの割符は!」

シルバ「ぐう・・・っ!」

フォーゼ「シルバ!?まだ生きてやがったのか!？」

創世王に割符を渡したのはボロボロになったシルバだった。

創世王「でかしたぞシルバ・・・!」

シルバ「はっ・・・」

???「ファイヤーソード!」

シュゴオオツ!

シルバ「ぐおおっ!」

するとシルバは何者かに斬られた。シルバを斬ったのはバイオマスのレッドワンだ。

シルバ「貴様にやられるとは・・・」

レッドワン「じゃあな・・・シルバ・・・」

ズドオオオン!!

シルバは倒れ、爆発する。

創世王「貴様らに見せてやる!ビッグマシンの姿を!」

ジジジ・・・

創世王は二つの割符を1つにしようとする！

レッドワン「皆！創世王を止めるんだ！」

ゴーカイ銀GM「はい！」

戦闘員「「イー！」「」

ゴーミン「「ゴゴオー！」「」

すると戦闘員達とゴーミン達が現れ、邪魔をする！

ゴーカイ青「くっ！邪魔だ！」

ジャキイン！

戦闘員「イー!？」

デイエンドCF「数が多いな！」

ズギユン！ズギユン！

ゴーミン「ゴゴオー!？」

カシャンツ！

創世王は割符を1つにした。

1号「しまった！」

アカ「くそ！」

創世王「見るがいい！これがビッグマシンだ!!」

そして・・・

ビートB「よし、二つの要塞を破壊するぞ！」

レッドB「はい！」

ブルーB「待ってください！二つの要塞が！」

スタツグB「凄いエネルギー反応だ！」

ガシャンツ！ガシャンツ！ウイイン！

イエローB「ギガントホースとクライシス要塞が・・・！」

レッドB「遅かったか・・・！」

ガシャンツ！ガシャンツ！

ビッグマシン『グオオオオツ!!』

ギガントホースとクライシス要塞は合体し、超巨大ロボ『ビッグマシン』になった！その身長は450m以上はある！

イエローB「な・・・何あれ・・・!？」

ブルーB「でかすぎる・・・!!」

スタツグB「推定身長450m以上だ・・・!!」

ビートB「東京タワーよりデカイじゃねえか・・・!」

レッドB「くっ・・・!」

電王(モ)「なんだありや!?」

電王(良)『ゴースターオーとバスターヘラクレスが小さく見え
ちやうよ・・・!』

デイケイドCF「おいおい・・・あんなのアリかよ・・・!」

ゴークイ赤LM「あんなデカイの見るの『黒十字城』や『幽霊船』以
来だな・・・!」

ビイイイイッ!

ビッグマシンの胸部から光が照射され、創世王はその光に当たり、
ビッグマシンに吸収される。

くビッグマシン 操縦席く

ガシャンッ!ウイイン!

創世王「ビッグマシンの力を見せてやる!」

創世王は操縦席に座り、ビッグマシンを起動させる。

ビッグマシン『グオオオオッ!!』

ブオオッ!

レッドB「まずい!」

ビートB「来るぞ!」

ドゴオオオッ!!

ゴースターズ「[[[[うわああ!!]]]]」

ズシインッ!!

ゴースターオーとバスターヘラクレスはビッグマシンのパンチ
で吹っ飛ばされ、倒れる。

レッドB「ニック!ゴースターオーはまだ動かせるか!」

ニック「駄目だ!今の一撃であちこち故障してる!修理してもらわ
ないと!」

ブルーB「先輩!バスターヘラクレスは
!?!」

ビートB「こつちも同じで修理が必要だ！」
イエローB「そんな?」

スタツグB「これは不味いな・・・!」

ゴーカイ赤LM「俺達に任せろ!いくぞ!鎧!」

ゴーカイ銀「はい!」

ゴーカイレッド・レジェンドモードはモバイレーツ、ゴーカイシルバ―はゴーカイセルラーを取り出す!

ピッピッピッ

モバイレーツ『発進!ゴーカイガレオン!』

ゴーカイセルラー『発進!豪獣ドリル!』

ゴオオオツ!!

空にゴーカイガレオンと豪獣ドリルが出現する。

ゴーカイレッド達はゴーカイガレオン、ゴーカイシルバ―は豪獣ドリルに乗り込み、ゴーカイガレオンからゴーカイジェット、ゴーカイトレーラー、ゴーカイレ―サー、ゴーカイマリンが飛び出し、そして・・・

ガシャンツ!ガシャンツ!

ガシャンツ!

ゴーカイ赤LM「海賊合体!ゴーカイオー!」

ゴーカイ銀「海賊変形!豪獣神!」

ブオオオツ!!

更にマツハルコンも出現する!

マツハルコン『おつしやいくぜええ!』

ゴーカイ赤LM「カンゼンゴーカイオーだ!」

ゴーカイ銀「はい!」

ゴーカイジヤ―はゴーカイジヤ―のレンジヤ―キーを鍵穴にセットする!

ゴーカイジヤ―「[[[[[Let's Go!]]]]]]」

ガシャンツ!

カンゼンソウルが出現し、ゴーカイオーと豪獣神はカンゼンソウルを持ち、カンゼンソウルをマツハルコンにセットする!

ゴーカイジャー 「二二」カンゼンソウル・セット! 「二二」
ガシヤンツ!

ブオオオンツ!

ゴーカイジャー 「二二」海賊合体! 「二二」

マツハルコン 『海賊合体!』

ガシヤンツ! ガシヤンツ! ガシヤンツ!

ゴーカイジャー 「二二」完成! カンゼンゴーカイオー!! 「二二」

ゴーカイオー、豪獣神、マツハルコンは合体し、カンゼンゴーカイ
オーになった!

デイケイドCF 「俺も行くか．．．!」

キバーラ（夏） 「え?」

デイケイド・最強コンプリートフォームはカードを取り出し、デイ
ケイドライバーにセットする!

ガシヤンツ!

デイケイドCF 「キングダーク! お前の体を使わせてもらおうぜ!」

デイケイドライバー 『ファイナルフォームライド・デイ・デイ・デイ・

デイケイド!』

ガシヤンツ! ガシヤンツ! ガシヤンツ!

デイケイド・最強コンプリートフォームはジャンボデイケイドライ
バーに変形して飛んでいき、倒れているキングダークの腰に装着し、
倒されたハズのキングダークは立ち上がった!

ゴゴゴツ!

イエローB 「え!?!」

ブルーB 「キングダークが!」

ビートB 「見ろ! キングダークの腰!」

スタツグB 「あれは．．．」

レッドB 「確かデイケイドの．．．」

ジャンボデイケイドライバー 『カメンライド・デイケイド!』

ジャキイン!

キングダークはデイケイド・ジャンボフォーメーションに変身した
!

↳ 次回へ続く

49話 カンゼンゴークイオー&デイケイド・ジャンボフォーメーションVSビッグマシン

ズシイイン!!

カンゼンゴークイオーとデイケイド・ジャンボフォーメーションは並び立つ!

ゴークイ緑 「キングダークがデイケイドに変身した!」

ゴークイ黄 「デイケイドってあんな事までできる!」

ゴークイ桃 「なんでもアリですね・・・(汗)」

ゴークイ青 「反則な能力だな・・・(汗)」

ゴークイ赤LM 「俺らも同じようなモンだろ。」

ゴークイ銀 「確かに・・・(汗)」

デイケイドJF 『にしてもデカイな・・・!』

ゴークイ赤LM 「ああ・・・!」

キバーラ(夏海)達はデイケイド・ジャンボフォーメーションとカンゼンゴークイオーを見ている。

キバーラ(夏) 「土くん・・・」

ポンツ

デイエンド・コンプリートフォームはキバーラ(夏海)の肩に手を置く。

デイエンドCF 「後は土とゴークイジャー達に任せよう。」

キバーラ(夏) 「はい・・・」

1号 「彼らならビッグマシンを倒してくれるはずだ。」

アカ 「信じよう・・・!」

創世王 「いくぞ!ゴークイジャー!デイケイド!」

デイケイドJF 『これで決着をつけるぞ!』

ゴークイ赤LM 「いくぜ!」

デイケイド・ジャンボフォーメーションはジャンボデイケイドドライブにカードをセットし、ゴークイジャー達は幻のレンジャーキーをジェットマンのレンジャーキーに変え、鍵穴にジェットマンのレン

ジャーキーをセットする！

ゴークイジャー「[[[[「ゴークイジェットウイング!」]]]]」
バサア!!

カンゼンゴークイオーは背中に炎の翼を広げる！

ジャンボデイケイドライバー『アタッククライド・セイリングジャンプ!』

キイイイン!!

カンゼンゴークイオー、デイケイド・ジャンボフォーメーション、ビッグマシンは飛行し、空中で戦闘を開始する！

レツドB「頼んだぞ!ゴークイジャー!デイケイド!」

デイケイドJF『喰らえ!』

ジャンボデイケイドライバー『アタッククライド・ブラスト!』

ゴークイ赤LM「カンゼンミサイル!」

ズドドドオン!

デイケイド・ジャンボフォーメーションとカンゼンゴークイオーはビッグマシンに狙撃するが全く効いていない!

創世王「その程度か!」

ゴークイ銀「効いてない!」

創世主「今度はこちらの番だ!」

ビッグマシン『グオオオオツ!』

ズドドドオン!!

ビッグマシンは複数のミサイルを発射する!

ゴークイ青「来るぞ!」

ゴークイ赤LM「全部撃ち落とす!カンゼンミサイル!」

ズドドドオン!!

カンゼンゴークイオーはカンゼンミサイルでミサイルを撃ち落とす!

創世王「ちいつ!」

デイケイドJF『次はコイツだ!』

ジャンボデイケイドライバー『アタッククライド・スラッシュユ!』

ジャキイン!ジャキイン!

デイケイド・ジャンボフォーメーションはライドブツカー・ソードモードでビッグマシンに攻撃し、更に・・・

ゴーカイ桃「マーベラスさん！」

ゴーカイ赤LM「おう！カンゼンドリル！」

ギユイイイン！！

ギユルルルル！！

ビッグマシン『グオオオオツ！！』

創世主「ぬうつ！」

カンゼンゴーカイオーはカンゼンドリルでビッグマシンに攻撃する！

創世王「ハアツ！！」

ビッグマシン『グオオオオツ！！』

バキイイツ！！

ゴーカイジャー「[[[[「うわあああ！」「[[[[

ビッグマシンはカンゼンゴーカイオーにパンチする！

デイケイドJF『ゴーカイジャー！』

創世王「次は貴様だ！」

ビッグマシン『グオオオオツ！！』

ドガアアアツ！！

デイケイドJF『うわあああ！』

そしてビッグマシンはデイケイド・ジャンボフォーメーションにキックを喰らわせる！

ゴーカイ赤LM「デイケイド！同時攻撃だ！」

デイケイドJF『わかった！』

ガシャンツ！

ジャンボデイケイドライバー『ファイナルアタックライド・デイ

デイ・デイ・デイケイド！』

ゴーカイジャー「[[[[「ゴーカイカンゼンバースト！！」「[[[[

デイケイドJF「はあっ！」

ズドオオオン！！

ズドオオオン！！

ズドドドオン!!

ビッグマシン『グオオオオツ!!』

ビッグマシンはディメンションブラストとゴーカイカンゼンバーストの同時攻撃を受ける!

ゴーカイ黄「これでどうよ!」

創世王「それがどうした!」

ビッグマシンはびくともしていない。

ゴーカイ青「なんて奴だ!」

創世主「くたばれ!」

ビィィィ!!

ズドオオオン!ズドオオオン!

ディケイドJF『があああ!』

ゴーカイジャー「二」「うわあああ!」「」

ゴオオオツ!!

ズドオオオン!!

レッドB「ディケイドとカンゼンゴーカイオーが!!」

ビッグマシンが放ったビームはディケイド・ジャンボフォーメーションとカンゼンゴーカイオーに直撃し、2体は地面に落下した!

ディケイドJF『く・・・くそ!』

ゴーカイ赤LM「つ・・・強え・・・!」

創世王「ふははは!!」

ビッグマシンは空からディケイド・ジャンボフォーメーションとカンゼンゴーカイオーを見下ろす。

創世王「宇宙を支配するためにまずはこの地球を滅ぼす。黙って見ているがいい。」

ディケイドJF『どこへ行く気だ?』

ゴーカイ赤LM「まだ終わっちゃいないぜ?」

ディケイド・ジャンボフォーメーションとカンゼンゴーカイオーは立ち上がる。

創世主「無駄だ・・・諦めろ・・・!」

ディケイドJF『断る・・・!俺達は諦めが悪いんでな・・・!』

ゴーカイ赤LM「そうだ・・・！最後まで諦めずに不可能を可能にする・・・！」

デイケイドJF・ゴーカイ赤LM『それがスーパーヒーローだ！』
ピカアアアツ！！

ブオンツ！ パシイッ！

すると突然、レジェンドアンカーキーとライドブツカーが強く発光し、ライドブツカーから光輝くカードが飛び出し、デイケイド・ジャンボフォーメーションはそのカードをキャッチする。

ゴーカイ青「レジェンドアンカーキーが・・・！」

ゴーカイ赤LM「使えって事か・・・！」

デイケイドJF『このカードは・・・！』

ビッグマシン『グオオオオオツ！！』

創世王「これで最後だ！！」

ビィィィッ！！

ビッグマシンはビームを発射する！

デイケイドJF『いくぞ！ゴーカイジャー！』

ゴーカイ赤LM「おう！」

デイケイドJF『これで決める！』

ガジャンツ！

ジャンボデイケイドライダー『スーパーファイナルアタッククライド・デイ・デイ・デイ・デイ・デイケイド！』

ゴーカイジャー「[[[[[Let's GO!]]]]」

ガジャンツ！

デイケイド・ジャンボフォーメーションはジャンボデイケイドライダーにカードを、ゴーカイレッド・レジェンドモードは鍵穴にレジェンドアンカーキーをセットする！

ズダアアアアン！！

ズドオオオン！！

創世王「何ツ!？」

デイケイド・ジャンボフォーメーションとカンゼンゴーカイオーは高くジャンプし、ビッグマシンのビームを回避する！

創世王「上か！」

2体はビッグマシンよりも上空にいて、そしてデイクライド・ジャンボフォーメーションの前には歴代仮面ライダーのエンブレム、カンゼンゴーカイオーの前には歴代スーパー戦隊のエンブレムが出現し、ビッグマシンに向かって一直線に並ぶ！

デイクライドJF『はああああつ!!』

ゴーカイ赤LM「おりやあああつ!!」

ズガガガガガガツ!!

2体はキックでエンブレムを通過し、ビッグマシンに突撃する!!

創世王「うおおおつ!!」

ビッグマシン『グオオオオツ!!』

ブウウウンツ!!

ドゴオオオンツ!!

ビッグマシンのパンチと2体のキックが激突する！

バキバキバキバキツ!!

ビッグマシンの右腕にヒビが入る！

創世王「ば・・・馬鹿な!？」

バキイイツ!ドゴオオオン!!

創世王「うおおおおつ!？」

そしてビッグマシンの右腕は破壊され、二体のキックはビッグマシンの胸部に命中する!!

デイクライドJF『創世王!これが仮面ライダーと!』

ゴーカイ赤LM「そしてスーパー戦隊の!」

デイクライドJF・ゴーカイ赤LM『力だ!!』

創世主「!？」

デイクライドJF・ゴーカイジャー『「「「「スーパーヒーロー・アル

ティメットフィニッシュ!!!「「「「」

ズガアアアアンツ!!!

デイクライド・ジャンボフォーメーションとカンゼンゴーカイオーの合体技『スーパーヒーロー・アルティメットフィニッシュ』でビッグマシンを貫き、ビッグマシンは崩壊する！

ズドオオオン！ズドオオオン！ズドオオオン！

創世王「ば・・・馬鹿な・・・全ての頂点に立つのは我だあああつ
!!」

ズドオオオン!!

創世王は爆発に巻き込まれ、消滅する。

次回へ続く

最終話 旅立ち

士「終わったな……」

マーベラス「ああ……」

ビッグマシンを破壊した後、スーパーヒーロー達は変身を解除した。

士「お前達はこれからどうするんだ？」

マーベラス「お宝を探しに宇宙へ旅立つさ。海賊だからな。お前は？」

士「俺も旅に出るさ。」

ジョー「お前も旅に出るのか？」

海東「ああ お宝を探す旅に行くよ。」

翔太郎「映司も旅に出るのか？」

映司「はい……あ、弦太郎くん」

弦太郎「なんだ？映司さん」

映司「友達に生きているって事を知らせたの？」

弦太郎「あ……やべえ！」

流星「色々ありすぎてすっかり忘れてた！」

フィリップ「今すぐ連絡した方がいいね。」

マーベラス「騒がしいな」

アイム「マーベラスさんのせいじゃないですか！」

ハカセ「そうだよ！」

ルカ「それとテイケイド！私達アンタにやられた事まだ根に持つてるんだからね！」

士「まあ……強すぎる俺が悪いのか。」

ルカ「くあく！腹立つ！」

ヨウコ「手も足も出なかったから言い返せない……」

夏海「士くん！」

夏海は士に笑いのツボを押そうとする。

士「おっと」

ヒョイツ

ズボツ!

海東「うっ!」

夏海「あっ!」

士は避けて夏海は士の隣にいた海東に笑いのツボを押ししてしまう。

海東「く……くはははは! な……何で僕が……くはははは!!

(汗)」

夏海「ご……ごめんなさい 海東さん! (汗)」

士「こりや長くなるな……夏みかん強く押しただろ?」

夏海「力加減間違えちゃいました……(汗)」

ブオン!

パシイッ!

するとライドブツカーから一枚のカードが飛び出し、士はカードをキヤツチする。

士「これは……海東、ちよつと借りるぜ。」

士は海東のデイエンドライバーを拝借する。

海東「ははは! つ……士……何を……」

士「ゴーカイジャー、お詫びだ 受けとれ。」

士はカードをデイエンドライバーにセットする。

ガシャンッ!

デイエンドライダー『センタイライド・ゴーカイバイク!』

ズドンッ!

士はデイエンドライダーで赤のバイク、銀のバイク、黄色のサイドカーが付いている青のバイク、ピンクのサイドカーが付いている緑のバイクを召喚させた。

鎧「な……なんですかコレ! すごおお! (喜)」

ジヨウ「これがデイケイドの大いなる力か!」

リュウジ「どういう仕組みなんだ? (汗)」

ハカセ「でも鍵がないよこのバイク」

ハカセの言う通り召喚されたバイクは鍵が付いてない。

丈瑠「レンジャーキーを使うんじゃないか?」

マーベラス「試してみるか。」

マーベラスは赤のバイクに乗り、鍵穴にゴーカイレットのレンジャーキーを挿してエンジンをかける。

ガチャツ

ブオオオン！

ルカ「かかった！」

士「返すぜ 海東」

士はデイエンドライバーを海東に返す。

海東「や・・・やっと止まった（汗）」

フィリップ「笑いのツボ・・・興味深いね・・・」

翔太郎「やべえ・・・また始まった。」

丈瑠「ゴーバスターオーとバスターヘラクレスは大丈夫なのか？

ずっとあのままにしておくわけにはいかないだろ。」

ヒロム「管理局の人達が修理するためにこちらに向かっています。」

マサト「幸いそれほど酷い状態じゃないから今日中には修理が終わ

るだろ。」

本郷「皆、ご苦労だったな。」

海城「俺達もそろそろ行かなくてはな。」

鎧「お二人共もう行っちゃうんですか!？」

海城「俺達はやるべき事が色々あるからな。」

本郷「俺達の力が必要になった時は何時でも呼んでくれ。」

海城「俺達は同じヒーローの仲間だからな！」

本郷と海城はその場を去った。

弦太郎「カッコいいなく！本郷さんと海城さん！」

翔太郎「ああ、さすが元祖ヒーローだぜ。」

鎧「あ！しまった！」

ルカ「どうしたのよ？」

鎧「海城さんと本郷さんのサイン貰うの忘れちゃいました！」

アイム「はは・・・鎧さんらしいですね。」

ハカセ「多分、大丈夫だよ」

ジョー「どうしてだ？」

ハカセ「うん・・・何だかまた会える気がするんだ。」

マーベラス「俺もだ。」

丈瑠「土、もう行くのか？」

士「ああ、旅の行き先が俺の生きる場所だ。だから俺の旅は永遠に続く。」

源太「デイエンド！もう俺のイカちゃん盗むなよ！」

モモタロス「俺のプリンもだぞ！」

海東「それは約束出来ないな。」

良太郎「まだ盗み続けるんだね・・・(汗)」

士「アイツが改心する事は絶対がない・・・そろそろ行くか」

マーベラス「じゃあな・・・土、このバイクありがたく使わせてもらうぜ。」

士「ああ マーベラス お前達もお宝を見つけられるといいな。」

ヒロム「地球は俺達に任せてくれ」

鎧「もし、また地球に来ることになったら宇宙のお土産を渡しておきます！」

ヨウコ「ほんと!?私は甘いお菓子がいい！」

アイム「ふふ・・・わかりました。」

マサト「俺達は修理班を手伝うか。リュウジも手伝ってくれ」

リュウジ「了解です。」

ビートJ「俺も手伝う。」

士「じゃあな！」

マーベラス「また会おうぜ！」

そして士達とゴーカイジャーは旅立った。

く完く